

(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局

(43) 国際公開日
2020年5月14日(14.05.2020)



(10) 国際公開番号

WO 2020/095511 A1

- (51) 国際特許分類:
G02F 1/1334 (2006.01) *C09K 19/30* (2006.01)
C09K 19/12 (2006.01) *C09K 19/32* (2006.01)
C09K 19/14 (2006.01) *C09K 19/34* (2006.01)
C09K 19/16 (2006.01) *C09K 19/38* (2006.01)
C09K 19/18 (2006.01) *C09K 19/54* (2006.01)
C09K 19/20 (2006.01) *G02F 1/13* (2006.01)
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2019/033046
- (22) 国際出願日: 2019年8月23日(23.08.2019)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (30) 優先権データ:
特願 2018-208935 2018年11月6日(06.11.2018) JP
- (71) 出願人: J N C 株式会社(JNC CORPORATION)
[JP/JP]; 〒1008105 東京都千代田区大手町二丁目2番1号 Tokyo (JP). J N C 石油化学株式会社 (JNC PETROCHEMICAL CORPORATOIN)
[JP/JP]; 〒1000004 東京都千代田区大手町二丁目2番1号 Tokyo (JP).
- (72) 発明者: 齋藤 将之(SAITO Masayuki); 〒2908551 千葉県市原市五井海岸5番地の1 J N C 石油化学株式会社 市原研究所内 Chiba (JP). 藤田 浩章(FUJITA Hiroaki); 〒2908551 千葉県市原市五井海岸5番地の1 J N C 石油化学株式会社 市原研究所内 Chiba (JP).
- (81) 指定国(表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DJ, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IR, IS, JO, JP, KE, KG, KH, KN, KP, KR, KW, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SA, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, ZA, ZM, ZW.
- (84) 指定国(表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, ST, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, KM, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

添付公開書類:

- 国際調査報告 (条約第21条(3))

(54) Title: LIQUID CRYSTAL LIGHT CONTROL ELEMENT

(54) 発明の名称: 液晶調光素子

(57) Abstract: The present invention provides: a liquid crystal composite body that is suitable for light control and contains a liquid crystal composition which satisfies at least one of characteristics including high upper limit temperature, low lower limit temperature, low viscosity, large optical anisotropy and large positive dielectric anisotropy, or which has an adequate balance between at least two of these characteristics; and a liquid crystal light control element which comprises this liquid crystal composite body. This liquid crystal composite body contains a polymer and a liquid crystal composition that contains a specific compound having large positive dielectric anisotropy; and this liquid crystal composite body may additionally contain a specific compound that has a high upper limit temperature or a low lower limit temperature, or a specific compound that has large negative dielectric anisotropy.

(57) 要約: 高い上限温度、低い下限温度、小さな粘度、大きな光学異方性、正に大きな誘電率異方性のような特性の少なくとも1つを充足する、またはこれらの特性の少なくとも2つのあいだで適切なバランスを有する液晶組成物を含む、調光に適した液晶複合体を提供し、そしてこの液晶複合体を有する液晶調光素子を提供する。正に大きな誘電率異方性を有する特定の化合物を含む液晶組成物と重合体とを含む液晶複合体であり、この液晶複合体は、高い上限温度または低い下限温度を有する特定の化合物や負に大きな誘電率異方性を有する特定の化合物をさらに含有してもよい。

WO 2020/095511 A1

明 細 書

発明の名称：液晶調光素子

技術分野

[0001] 本発明は、主として液晶調光素子に関する。更に詳しくは、重合体と正の誘電率異方性を有する液晶組成物とを組み合わせた液晶複合体を有する液晶調光素子に関する。

背景技術

[0002] 液晶調光素子には、光散乱を利用するなどの方法がある。このような素子は窓ガラスや部屋の仕切りのような建築材料、車載部品などに使われる。これらの素子には、ガラス基板のような硬質基板に加えて、プラスチックフィルムのような軟質基板が使われる。基板のあいだに挟持された液晶組成物では、印加する電圧を調節することによって、液晶分子の配列が変わる。この方法によって、液晶組成物を透過する光を制御することができるので、液晶調光素子は、ディスプレイ、光シャッター、調光窓（特許文献1）、スマートウィンドウ（特許文献2）などに幅広く使用されている。

[0003] 液晶調光素子の一例は、光散乱モードの高分子分散型の素子である。液晶組成物は、重合体中に分散している。この素子は次の特徴を有している。素子の作製が容易である。広い面積に渡って膜厚制御が容易であるので、大きな画面の素子を作製することが可能である。偏光板を必要としないので、明るい表示が可能である。光散乱を利用するので視野角が広い。この素子は、このような優れた性質を持っているので、調光ガラス、投射型ディスプレイ、大面積ディスプレイなどの用途が期待されている。

[0004] 別の例は、ポリマーネットワーク型の液晶調光素子である。この型の素子では、重合体の三次元ネットワーク中に液晶組成物が存在する。この組成物は連続している点で、高分子分散型とは異なる。この型の素子も、高分子分散型の素子と同様な特徴を有している。ポリマーネットワーク型と高分子分散型とが混在した液晶調光素子も存在する。

[0005] 液晶調光素子には適切な特性を有する液晶組成物が用いられる。この組成物の特性を向上させることによって、良好な特性を有する素子を得ることができる。2つの特性における関連を下記の表1にまとめる。組成物の特性を素子に基づいてさらに説明する。ネマチック相の温度範囲は、素子の使用できる温度範囲に関連する。ネマチック相の好ましい上限温度は約70℃以上であり、そしてネマチック相の好ましい下限温度は約-20℃以下である。組成物の粘度は素子の応答時間に関連する。光の透過率を制御するためには短い応答時間が好ましい。1ミリ秒でも他の素子より短い応答時間が望ましい。したがって、組成物における小さな粘度が好ましい。低い温度における小さな粘度はさらに好ましい。組成物の弾性定数は素子の応答時間に関連する。素子において短い応答時間を達成するためには、組成物における大きな弾性定数がより好ましい。

[0006] 表1. 液晶組成物と液晶調光素子における特性

番号	液晶組成物の特性	液晶調光素子の特性
1	ネマチック相の温度範囲が広い	使用できる温度範囲が広い
2	粘度が小さい	応答時間が短い
3	光学異方性が大きい	ヘイズ率が大きい
4	正または負に誘電率異方性が大きい	しきい値電圧が低く、消費電力が小さい
5	比抵抗が大きい	電圧保持率が大きい
6	光および熱に安定である	寿命が長い
7	弾性定数が大きい	応答時間が短い

[0007] 組成物の光学異方性は、液晶調光素子のヘイズ率に関連する。ヘイズ率は全透過光に対する拡散光の割合である。光を遮断するときは大きなヘイズ率が好ましい。大きなヘイズ率には大きな光学異方性が好ましい。組成物における大きな誘電率異方性は、素子における低いしきい値電圧や小さな消費電力に寄与する。したがって、大きな誘電率異方性が好ましい。組成物における大きな比抵抗は、素子における大きな電圧保持率に寄与する。したがって、初期段階において大きな比抵抗を有する組成物が好ましい。長時間使用したあと、大きな比抵抗を有する組成物が好ましい。光や熱に対する組成物の安定性や耐候性は、素子の寿命に関連する。この安定性や耐候性が良好であ

るとき、寿命が長い。残像や滴下痕のような表示不良も、素子の寿命に関連する。耐候性が高く、表示不良が発生しにくい素子が望まれている。

[0008] 液晶調光素子を向上させるには、特許文献が参考になる（特許文献3から6）。液晶調光素子には、ノーマルモードとリバーモードがある。ノーマルモードでは電圧無印加時に素子是不透明であり、電圧印加時に透明になる。リバーモードでは電圧無印加時に素子は透明であり、電圧印加時に不透明になる。ノーマルモードの素子が広く用いられており、この素子は、安価であり、作製が容易であるという長所がある。

先行技術文献

特許文献

- [0009] 特許文献1：特開平06-273725号公報
特許文献2：国際公開2011-96386号
特許文献3：特開昭63-278035号公報
特許文献4：特開平01-198725号公報
特許文献5：特開平07-104262号公報
特許文献6：特開平07-175045号公報

発明の概要

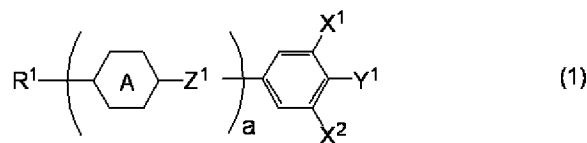
発明が解決しようとする課題

- [0010] 本発明の課題は、ネマチック相の高い上限温度、ネマチック相の低い下限温度、小さな粘度、大きな光学異方性、正に大きな誘電率異方性、大きな比抵抗、光に対する高い安定性、熱に対する高い安定性、大きな弾性定数のような特性の少なくとも1つを充足する液晶組成物を含有し、調光に適した液晶複合体を提供することである。別の課題は、これらの特性の少なくとも2つのあいだで適切なバランスを有する液晶組成物を含有し、調光に適した液晶複合体を提供することである。別の課題は、このような液晶複合体を有する液晶調光素子を提供することである。別の課題は、短い応答時間、大きな電圧保持率、低いしきい値電圧、大きなヘイズ率、高い耐候性、長い寿命の

ような特性を有する液晶調光素子を提供することである。

課題を解決するための手段

[0011] 本発明は、第一成分として式(1)で表される化合物から選択された少なくとも1つの化合物を含有する液晶組成物と重合体とを含有する液晶複合体を有し、照度(180W/m²)、照射時間(100時間)、槽内温度(35℃)の条件下で行った耐候性試験の前後におけるヘイズ変化率が20%以下である液晶調光素子などに関する。



式(1)において、R¹は、炭素数1から12のアルキル、炭素数1から12のアルコキシ、または炭素数2から12のアルケニルであり；環Aは、1,4-シクロヘキシレン、1,4-フェニレン、2-フルオロ-1,4-フェニレン、2,3-ジフルオロ-1,4-フェニレン、2,6-ジフルオロ-1,4-フェニレン、ピリミジン-2,5-ジイル、1,3-ジオキサソ-2,5-ジイル、またはテトラヒドロピラン-2,5-ジイルであり；Z¹は、単結合、エチレン、ビニレン、エチニレン、メチレンオキシ、カルボニルオキシ、またはジフルオロメチレンオキシであり；X¹およびX²は、水素またはフッ素であり；Y¹は、フッ素、塩素、シアノ、少なくとも1つの水素がフッ素または塩素で置き換えられた炭素数1から12のアルキル、少なくとも1つの水素がフッ素または塩素で置き換えられた炭素数1から12のアルコキシ、または少なくとも1つの水素がフッ素または塩素で置き換えられた炭素数2から12のアルケニルオキシであり；aは、1、2、3、または4である。

発明の効果

[0012] 本発明の長所は、ネマチック相の高い上限温度、ネマチック相の低い下限温度、小さな粘度、大きな光学異方性、正に大きな誘電率異方性、大きな比抵抗、光に対する高い安定性、熱に対する高い安定性、大きな弾性定数のよ

うな特性の少なくとも1つを充足する液晶組成物を含有し、調光に適した液晶複合体を提供することである。別の長所は、これらの特性の少なくとも2つのあいだで適切なバランスを有する液晶組成物を含有し、調光に適した液晶複合体を提供することである。別の長所は、このような液晶複合体を有する液晶調光素子を提供することである。別の長所は、短い応答時間、大きな電圧保持率、低いしきい値電圧、大きなヘイズ率、高い耐候性、長い寿命のような特性を有する液晶調光素子を提供することである。

発明を実施するための形態

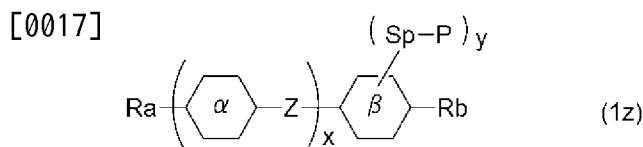
[0013] この明細書では、「液晶性化合物」、「重合性化合物」、「液晶組成物」、「重合性組成物」、「液晶複合体」、「液晶調光素子」などの用語を用いる。「液晶性化合物」は、ネマチック相、スメクチック相などの液晶相を有する化合物および液晶相を有しないが、ネマチック相の温度範囲、粘度、誘電率異方性のような特性を調節する目的で組成物に添加される化合物の総称である。この化合物は、例えば1,4-シクロヘキシレンや1,4-フェニレンのような六員環を有し、その分子（液晶分子）は棒状（rod-like）である。「重合性化合物」は、液晶組成物中に重合体を生成させる目的で添加される化合物である。アルケニルを有する液晶性化合物は、その意味では重合性化合物に分類されない。

[0014] 「液晶組成物」は、複数の液晶性化合物を混合することによって調製される。この液晶組成物に、光学活性化合物、酸化防止剤、紫外線吸収剤、消光剤、色素、消泡剤、極性化合物のような添加物が必要に応じて添加される。液晶性化合物の割合は、添加物を添加した場合であっても、添加物を含まない液晶組成物に基づいた質量百分率（質量%）で表される。添加物の割合は、添加物を含まない液晶組成物に基づいた質量百分率で表される。すなわち、液晶性化合物や添加物の割合は、液晶性化合物の全量に基づいて算出される。

[0015] 「重合性組成物」は、液晶組成物に重合性化合物を混合することによって調製される。すなわち、重合性組成物は、少なくとも1つの重合性化合物と

液晶組成物との混合物である。重合性化合物には、重合開始剤、重合禁止剤のような添加物が必要に応じて添加される。重合開始剤および重合禁止剤の割合は、重合性化合物の全量に基づいた質量百分率で表される。重合性組成物に含まれる重合性化合物や液晶組成物の割合は、添加物を添加した場合であっても、添加物を含まない重合性組成物に基づいた質量百分率で表される。「液晶複合体」は、重合性組成物の重合処理によって生成する。「液晶調光素子」は、液晶複合体を有する素子であり、調光に用いられる液晶パネルおよび液晶モジュールの総称である。

[0016] 「ネマチック相の上限温度」を「上限温度」と略すことがある。「ネマチック相の下限温度」を「下限温度」と略すことがある。「誘電率異方性を上げる」の表現は、誘電率異方性が正である組成物のときは、その値が正に増加することを意味し、誘電率異方性が負である組成物のときは、その値が負に増加することを意味する。「電圧保持率が大きい」は、素子が初期段階において室温だけでなく上限温度に近い温度でも大きな電圧保持率を有し、そして長時間使用したあと室温だけでなく上限温度に近い温度でも素子は大きな電圧保持率を有することを意味する。組成物や素子の特性が経時変化試験によって検討されることがある。



上記の化合物(1z)を例にして説明する。式(1z)において、六角形で囲んだ α および β の記号はそれぞれ環 α および環 β に対応し、六員環、縮合環のような環を表す。添え字‘x’が2のとき、2つの環 α が存在する。2つの環 α が表す2つの基は、同一であってもよく、または異なってもよい。このルールは、添え字‘x’が2より大きいとき、任意の2つの環 α に適用される。このルールは、結合基Zのような、他の記号にも適用される。環 β の一辺を横切る斜線は、環 β 上の任意の水素が置換基(−Sp−P)で置き換えられてもよいことを表す。添え字‘y’は置き換えられた置換基の数

を示す。添え字 'y' が0のとき、そのような置き換えはない。添え字 'y' が2以上のとき、環β上には複数の置換基 ($-S_p-P$) が存在する。この場合にも、「同一であってもよく、または異なってもよい」のルールが適用される。なお、このルールは、R aの記号を複数の化合物に用いた場合にも適用される。

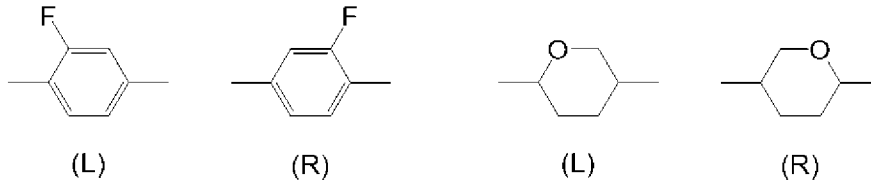
[0018] 式 (1 z) において、例えば、「R aおよびR bは、アルキル、アルコキシ、またはアルケニルである」の表現は、R aおよびR bが独立して、アルキル、アルコキシ、およびアルケニルの群から選択されることを意味する。すなわち、R aによって表される基とR bによって表される基が同一であってもよく、または異なってもよい。

[0019] 式 (1 z) で表される化合物から選択された少なくとも1つの化合物を「化合物 (1 z)」と略すことがある。「化合物 (1 z)」は、式 (1 z) で表される1つの化合物、2つの化合物の混合物、または3つ以上の化合物の混合物を意味する。他の式で表される化合物についても同様である。「式 (1 z) および式 (2 z) で表される化合物から選択された少なくとも1つの化合物」の表現は、化合物 (1 z) および化合物 (2 z) の群から選択された少なくとも1つの化合物を意味する。

[0020] 「少なくとも1つの 'A' 」の表現は、'A' の数は任意であることを意味する。「少なくとも1つの 'A' は、'B' で置き換えられてもよい」の表現は、'A' の数が1つのとき、'A' の位置は任意であり、'A' の数が2つ以上のときも、それらの位置は制限なく選択できる。「少なくとも1つの $-CH_2-$ は $-O-$ で置き換えられてもよい」の表現が使われることがある。この場合、 $-CH_2-CH_2-CH_2-$ は、隣接しない $-CH_2-$ が $-O-$ で置き換えられることによって $-O-CH_2-O-$ に変換されてもよい。しかしながら、隣接した $-CH_2-$ が $-O-$ で置き換えられることはない。この置き換えでは $-O-O-CH_2-$ (ペルオキシド) が生成するからである。

[0021] 液晶性化合物のアルキルは、直鎖状または分岐状であり、環状アルキルを含まない。直鎖状アルキルは、分岐状アルキルよりも好ましい。これらのこ

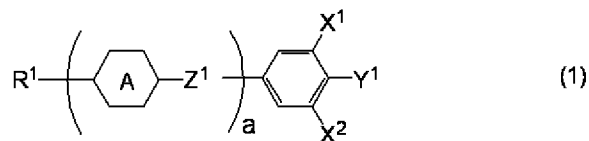
とは、アルコキシ、アルケニルのような末端基についても同様である。1, 4-シクロヘキシレンに関する立体配置は、上限温度を上げるためにシスよりもトランスが好ましい。2-フルオロ-1, 4-フェニレンは左右非対称であるから、左向き (L) および右向き (R) が存在する。



テトラヒドロピラン-2, 5-ジイルのような二価基においても同様である。カルボニルオキシのような結合基 (-COO- または -OCO-) も同様である。

[0022] 本発明は、下記の項などである。

[0023] 項1. 第一成分として式(1)で表される化合物から選択された少なくとも1つの化合物を含有する液晶組成物と重合体とを含有する液晶複合体を有し、照度(180W/m²)、照射時間(100時間)、槽内温度(35℃)の条件下で行った耐候性試験の前後におけるヘイズ変化率が20%以下である液晶調光素子。



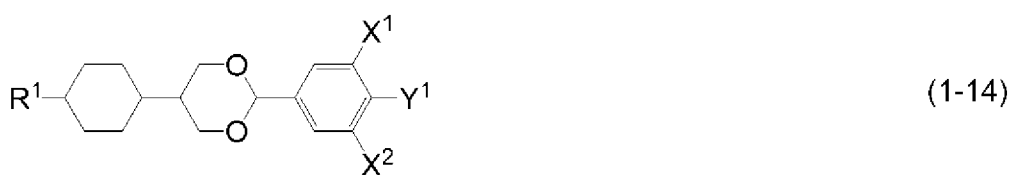
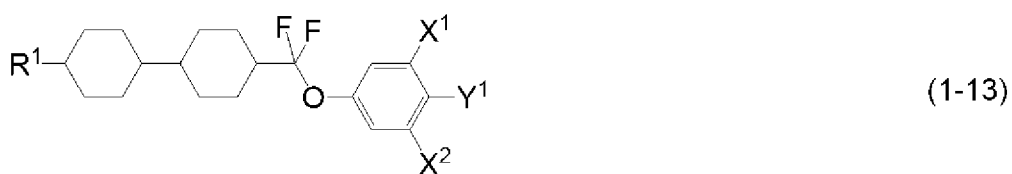
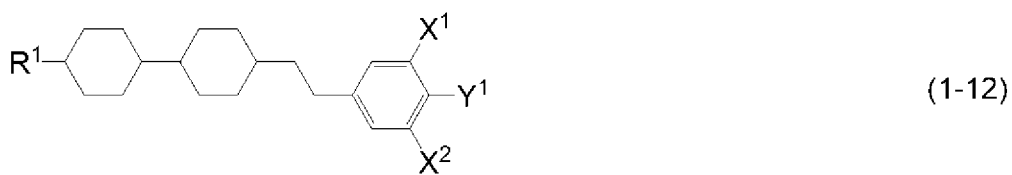
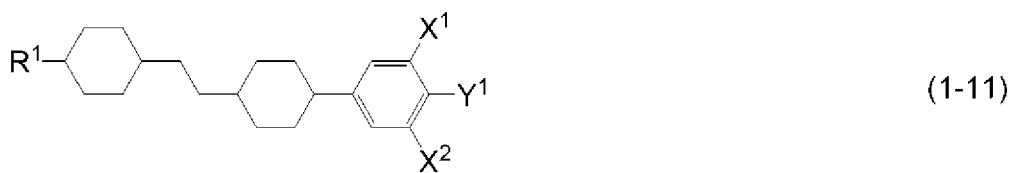
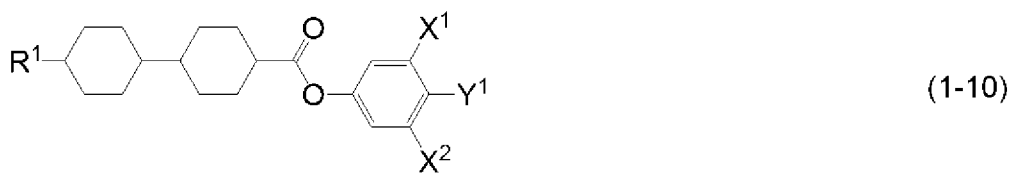
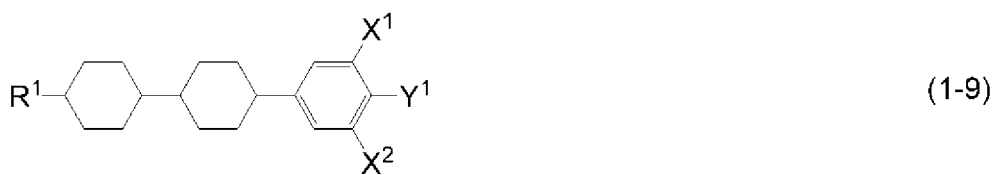
式(1)において、R¹は、炭素数1から12のアルキル、炭素数1から12のアルコキシ、または炭素数2から12のアルケニルであり；環Aは、1, 4-シクロヘキシレン、1, 4-フェニレン、2-フルオロ-1, 4-フェニレン、2, 3-ジフルオロ-1, 4-フェニレン、2, 6-ジフルオロ-1, 4-フェニレン、ピリミジン-2, 5-ジイル、1, 3-ジオキサ-2, 5-ジイル、またはテトラヒドロピラン-2, 5-ジイルであり；Z¹は、単結合、エチレン、ビニレン、エチニレン、メチレンオキシ、カルボニルオキシ、またはジフルオロメチレンオキシであり；X¹およびX²は、水素またはフッ素であり；Y¹は、フッ素、塩素、シアノ、少なくとも1つの水素が

フッ素または塩素で置き換えられた炭素数 1 から 12 のアルキル、少なくとも 1 つの水素がフッ素または塩素で置き換えられた炭素数 1 から 12 のアルコキシ、または少なくとも 1 つの水素がフッ素または塩素で置き換えられた炭素数 2 から 12 のアルケニルオキシであり； a は、 1、 2、 3、 または 4 である。

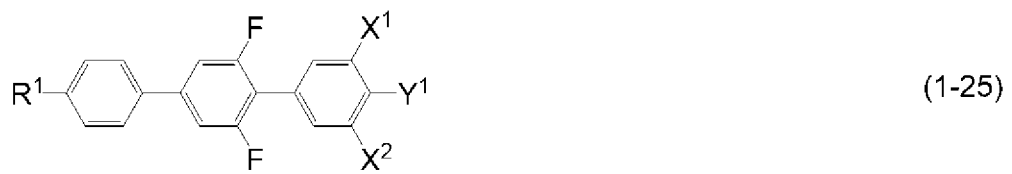
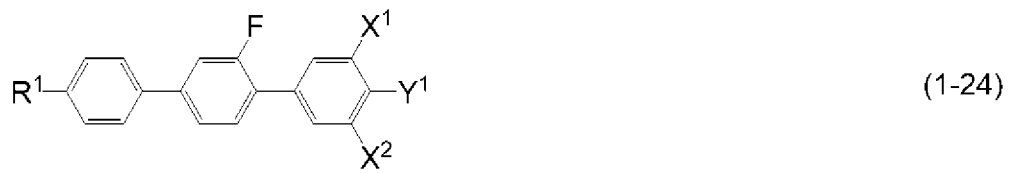
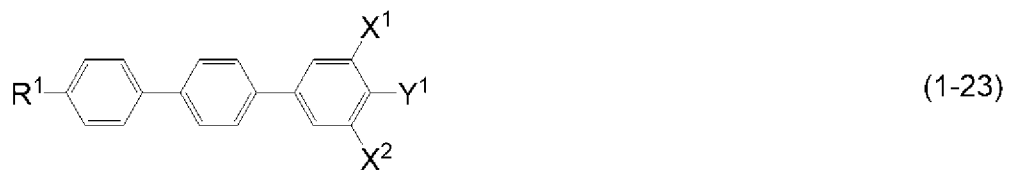
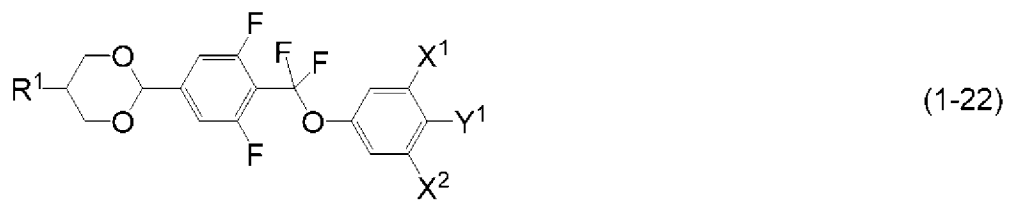
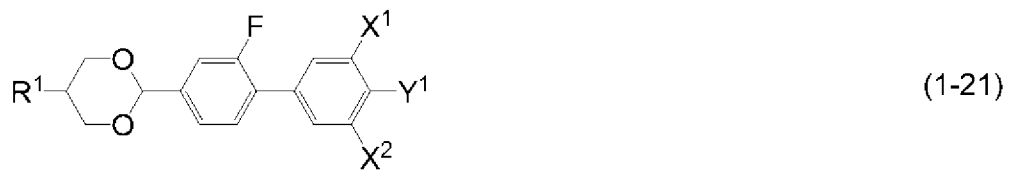
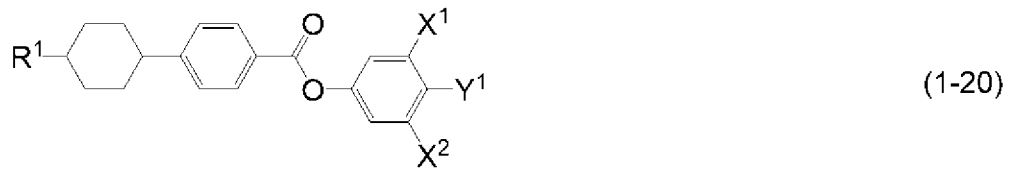
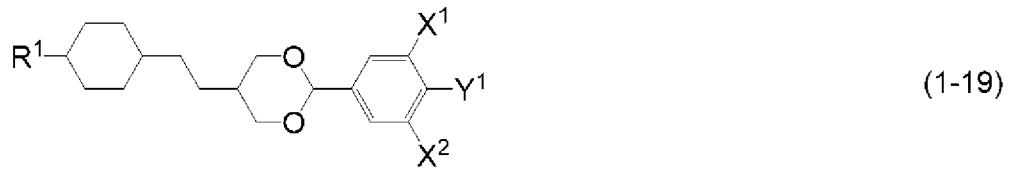
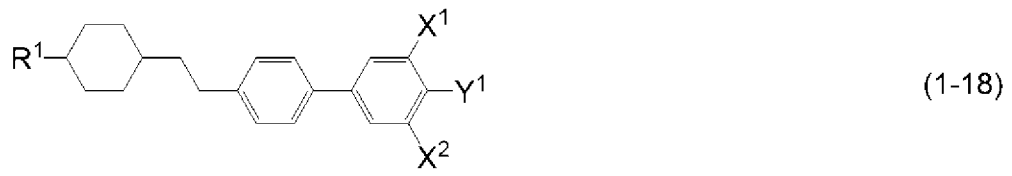
[0024] 項 2. 第一成分として式 (1-1) から式 (1-47) で表される化合物から選択された少なくとも 1 つの化合物を含有する液晶組成物と重合体とを含有する液晶複合体を有する、項 1 に記載の液晶調光素子。



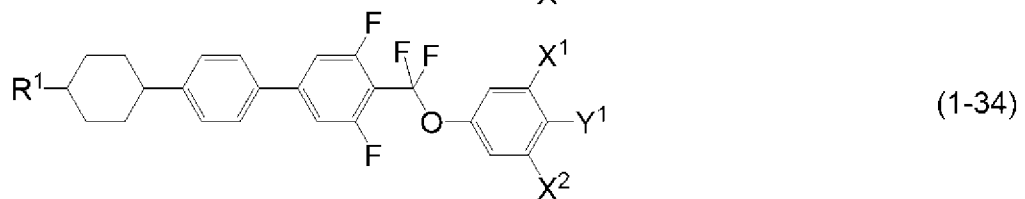
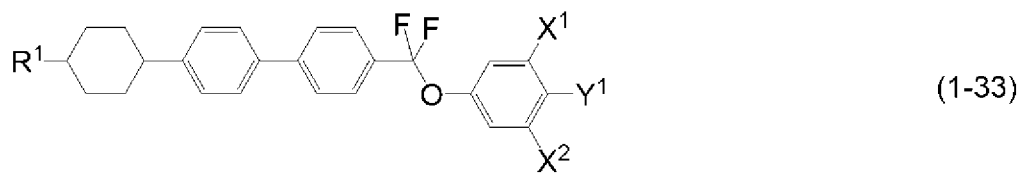
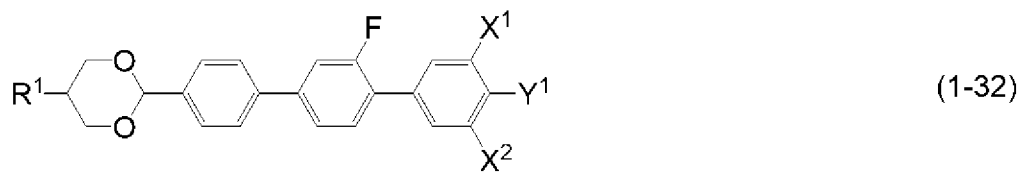
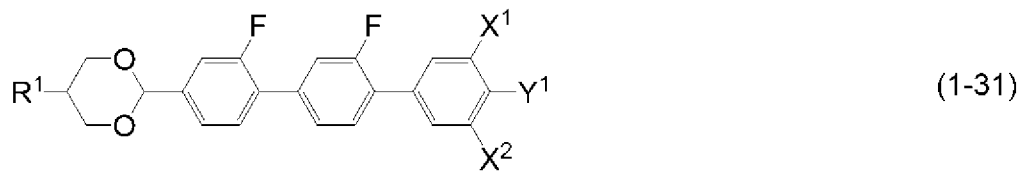
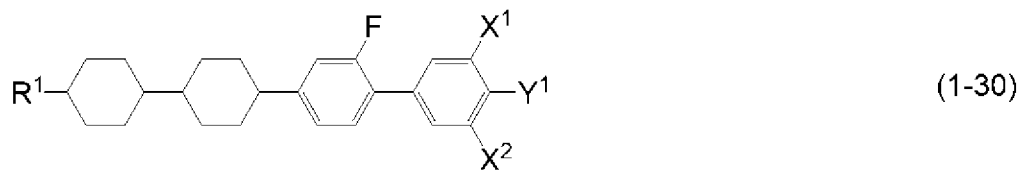
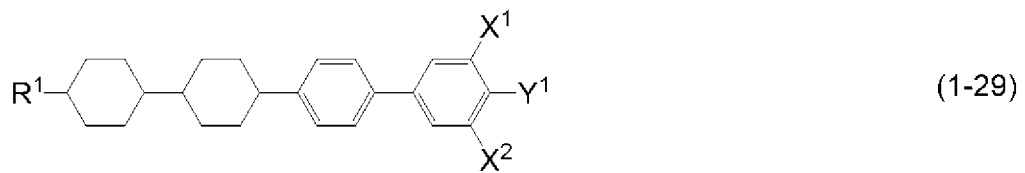
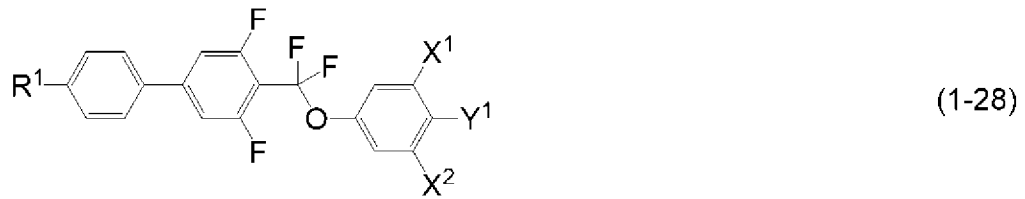
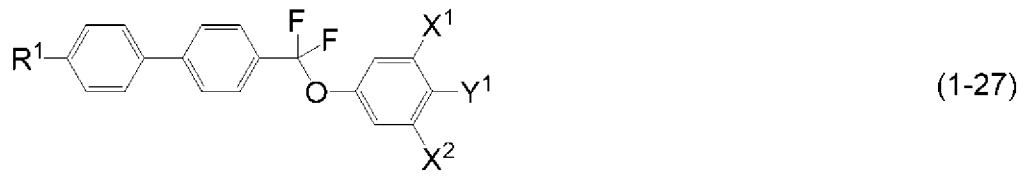
[0025]



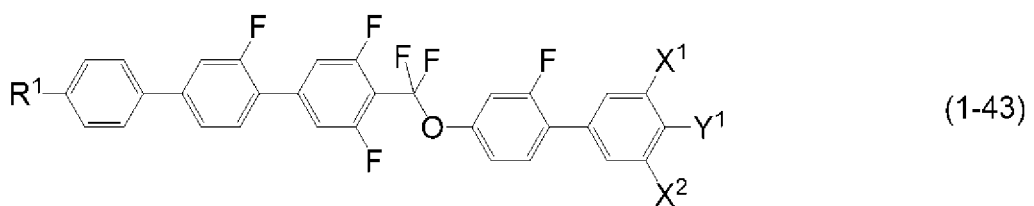
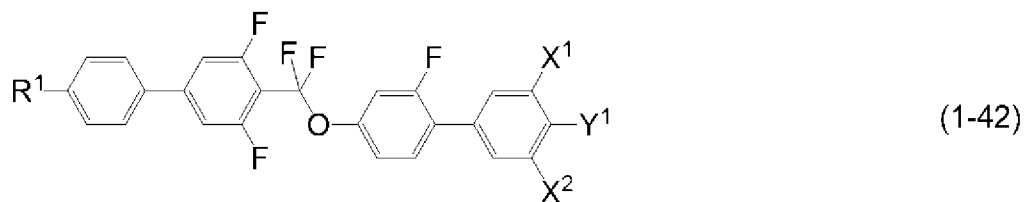
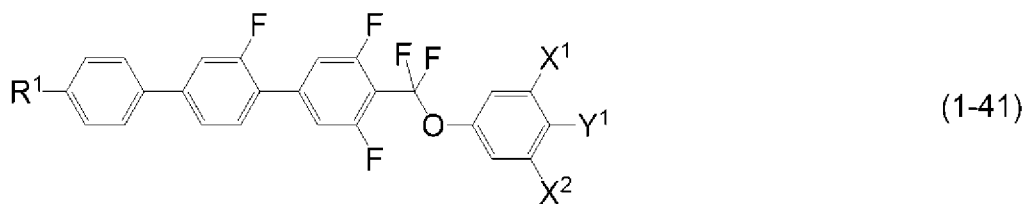
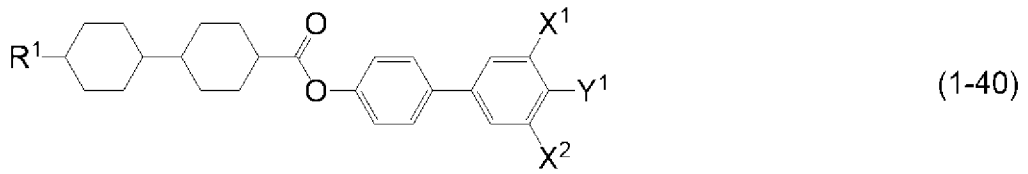
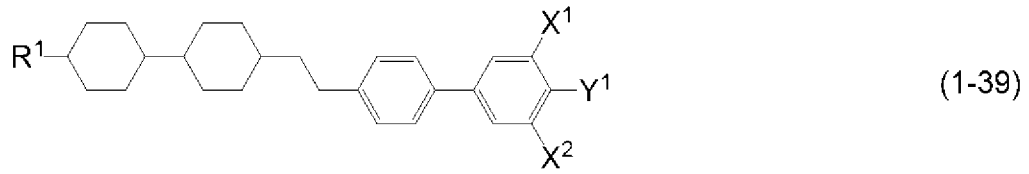
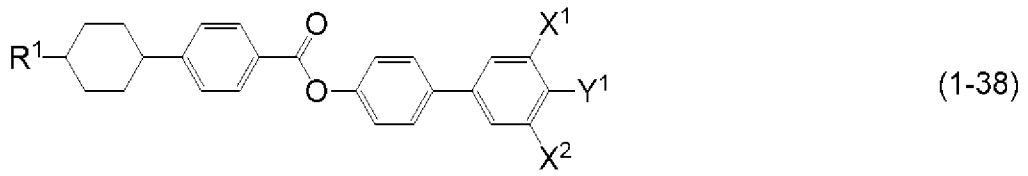
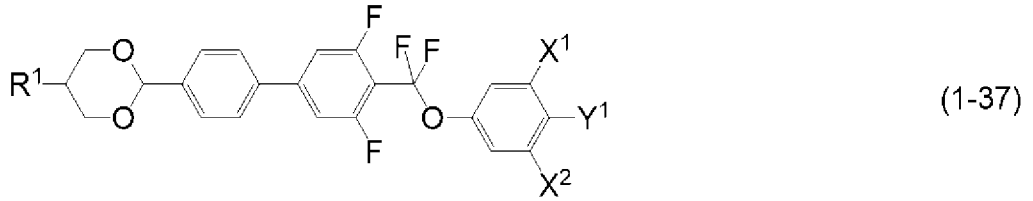
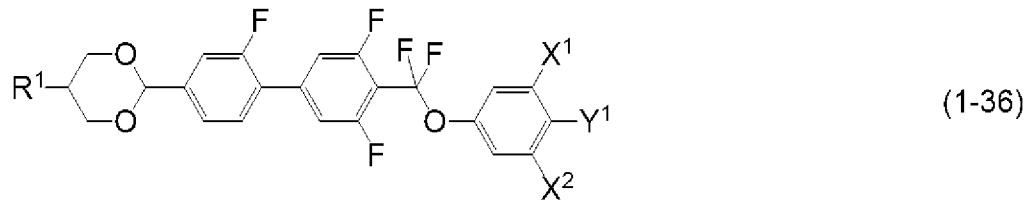
[0026]



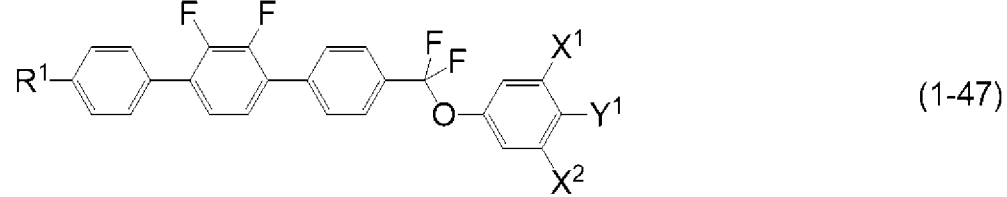
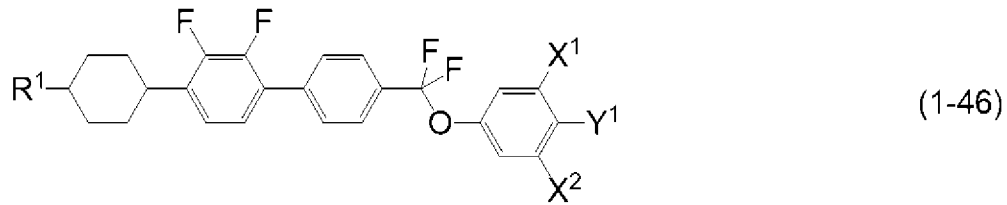
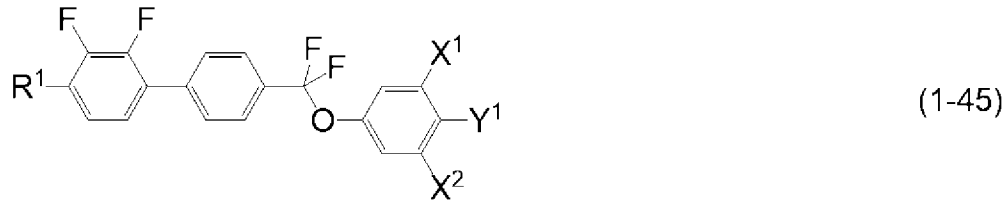
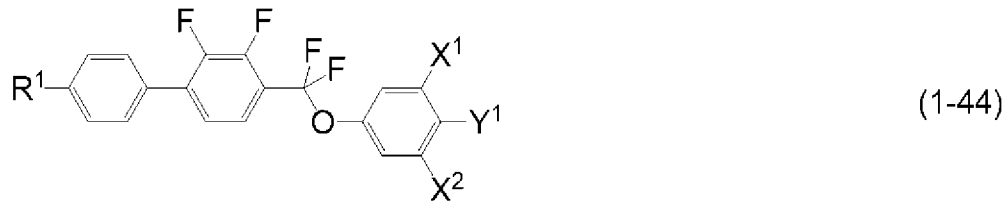
[0027]



[0028]



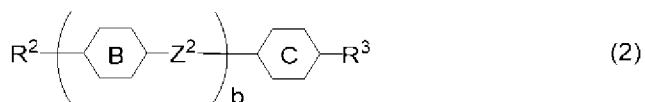
[0029]



式(1-1)から式(1-47)において、R¹は、炭素数1から12のアルキル、炭素数1から12のアルコキシ、または炭素数2から12のアルケニルであり；X¹およびX²は、水素またはフッ素であり；Y¹は、フッ素、塩素、シアノ、少なくとも1つの水素がフッ素または塩素で置き換えられた炭素数1から12のアルキル、少なくとも1つの水素がフッ素または塩素で置き換えられた炭素数1から12のアルコキシ、または少なくとも1つの水素がフッ素または塩素で置き換えられた炭素数2から12のアルケニルオキシである。

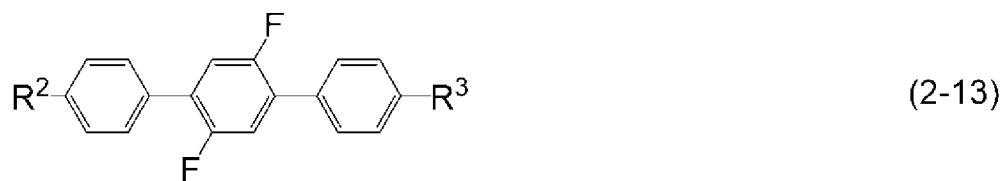
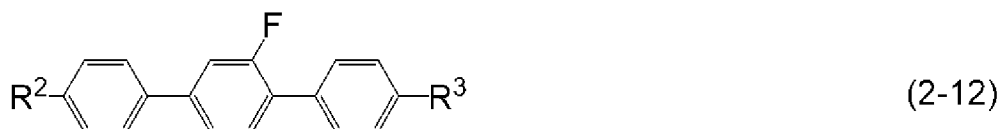
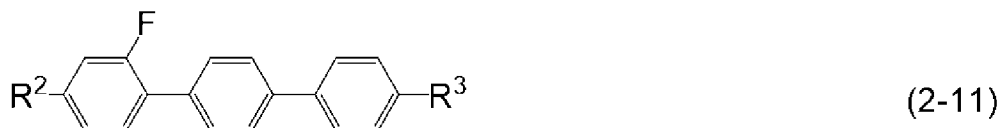
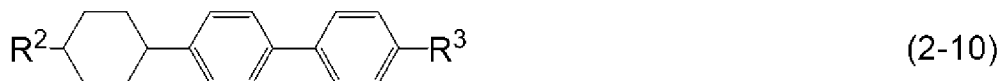
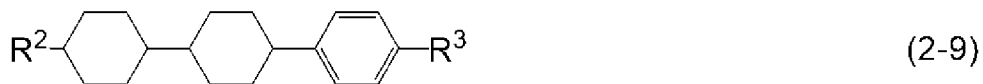
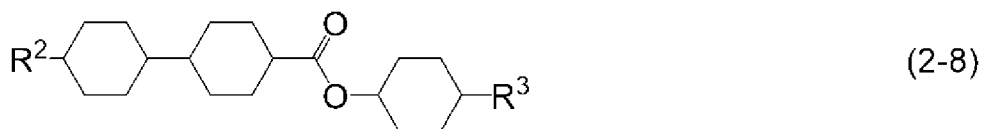
[0030] 項3. 液晶組成物の質量に基づいて、第一成分の割合が5質量%から90質量%の範囲である、項1または2に記載の液晶調光素子。

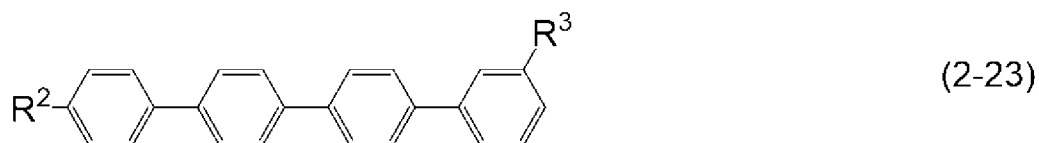
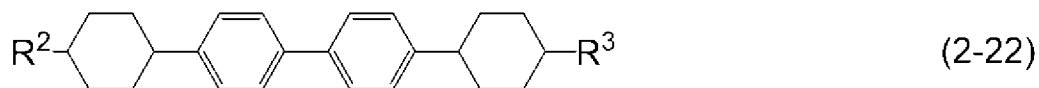
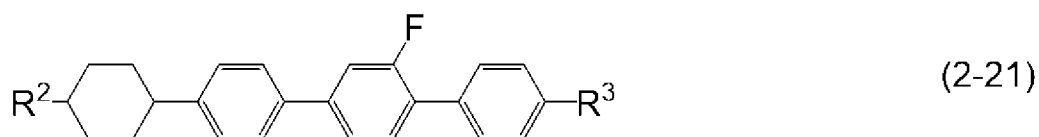
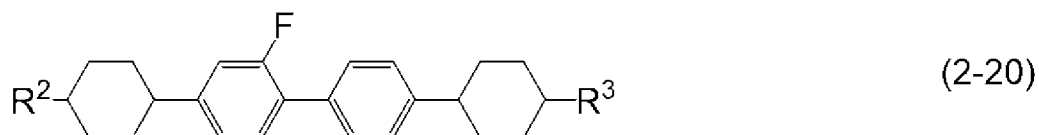
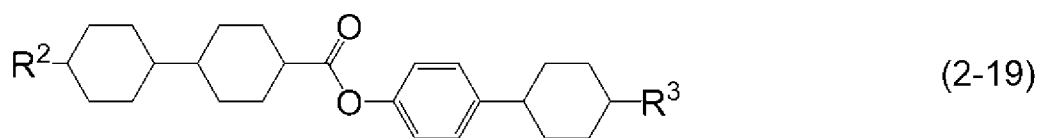
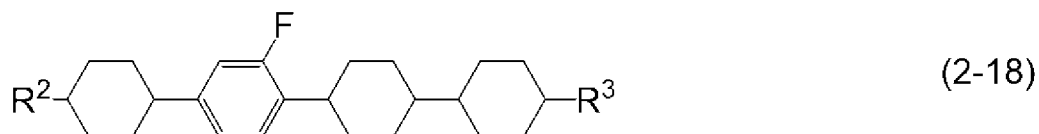
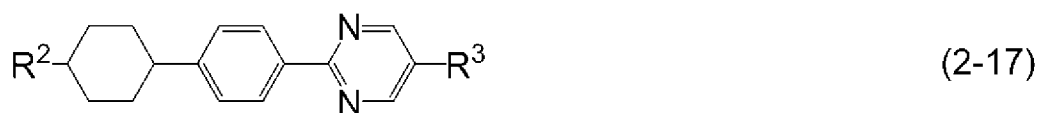
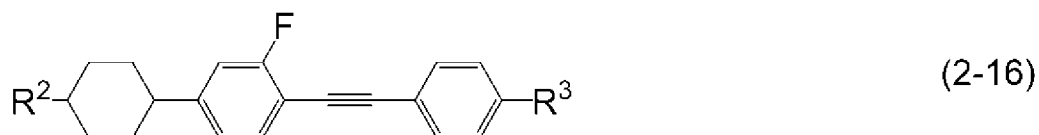
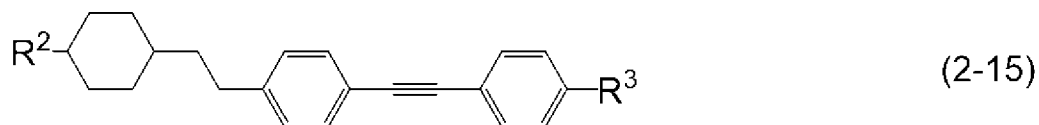
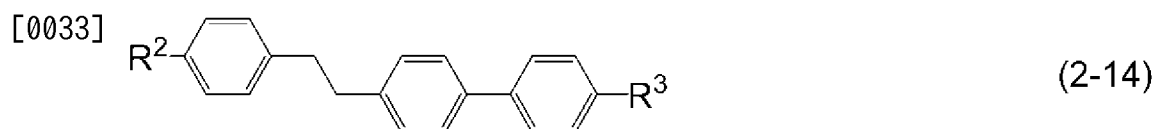
[0031] 項4. 第二成分として式(2)で表される化合物から選択された少なくとも1つの化合物を含有する液晶組成物と重合体とを含有する液晶複合体を有する、項1から3のいずれか1項に記載の液晶調光素子。



式(2)において、 R^2 および R^3 は、炭素数1から12のアルキル、炭素数1から12のアルコキシ、炭素数2から12のアルケニル、または少なくとも1つの水素がフッ素または塩素で置き換えられた炭素数2から12のアルケニルであり；環Bおよび環Cは、1,4-シクロヘキシレン、1,3-フェニレン、1,4-フェニレン、2-フルオロ-1,4-フェニレン、2,5-ジフルオロ-1,4-フェニレン、またはピリミジン-2,5-ジイルであり； Z^2 は、単結合、エチレン、ビニレン、エチニレン、メチレンオキシ、またはカルボニルオキシであり；bは、1、2、または3である。

[0032] 項5. 第二成分として式(2-1)から式(2-23)で表される化合物から選択された少なくとも1つの化合物を含有する液晶組成物と重合体とを含有する液晶複合体を有する、項1から4のいずれか1項に記載の液晶調光素子。



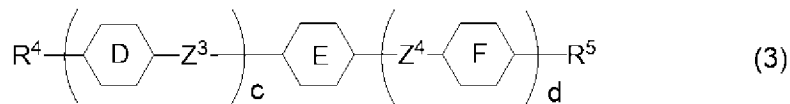


式(2-1)から式(2-23)において、 R^2 および R^3 は、炭素数1から12のアルキル、炭素数1から12のアルコキシ、炭素数2から12のアルケニル、または少なくとも1つの水素がフッ素または塩素で置き換えられた

炭素数 2 から 12 のアルケニルである。

[0034] 項 6. 液晶組成物の質量に基づいて、第二成分の割合が 5 質量% から 90 質量% の範囲である、項 4 または 5 に記載の液晶調光素子。

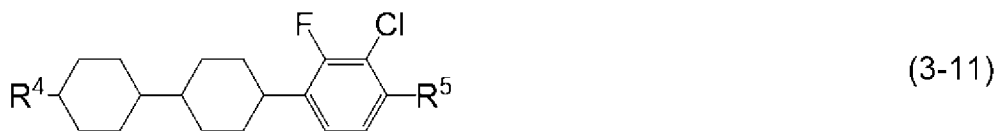
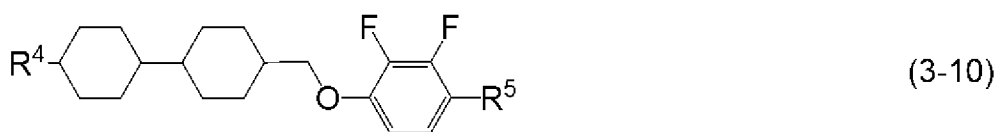
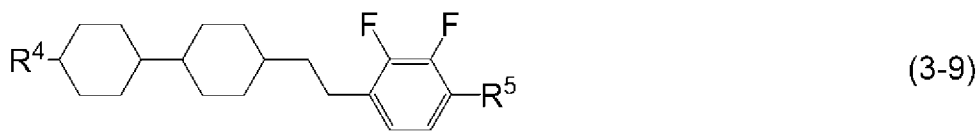
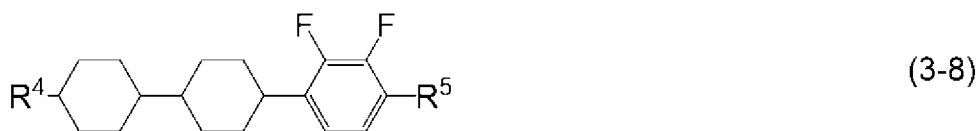
[0035] 項 7. 第三成分として式 (3) で表される化合物から選択された少なくとも 1 つの化合物を含有する液晶組成物と重合体とを含有する液晶複合体を有する、項 1 から 6 のいずれか 1 項に記載の液晶調光素子。



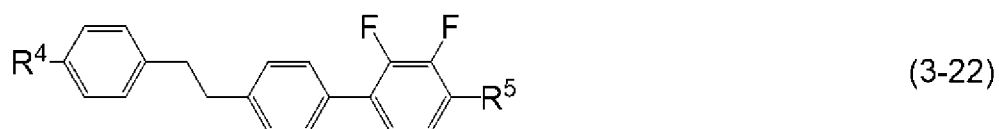
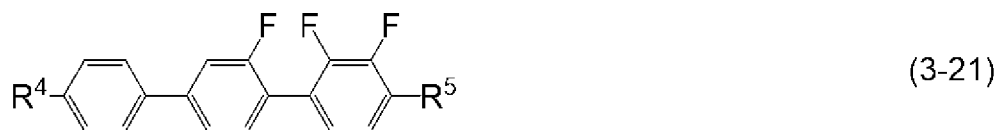
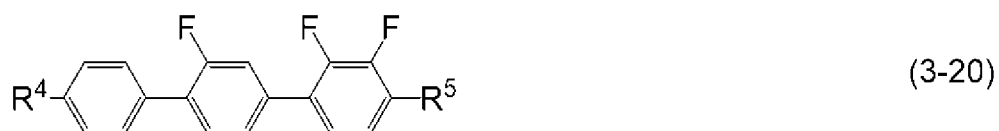
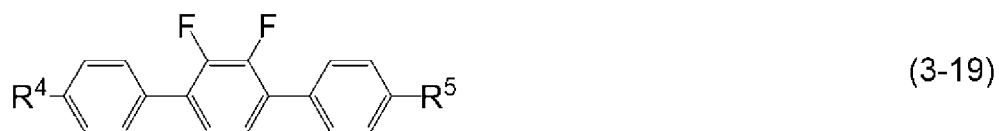
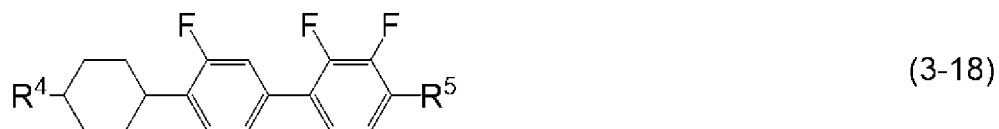
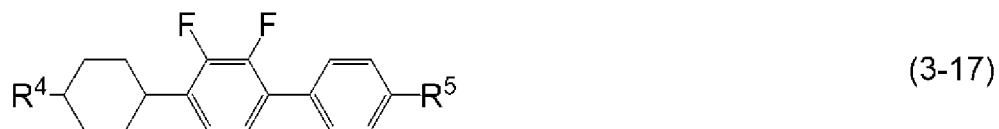
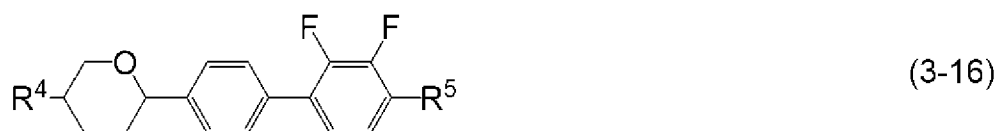
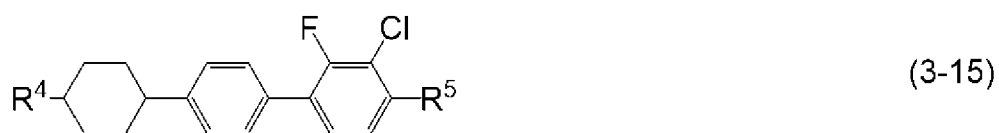
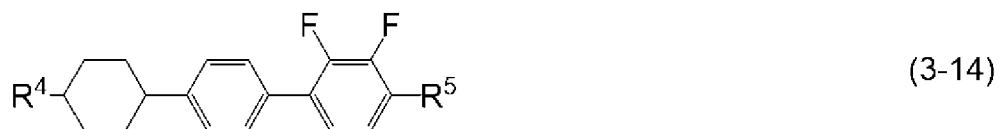
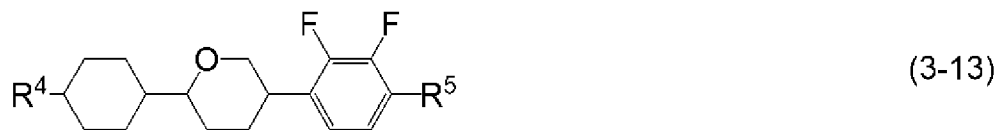
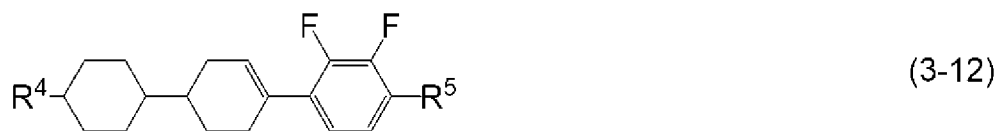
式 (3) において、 R^4 および R^5 は、水素、炭素数 1 から 12 のアルキル、炭素数 1 から 12 のアルコキシ、炭素数 2 から 12 のアルケニル、または炭素数 2 から 12 のアルケニルオキシであり；環 D および環 F は、1, 4-シクロヘキシレン、1, 4-シクロヘキセニレン、テトラヒドロピラン-2, 5-ジイル、1, 4-フェニレン、少なくとも 1 つの水素がフッ素または塩素で置き換えられた 1, 4-フェニレン、ナフタレン-2, 6-ジイル、少なくとも 1 つの水素がフッ素または塩素で置き換えられたナフタレン-2, 6-ジイル、クロマン-2, 6-ジイル、または少なくとも 1 つの水素がフッ素または塩素で置き換えられたクロマン-2, 6-ジイルであり；環 E は、2, 3-ジフルオロ-1, 4-フェニレン、2-クロロ-3-フルオロ-1, 4-フェニレン、2, 3-ジフルオロ-5-メチル-1, 4-フェニレン、3, 4, 5-トリフルオロナフタレン-2, 6-ジイル、7, 8-ジフルオロクロマン-2, 6-ジイル、3, 4, 5, 6-テトラフルオロフルオレン-2, 7-ジイル、4, 6-ジフルオロジベンゾフラン-3, 7-ジイル、4, 6-ジフルオロジベンゾチオフェン-3, 7-ジイル、または 1, 1, 6, 7-テトラフルオロインダン-2, 5-ジイルであり； Z^3 および Z^4 は、単結合、エチレン、ビニレン、メチレンオキシ、またはカルボニルオキシであり； c は、0、1、2、または 3 であり、 d は 0 または 1 であり、 c と d との和は 3 以下である。

[0036] 項 8. 第三成分として式 (3-1) から式 (3-35) で表される化合物

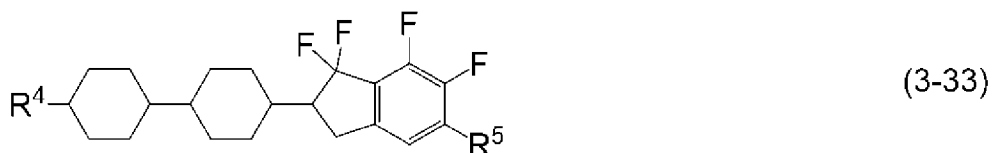
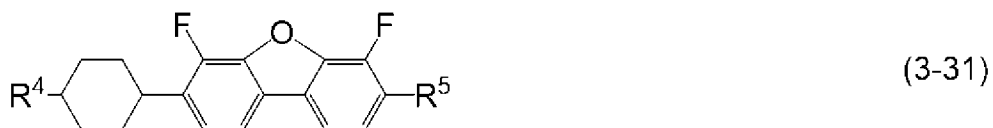
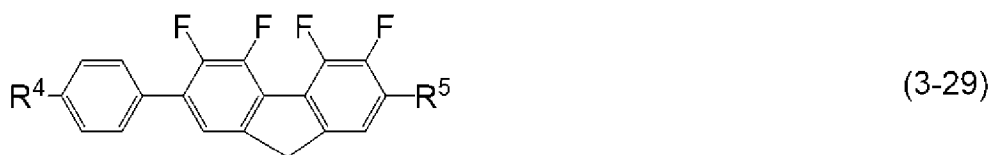
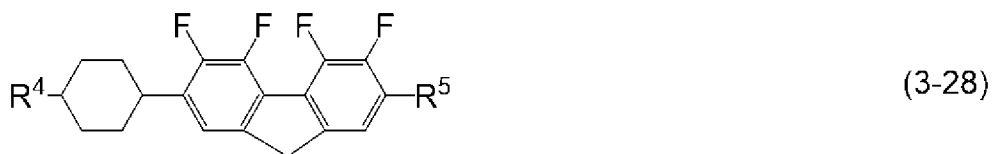
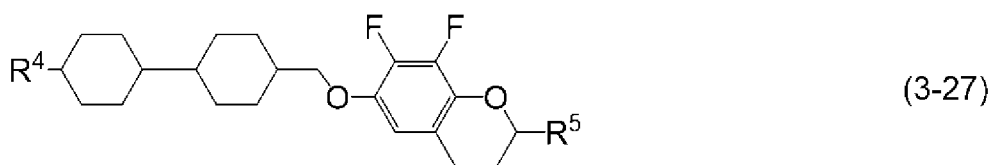
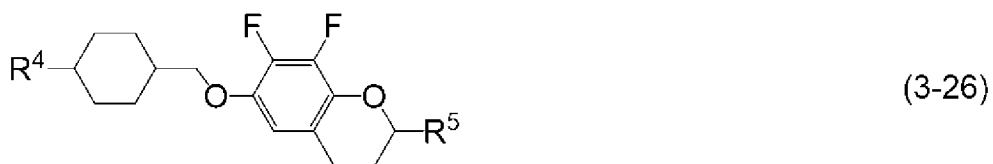
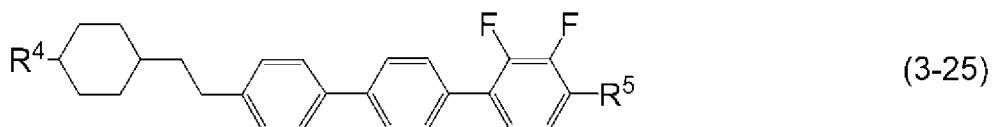
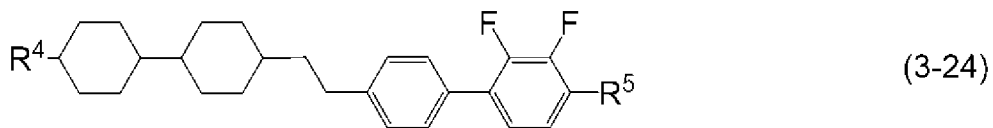
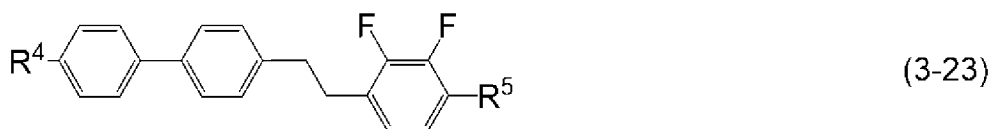
から選択された少なくとも1つの化合物を含有する液晶組成物と重合体を含有する液晶複合体を有する、項1から7のいずれか1項に記載の液晶調光素子。



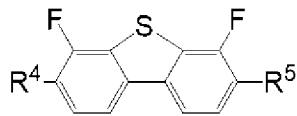
[0037]



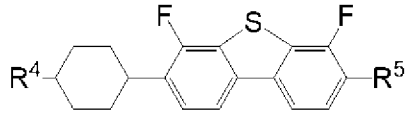
[0038]



[0039]



(3-34)

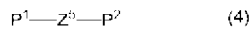


(3-35)

式(3-1)から式(3-35)において、 R^4 および R^5 は、水素、炭素数1から12のアルキル、炭素数1から12のアルコキシ、炭素数2から12のアルケニル、または炭素数2から12のアルケニルオキシである。

[0040] 項9. 液晶組成物の質量に基づいて、第三成分の割合が3質量%から25質量%の範囲である、項7または8に記載の液晶調光素子。

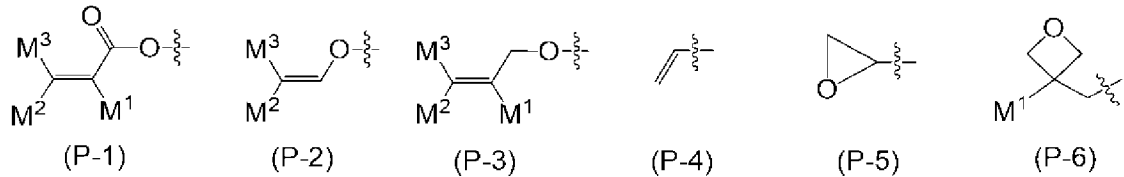
[0041] 項10. 重合体が式(4)で表される化合物を主成分として含有する、重合性化合物の混合物から誘導された重合体である、項1から9のいずれか1項に記載の液晶調光素子。



式(4)において、 P^1 および P^2 は重合性基であり； Z^5 は炭素数1から20のアルキレンであり、このアルキレンにおいて、少なくとも1つの水素は、炭素数1から5のアルキル、フッ素、塩素、または P^3 で置き換えられてもよく、少なくとも1つの $-CH_2-$ は、 $-O-$ 、 $-CO-$ 、 $-COO-$ 、 $-OCO-$ 、 $-NH-$ 、または $-N(R^6)-$ で置き換えられてもよく、少なくとも1つの $-CH_2-CH_2-$ は、 $-CH=CH-$ または $-C\equiv C-$ で置き換えられてもよく、少なくとも1つの $-CH_2-$ は、炭素環式の飽和脂肪族化合物、複素環式の飽和脂肪族化合物、炭素環式の不飽和脂肪族化合物、複素環式の不飽和脂肪族化合物、炭素環式の芳香族化合物、または複素環式の芳香族化合物から2つの水素を除くことによって生成した二価基で置き換えられてもよく、これらの二価基において、炭素数は5から35であり、少なくとも1つの水素は、 R^6 または P^3 で置き換えられてもよく、ここで、 R^6 は炭素数1から12のアルキルであり、このアルキルにおいて、少なくとも1つの $-CH_2-$ は、 $-O-$ 、 $-CO-$ 、 $-COO-$ 、または $-OCO-$ で置き換えられ

てもよく； P^3 は重合性基である。

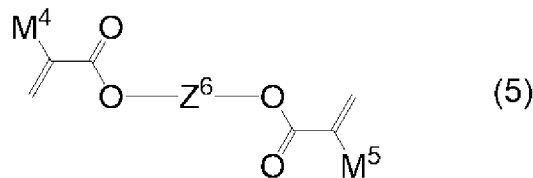
[0042] 項 1 1. P^1 、 P^2 、および P^3 が、式 (P-1) から式 (P-6) で表される重合性基から選択された基である、項 1 0 に記載の液晶調光素子。



式 (P-1) から式 (P-6) において、 M^1 、 M^2 、および M^3 は、水素、フッ素、炭素数 1 から 5 のアルキル、または少なくとも 1 つの水素がフッ素または塩素で置き換えられた炭素数 1 から 5 のアルキルである。

[0043] 項 1 2. P^1 、 P^2 、および P^3 の少なくとも 1 つが、アクリロイルオキシまたはメタクリロイルオキシである、項 1 0 に記載の液晶調光素子。

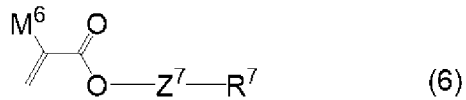
[0044] 項 1 3. 重合体が式 (5) で表される化合物を主成分として含有する、重合性化合物の混合物から誘導された重合体である、項 1 から 9 のいずれか 1 項に記載の液晶調光素子。



式 (5) において、 M^4 および M^5 は、水素またはメチルであり； Z^6 は炭素数 2 1 から 8 0 のアルキレンであり、このアルキレンにおいて、少なくとも 1 つの水素は、炭素数 1 から 2 0 のアルキル、フッ素、または塩素で置き換えられてもよく、少なくとも 1 つの $-CH_2-$ は、 $-O-$ 、 $-CO-$ 、 $-COO-$ 、 $-OCO-$ 、 $-NH-$ 、または $-N(R^6)-$ で置き換えられてもよく、少なくとも 1 つの $-CH_2-CH_2-$ は、 $-CH=CH-$ または $-C\equiv C-$ で置き換えられてもよく、ここで、 R^6 は炭素数 1 から 1 2 のアルキルであり、このアルキルにおいて、少なくとも 1 つの $-CH_2-$ は、 $-O-$ 、 $-CO-$ 、 $-COO-$ 、または $-OCO-$ で置き換えられてもよい。

[0045] 項 1 4. 重合体が式 (6) で表される化合物を主成分として含有する、重

合性化合物の混合物から誘導された重合体である、項1から9のいずれか1項に記載の液晶調光素子。

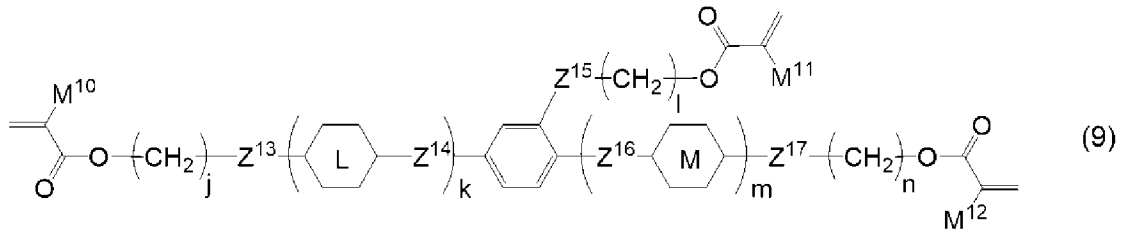
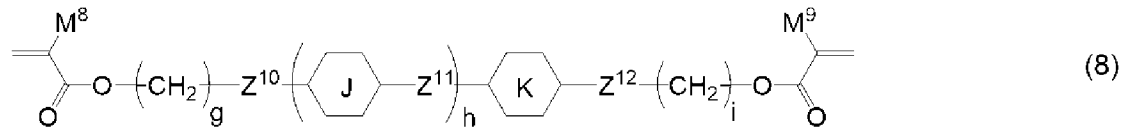
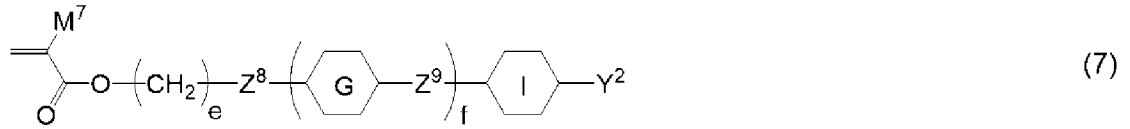


式(6)において、 M^6 は水素またはメチルであり； Z^7 は単結合または炭素数1から5のアルキレンであり、このアルキレンにおいて、少なくとも1つの水素は、フッ素または塩素で置き換えられてもよく、少なくとも1つの $-\text{CH}_2-$ は、 $-\text{O}-$ 、 $-\text{CO}-$ 、 $-\text{COO}-$ 、または $-\text{OCO}-$ で置き換えられてもよく； R^7 は炭素数1から40のアルキルであり、このアルキルにおいて、少なくとも1つの水素は、フッ素または塩素で置き換えられてもよく、少なくとも1つの $-\text{CH}_2-$ は、 $-\text{O}-$ 、 $-\text{CO}-$ 、 $-\text{COO}-$ 、または $-\text{OCO}-$ で置き換えられてもよく、少なくとも1つの $-\text{CH}_2-$ は、炭素環式の飽和脂肪族化合物、複素環式の飽和脂肪族化合物、炭素環式の不飽和脂肪族化合物、複素環式の不飽和脂肪族化合物、炭素環式の芳香族化合物、または複素環式の芳香族化合物から2つの水素を除くことによって生成した二価基で置き換えられてもよく、これらの二価基において、炭素数は5から35であり、少なくとも1つの水素は、炭素数1から12のアルキルで置き換えられてもよく、このアルキルにおいて、少なくとも1つの $-\text{CH}_2-$ は、 $-\text{O}-$ 、 $-\text{CO}-$ 、 $-\text{COO}-$ 、または $-\text{OCO}-$ で置き換えられてもよい。

[0046] 項15. 式(6)において、 M^6 が水素またはメチルであり； Z^7 が単結合または炭素数1から5のアルキレンであり、このアルキレンにおいて、少なくとも1つの水素は、フッ素または塩素で置き換えられてもよく、少なくとも1つの $-\text{CH}_2-$ は、 $-\text{O}-$ 、 $-\text{CO}-$ 、 $-\text{COO}-$ 、または $-\text{OCO}-$ で置き換えられてもよく； R^7 が炭素数1から40のアルキルであり、このアルキルにおいて、少なくとも1つの水素は、フッ素または塩素で置き換えられてもよく、少なくとも1つの $-\text{CH}_2-$ は、 $-\text{O}-$ 、 $-\text{CO}-$ 、 $-\text{COO}-$ 、または $-\text{OCO}-$ で置き換えられてもよい、項14に記載の液晶調光素子。

[0047] 項16. 重合体が、式(7)、式(8)、および式(9)で表される化合

物から選択された化合物を主成分として含有する、重合性化合物の混合物から誘導された重合体である、項1から9のいずれか1項に記載の液晶調光素子。



式(7)、式(8)、および式(9)において、環G、環I、環J、環K、環L、および環Mは、1,4-シクロヘキシレン、1,4-フェニレン、1,4-シクロヘキセニレン、ピリジン-2,5-ジイル、1,3-ジオキサン-2,5-ジイル、ナフタレン-2,6-ジイル、またはフルオレン-2,7-ジイルであり、ここで、少なくとも1つの水素はフッ素、塩素、シアノ、ヒドロキシ、ホルミル、トリフルオロアセチル、ジフルオロメチル、トリフルオロメチル、炭素数1から5のアルキル、炭素数1から5のアルコキシ、炭素数2から5のアルコシカルボニル、または炭素数1から5のアルカノイルで置き換えられてもよく；Z⁸、Z¹⁰、Z¹²、Z¹³、およびZ¹⁷は、単結合、-O-、-COO-、-OCO-、または-OCOO-であり；Z⁹、Z¹¹、Z¹⁴、およびZ¹⁶は、単結合、-OCH₂-、-CH₂O-、-COO-、-OCO-、-COS-、-SCO-、-OCOO-、-CONH-、-NHCO-、-CF₂O-、-OCF₂-、-CH₂CH₂-、-CF₂CF₂-、-CH=CHCOO-、-OCOCH=CH-、-CH₂CH₂COO-、-OCOCH₂CH₂-、-CH=CH-、-N=CH-、-CH=N-

—、 $-N=C(CH_3)-$ 、 $-C(CH_3)=N-$ 、 $-N=N-$ 、または $-C\equiv C-$ であり； Z^{15} は、単結合、 $-O-$ または $-COO-$ であり； Y^2 は、水素、フッ素、塩素、トリフルオロメチル、トリフルオロメトキシ、シアノ、炭素数1から20のアルキル、炭素数2から20のアルケニル、炭素数1から20のアルコキシ、または炭素数2から20のアルコキシカルボニルであり； f および h は、1から4の整数であり； k および m は、0から3の整数であり、 k および m の和は、1から4であり； e 、 g 、 i 、 j 、 l 、および n は、0から20の整数であり； M^7 から M^{12} は、水素またはメチルである。

- [0048] 項17. 液晶複合体の質量に基づいて、液晶組成物の割合が50質量%から95質量%の範囲であり、重合体の割合が、5質量%から50質量%の範囲である、項1から16のいずれか1項に記載の液晶調光素子。
- [0049] 項18. 液晶複合体が、液晶組成物と重合性化合物とを含有する重合性組成物を前駆体として得られ、この重合性組成物が添加物として光重合開始剤を含有する、項1から17のいずれか1項に記載の液晶調光素子。
- [0050] 項19. 調光層が項1から18のいずれか1項に記載の液晶複合体であり、調光層が一对の透明基板により挟持され、透明基板が透明電極を有する、項1から18のいずれか1項に記載の液晶調光素子。
- [0051] 項20. 透明基板がガラス板またはアクリル板である、項19に記載の液晶調光素子。
- [0052] 項21. 透明基板がプラスチックフィルムである、項19に記載の液晶調光素子。
- [0053] 項22. 項1から21のいずれか1項に記載の液晶調光素子を使用する調光窓。
- [0054] 項23. 項1から21のいずれか1項に記載の液晶調光素子を使用するスマートウィンドウ。
- [0055] 項24. 項1から21のいずれか1項に記載の液晶調光素子の、調光窓への使用。
- [0056] 項25. 項1から21のいずれか1項に記載の液晶調光素子の、スマート

ウィンドウへの使用。

- [0057] 本発明は、次の項も含む。(a) 第一成分として、式(1)において、 Y^1 がフッ素である化合物から選択された少なくとも1つの化合物を含有する液晶組成物と重合体とを含有する液晶複合体を有する、項1に記載の液晶調光素子。(b) 第一成分として、式(1)において、 Y^1 がシアノである化合物から選択された少なくとも1つの化合物を含有する液晶組成物と重合体とを含有する液晶複合体を有する、項1に記載の液晶調光素子。
- [0058] 本発明は、次の項も含む。(c) 第一成分として、項2に記載の化合物(1-1)、化合物(1-2)、化合物(1-3)、化合物(1-9)、化合物(1-13)、化合物(1-16)、化合物(1-21)、化合物(1-22)、化合物(1-23)、化合物(1-24)、化合物(1-27)、化合物(1-28)、化合物(1-33)、化合物(1-36)、化合物(1-41)、および化合物(1-42)から選択された少なくとも1つの化合物を含有する液晶組成物と重合体とを含有する液晶複合体を有する、項2に記載の液晶調光素子。
- [0059] 本発明は、次の項も含む。(d) 第二成分として、項5に記載の化合物(2-1)、化合物(2-2)、化合物(2-3)、化合物(2-4)、化合物(2-6)、化合物(2-9)、化合物(2-10)、化合物(2-12)、化合物(2-13)、化合物(2-14)、化合物(2-16)、化合物(2-17)、化合物(2-19)、および化合物(2-21)から選択された少なくとも1つの化合物を含有する液晶組成物と重合体とを含有する液晶複合体を有する、項5に記載の液晶調光素子。
- [0060] 本発明は、次の項も含む。(e) 第三成分として、項8に記載の化合物(3-1)、化合物(3-5)、化合物(3-6)、化合物(3-7)、化合物(3-8)、化合物(3-12)、化合物(3-14)、化合物(3-19)、および化合物(3-34)から選択された少なくとも1つの化合物を含有する液晶組成物と重合体とを含有する液晶複合体を有する、項8に記載の液晶調光素子。

[0061] 本発明は、次の項も含む。(f) 液晶複合体の質量に基づいて、液晶組成物の割合が50質量%から90質量%の範囲であり、重合体の割合が、10質量%から50質量%の範囲である、上記の液晶調光素子。(g) 液晶複合体の質量に基づいて、液晶組成物の割合が50質量%から85質量%の範囲であり、重合体の割合が、15質量%から50質量%の範囲である、上記の液晶調光素子。(h) 液晶複合体の質量に基づいて、液晶組成物の割合が60質量%から80質量%の範囲であり、重合体の割合が、20質量%から40質量%の範囲である、上記の液晶調光素子。

[0062] 本発明の液晶調光素子を次の順で説明する。第一に、液晶複合体の構成を説明する。第二に、液晶組成物の構成を説明する。第三に、液晶性化合物の主要な特性、およびこの化合物が液晶組成物や素子に及ぼす主要な効果を説明する。第四に、液晶組成物における成分の組合せ、成分の好ましい割合およびその根拠を説明する。第五に、液晶性化合物の好ましい形態を説明する。第六に、好ましい液晶性化合物を示す。第七に、重合性化合物の好ましい形態およびその一例を説明する。第八に、成分化合物の合成法を説明する。第九に、重合性組成物に添加してもよい添加物を説明する。最後に、液晶複合体や素子を説明する。

[0063] 第一に、液晶複合体の構成を説明する。液晶複合体の前駆体は、重合性組成物である。液晶複合体は重合性組成物の重合によって得られる。重合性組成物は、液晶組成物と重合性化合物との混合物である。この液晶組成物の誘電率異方性は正である。重合性組成物は、重合によって生成した重合体が相分離をするので液晶複合体を与える。すなわち、重合体と液晶組成物とを組み合わせた液晶複合体が生成する。この液晶複合体は、電圧無印加時に不透明であり、電圧印加時に透明となるノーマルモードの素子に適している。液晶組成物の光学異方性と重合体の屈折率は、液晶調光素子の透明性に関連する。液晶組成物の光学異方性 (Δn) は一般に大きい方が好ましい。光学異方性は0.15以上が好ましく、0.18以上がより好ましい。

[0064] 高分子分散型の素子では、重合体中で液晶組成物が液滴のように分散して

いる。液滴の各々は分離しており、液滴は連続していない。一方、ポリマーネットワーク型の素子では、重合体は三次元の網目構造を有し、液晶組成物はこの網目に囲まれてはいるが、連続している。これらの素子において、液晶複合体に基づいた液晶組成物の割合は、効率的に光散乱させるために、大きい方が好ましい。液滴や網目が大きいとき、駆動電圧は低い。したがって、重合体の割合は、低い駆動電圧の観点から小さい方が好ましい。液滴や網目が小さいとき、応答時間は短い。したがって、重合体の割合は、短い応答時間の観点から大きい方が好ましい。

[0065] 液晶組成物の好ましい割合は、液晶複合体の質量に基づいて、約50質量%から約95質量%の範囲である。この好ましい割合は、約50質量%から約90質量%の範囲でもある。さらに好ましい割合は、約50質量%から約85質量%の範囲である。特に好ましい割合は、約60質量%から約80質量%の範囲である。特に好ましい割合は、約70質量%から約80質量%の範囲である。液晶複合体と重合体との合計は100質量%であるから、重合体の割合は容易に算出できる。なお、液晶複合体に基づいた重合体の割合は、重合性組成物に基づいた重合性化合物の割合と同一である。

[0066] 液晶組成物の好ましい割合は、効率的に光散乱させるために、液晶複合体の質量に基づいて約75質量%から約97質量%の範囲である。さらに好ましい割合は、約80質量%から約96質量%の範囲である。特に好ましい割合は、約85質量%から約95質量%の範囲である。

[0067] 液晶組成物と重合体の割合がこれらの範囲内であるとき、ポリマーネットワーク型の素子が生成する。重合体の割合が大きいとき、高分子分散型の構造が混在するようである。一方、重合体の割合がより小さいとき、高分子支持配向型の素子が生成する。これは、PSA (polymer sustained alignment) 素子と略される。国際公開2012-050178号公報の実施例1には、「モノマーは、液晶材料に対して、0.5wt%となるように添加した」(段落0105)と記載されている。この記載から分かるように、PSA素子においては、微量の重合性化合物が液晶材料(液晶組成物)に添加される

- 。
- [0068] P S A素子においては、重合体が液晶分子のプレチルト角を調整する。プレチルト角を最適化することによって液晶分子が安定化し、素子の応答時間が短縮される。一方、ノーマルモードのポリマーネットワーク型素子においては、重合体の屈折率と液晶分子の屈折率には差異があるので、光散乱が起こり、素子は不透明になる。この素子に電圧を印加したとき、液晶分子は基板と垂直に配列し、素子は透明になる。したがって、ポリマーネットワーク型素子では、P S A素子と異なり、偏光板が不要である。
- [0069] 第二に、液晶組成物の構成を説明する。この組成物は、複数の液晶性化合物を含有する。この組成物は、添加物を含有してもよい。添加物は、光学活性化合物、酸化防止剤、紫外線吸収剤、消光剤、色素、消泡剤、極性化合物などである。この組成物は、液晶性化合物の観点から組成物Aと組成物Bに分類される。組成物Aは、化合物(1)、化合物(2)、および化合物(3)から選択された液晶性化合物の他に、その他の液晶性化合物、添加物などをさらに含有してもよい。「その他の液晶性化合物」は、化合物(1)、化合物(2)、および化合物(3)とは異なる液晶性化合物である。このような化合物は、特性をさらに調整する目的で組成物に混合される。
- [0070] 組成物Bは、実質的に化合物(1)、化合物(2)、および化合物(3)から選択された液晶性化合物のみからなる。「実質的に」は、組成物Bが添加物を含有してもよいが、その他の液晶性化合物を含有しないことを意味する。組成物Bは組成物Aに比較して成分の数が少ない。コストを下げるという観点から、組成物Bは組成物Aよりも好ましい。その他の液晶性化合物を混合することによって特性をさらに調整できるという観点から、組成物Aは組成物Bよりも好ましい。
- [0071] 第三に、液晶性化合物の主要な特性、およびこの化合物が液晶組成物や素子に及ぼす主要な効果を説明する。成分化合物の主要な特性を表2にまとめる。表2において、Lは大きいまたは高い、Mは中程度の、Sは小さいまたは低い、を意味する。記号L、M、Sは、成分化合物のあいだの定性的な比

較に基づいた分類であり、0（ゼロ）は、極めて小さいことを意味する。

[0072] 表2. 液晶性化合物の特性

化合物	化合物(1)	化合物(2)	化合物(3)
上限温度	S~L	S~L	S~L
粘度	M~L	S~M	M~L
光学異方性	M~L	S~L	M~L
誘電率異方性	S~L	0	M~L ¹⁾
比抵抗	L	L	L

1) 誘電率異方性の値は負であり、記号は絶対値の大小を示す

[0073] 成分化合物が組成物の特性に及ぼす主要な効果は次のとおりである。化合物（1）は、誘電率異方性を上げる。化合物（2）は、上限温度を上げる、または下限温度を下げる。化合物（3）は、液晶分子の短軸方向における誘電率を上げる。

[0074] 第四に、液晶組成物における成分の組合せ、成分の好ましい割合およびその根拠を説明する。組成物における成分の好ましい組合せは、第一成分+第二成分、第一成分+第三成分、または第一成分+第二成分+第三成分である。さらに好ましい組合せは、第一成分+第二成分、または第一成分+第二成分+第三成分である。

[0075] 第一成分の好ましい割合は、誘電率異方性を上げるために約5質量%以上であり、下限温度を下げるために約90質量%以下である。さらに好ましい割合は約10質量%から約85質量%の範囲である。特に好ましい割合は約20質量%から約80質量%の範囲である。

[0076] 第二成分の好ましい割合は、上限温度を上げる、または下限温度を下げるために約5質量%以上であり、誘電率異方性を上げるために約90質量%以下である。さらに好ましい割合は約10質量%から約85質量%の範囲である。特に好ましい割合は約20質量%から約80質量%の範囲である。

[0077] 第三成分の好ましい割合は、液晶分子の短軸方向における誘電率を上げるために約3質量%以上であり、下限温度を下げるために約25質量%以下である。さらに好ましい割合は約5質量%から約20質量%の範囲である。特

に好ましい割合は約5質量%から約15質量%の範囲である。

- [0078] 第五に、液晶性化合物の好ましい形態を説明する。式(1)、式(2)、および式(3)において、R¹は、炭素数1から12のアルキル、炭素数1から12のアルコキシ、または炭素数2から12のアルケニルである。好ましいR¹は、光や熱に対する安定性を上げるために、炭素数1から12のアルキルである。
- [0079] R²およびR³は、炭素数1から12のアルキル、炭素数1から12のアルコキシ、炭素数2から12のアルケニル、または少なくとも1つの水素がフッ素または塩素で置き換えられた炭素数2から12のアルケニルである。好ましいR²またはR³は、上限温度を上げる、または下限温度を下げるために炭素数2から12のアルケニルであり、光や熱に対する安定性を上げるために炭素数1から12のアルキルである。
- [0080] R⁴およびR⁵は、水素、炭素数1から12のアルキル、炭素数1から12のアルコキシ、炭素数2から12のアルケニル、または炭素数2から12のアルケニルオキシである。好ましいR⁴またはR⁵は、光や熱に対する安定性を上げるために炭素数1から12のアルキルであり、液晶分子の短軸方向における誘電率を上げるために炭素数1から12のアルコキシである。
- [0081] 好ましいアルキルは、メチル、エチル、プロピル、ブチル、ペンチル、ヘキシル、ヘプチル、またはオクチルである。さらに好ましいアルキルは、粘度を下げるためにメチル、エチル、プロピル、ブチル、またはペンチルである。
- [0082] 好ましいアルコキシは、メトキシ、エトキシ、プロポキシ、ブトキシ、ペンチルオキシ、ヘキシルオキシ、またはヘプチルオキシである。粘度を下げるために、さらに好ましいアルコキシは、メトキシまたはエトキシである。
- [0083] 好ましいアルケニルは、ビニル、1-プロペニル、2-プロペニル、1-ブテニル、2-ブテニル、3-ブテニル、1-ペンテニル、2-ペンテニル、3-ペンテニル、4-ペンテニル、1-ヘキセニル、2-ヘキセニル、3-ヘキセニル、4-ヘキセニル、または5-ヘキセニルである。さらに好ま

しいアルケニルは、粘度を下げるためにビニル、1-プロペニル、3-ブテニル、または3-ペンテニルである。これらのアルケニルにおける $-CH=CH-$ の好ましい立体配置は、二重結合の位置に依存する。粘度を下げるためなどから1-プロペニル、1-ブテニル、1-ペンテニル、1-ヘキセニル、3-ペンテニル、3-ヘキセニルのようなアルケニルにおいてはトランスが好ましい。2-ブテニル、2-ペンテニル、2-ヘキセニルのようなアルケニルにおいてはシスが好ましい。

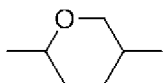
[0084] 好ましいアルケニルオキシは、ビニルオキシ、アリルオキシ、3-ブテニルオキシ、3-ペンテニルオキシ、または4-ペンテニルオキシである。粘度を下げるために、さらに好ましいアルケニルオキシは、アリルオキシまたは3-ブテニルオキシである。

[0085] 少なくとも1つの水素がフッ素または塩素で置き換えられたアルキルの好ましい例は、フルオロメチル、2-フルオロエチル、3-フルオロプロピル、4-フルオロブチル、5-フルオロペンチル、6-フルオロヘキシル、7-フルオロヘプチル、または8-フルオロオクチルである。さらに好ましい例は、誘電率異方性を上げるために2-フルオロエチル、3-フルオロプロピル、4-フルオロブチル、または5-フルオロペンチルである。

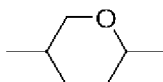
[0086] 少なくとも1つの水素がフッ素または塩素で置き換えられたアルケニルの好ましい例は、2, 2-ジフルオロビニル、3, 3-ジフルオロ-2-プロペニル、4, 4-ジフルオロ-3-ブテニル、5, 5-ジフルオロ-4-ペンテニル、または6, 6-ジフルオロ-5-ヘキセニルである。さらに好ましい例は、粘度を下げるために2, 2-ジフルオロビニルまたは4, 4-ジフルオロ-3-ブテニルである。

[0087] 環Aは、1, 4-シクロヘキシレン、1, 4-フェニレン、2-フルオロ-1, 4-フェニレン、2, 3-ジフルオロ-1, 4-フェニレン、2, 6-ジフルオロ-1, 4-フェニレン、ピリミジン-2, 5-ジイル、1, 3-ジオキサソ-2, 5-ジイル、またはテトラヒドロピラン-2, 5-ジイルである。好ましい環Aは、光学異方性を上げるために1, 4-フェニレン

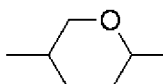
または2-フルオロ-1,4-フェニレンである。1,4-シクロヘキシレンに関する立体配置は、上限温度を上げるためにシスよりもトランスが好ましい。テトラヒドロピラン-2,5-ジイルは、



または



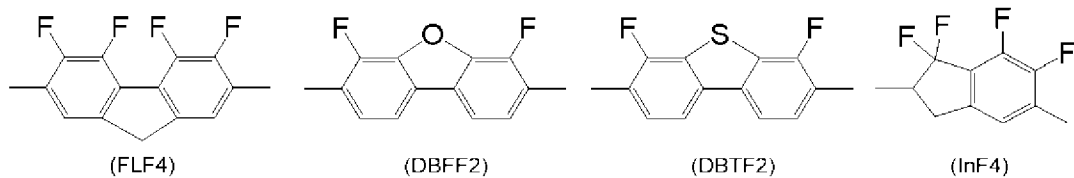
であり、好ましくは



である。

- [0088] 環Bおよび環Cは、1,4-シクロヘキシレン、1,3-フェニレン、1,4-フェニレン、2-フルオロ-1,4-フェニレン、2,5-ジフルオロ-1,4-フェニレン、またはピリミジン-2,5-ジイルである。好ましい環Bまたは環Cは、上限温度を上げるために、または下限温度を下げるために1,4-シクロヘキシレンであり、下限温度を下げるために1,4-フェニレンである。
- [0089] 環Dおよび環Fは、1,4-シクロヘキシレン、1,4-シクロヘキセニレン、テトラヒドロピラン-2,5-ジイル、1,4-フェニレン、少なくとも1つの水素がフッ素または塩素で置き換えられた1,4-フェニレン、ナフタレン-2,6-ジイル、少なくとも1つの水素がフッ素または塩素で置き換えられたナフタレン-2,6-ジイル、クロマン-2,6-ジイル、または少なくとも1つの水素がフッ素または塩素で置き換えられたクロマン-2,6-ジイルである。好ましい環Dまたは環Fは、下限温度を下げるために、または上限温度を上げるために、1,4-シクロヘキシレンであり、下限温度を下げるために1,4-フェニレンである。
- [0090] 環Eは、2,3-ジフルオロ-1,4-フェニレン、2-クロロ-3-フ

ルオロ-1, 4-フェニレン、2, 3-ジフルオロ-5-メチル-1, 4-フェニレン、3, 4, 5-トリフルオロナフタレン-2, 6-ジイル、7, 8-ジフルオロクロマン-2, 6-ジイル、3, 4, 5, 6-テトラフルオロフルオレン-2, 7-ジイル (FLF4)、4, 6-ジフルオロジベンゾフラン-3, 7-ジイル (DBFF2)、4, 6-ジフルオロジベンゾチオフェン-3, 7-ジイル (DBTF2)、または1, 1, 6, 7-テトラフルオロインダン-2, 5-ジイル (InF4) である。



好ましい環Eは、粘度を下げるために2, 3-ジフルオロ-1, 4-フェニレンであり、液晶分子の短軸方向における誘電率を上げるために4, 6-ジフルオロジベンゾチオフェン-3, 7-ジイルである。

[0091] Z¹は、単結合、エチレン、ビニレン、エチニレン、メチレンオキシ、カルボニルオキシ、またはジフルオロメチレンオキシである。好ましいZ¹は、上限温度を上げるために単結合であり、誘電率異方性を上げるためにジフルオロメチレンオキシである。特に好ましいZ¹は、単結合である。Z²は、単結合、エチレン、ビニレン、エチニレン、メチレンオキシ、またはカルボニルオキシである。好ましいZ²は、光や熱に対する安定性を上げるために単結合である。Z³およびZ⁴は、単結合、エチレン、ビニレン、メチレンオキシ、またはカルボニルオキシである。好ましいZ³またはZ⁴は、下限温度を下げるために単結合であり、液晶分子の短軸方向における誘電率を上げるためにメチレンオキシである。特に好ましいZ³またはZ⁴は、単結合である。

[0092] メチレンオキシのような二価基は、左右非対称である。メチレンオキシにおいて、-CH₂O-は-OCH₂-よりも好ましい。カルボニルオキシにおいて、-COO-は-OCO-よりも好ましい。ジフルオロメチレンオキシにおいて、-CF₂O-は-OCF₂-よりも好ましい。

[0093] aは、1、2、3、または4である。好ましいaは、下限温度を下げるた

めに2であり、誘電率異方性を上げるために3である。bは、1、2、または3である。好ましいbは、下限温度を下げるために1であり、上限温度を上げるために2または3である。cは、0、1、2、または3であり、dは、0または1であり、cおよびdの和は3以下である。好ましいcは、下限温度を下げるために1であり、上限温度を上げるために2または3である。好ましいdは、液晶分子の短軸方向における誘電率を上げるために0であり、下限温度を下げるために1である。

[0094] X¹およびX²は、水素またはフッ素である。好ましいX¹またはX²は、上限温度を上げるために水素であり、誘電率異方性を上げるためにフッ素である。

[0095] Y¹は、フッ素、塩素、シアノ、少なくとも1つの水素がフッ素または塩素で置き換えられた炭素数1から12のアルキル、少なくとも1つの水素がフッ素または塩素で置き換えられた炭素数1から12のアルコキシ、または少なくとも1つの水素がフッ素または塩素で置き換えられた炭素数2から12のアルケニルオキシである。好ましいY¹は、粘度を下げるためにフッ素であり、誘電率異方性を上げるためにシアノである。

[0096] 少なくとも1つの水素がフッ素または塩素で置き換えられたアルキルの好ましい例は、トリフルオロメチルである。少なくとも1つの水素がフッ素または塩素で置き換えられたアルコキシの好ましい例は、トリフルオロメトキシである。少なくとも1つの水素がフッ素または塩素で置き換えられたアルケニルオキシの好ましい例は、トリフルオロビニルオキシである。

[0097] 第六に、好ましい液晶性化合物を示す。好ましい化合物(1)は、項2に記載の化合物(1-1)から化合物(1-47)である。これらの化合物において、第一成分の少なくとも1つが、化合物(1-1)、化合物(1-2)、化合物(1-7)、化合物(1-9)、化合物(1-13)、化合物(1-16)、化合物(1-17)、化合物(1-23)、化合物(1-24)、化合物(1-28)、化合物(1-29)、化合物(1-30)、化合物(1-33)、化合物(1-34)、化合物(1-41)、または化合物

(1-42)であることが好ましい。第一成分の少なくとも2つが、化合物(1-1)および化合物(1-2)、化合物(1-1)および化合物(1-9)、化合物(1-2)および化合物(1-9)、化合物(1-1)および化合物(1-16)、化合物(1-2)および化合物(1-16)、化合物(1-9)および化合物(1-16)、化合物(1-9)および化合物(1-24)、化合物(1-16)および化合物(1-24)、化合物(1-9)および化合物(1-41)、化合物(1-16)および化合物(1-41)、または化合物(1-16)および化合物(1-42)の組合せであることが好ましい。

[0098] 好ましい化合物(2)は、項5に記載の化合物(2-1)から化合物(2-23)である。これらの化合物において、第二成分の少なくとも1つが、化合物(2-1)、化合物(2-2)、化合物(2-3)、化合物(2-6)、化合物(2-9)、化合物(2-10)、化合物(2-11)、化合物(2-12)、化合物(2-13)、化合物(2-16)、化合物(2-20)、または化合物(2-21)であることが好ましい。第二成分の少なくとも2つが、化合物(2-2)および化合物(2-9)、化合物(2-2)および化合物(2-10)、化合物(2-2)および化合物(2-12)、化合物(2-9)および化合物(2-10)、化合物(2-9)および化合物(2-12)、または化合物(2-10)および化合物(2-12)の組合せであることが好ましい。

[0099] 好ましい化合物(3)は、項8に記載の化合物(3-1)から化合物(3-35)である。これらの化合物において、第三成分の少なくとも1つが、化合物(3-1)、化合物(3-3)、化合物(3-6)、化合物(3-8)、化合物(3-10)、化合物(3-14)、または化合物(3-34)であることが好ましい。第三成分の少なくとも2つが、化合物(3-1)および化合物(3-8)、化合物(3-1)および化合物(3-14)、化合物(3-3)および化合物(3-8)、化合物(3-3)および化合物(3-14)、化合物(3-3)および化合物(3-34)、化合物(3-6)

および化合物（3-8）、化合物（3-6）および化合物（3-10）、または化合物（3-6）および化合物（3-14）の組合せであることが好ましい。

[0100] 第七に、重合性化合物の好ましい形態およびその一例を説明する。重合性化合物からは重合体が誘導される。重合性化合物は、単独であってもよく、または複数の化合物の混合物であってもよい。好ましい重合性化合物は、化合物（4）、化合物（5）、または化合物（6）である。好ましい重合性化合物は、化合物（7）、化合物（8）、または化合物（9）である。重合性化合物は、化合物（4）から化合物（9）から選択された化合物の混合物であってもよい。この混合物は、化合物（4）から化合物（9）とは異なる重合性化合物を含有してもよい。このような混合物は、化合物（4）から化合物（9）から選択された化合物を主成分として含有する。ここで、主成分は、混合物の中で、最も大きな割合を占める成分を意味する。例えば、40質量%の化合物（4）、30質量%の化合物（5）、および30質量%の化合物（6）の混合物において、主成分は、化合物（4）である。用いた重合性化合物が化合物（4）のみであるときも、化合物（4）は主成分と呼ばれる。

[0101] 7-1. 化合物（4）

式（4）において、 Z^5 は炭素数1から20のアルキレンであり、このアルキレンにおいて、少なくとも1つの水素は、炭素数1から5のアルキル、フッ素、塩素、または P^3 で置き換えられてもよく、少なくとも1つの $-CH_2-$ は、 $-O-$ 、 $-CO-$ 、 $-COO-$ 、 $-OCO-$ 、 $-NH-$ 、または $-N(R^6)-$ で置き換えられてもよく、少なくとも1つの $-CH_2-CH_2-$ は、 $-CH=CH-$ または $-C\equiv C-$ で置き換えられてもよく、少なくとも1つの $-CH_2-$ は、炭素環式の飽和脂肪族化合物、複素環式の飽和脂肪族化合物、炭素環式の不飽和脂肪族化合物、複素環式の不飽和脂肪族化合物、炭素環式の芳香族化合物、または複素環式の芳香族化合物から2つの水素を除くことによって生成した二価基で置き換えられてもよく、これらの二価基におい

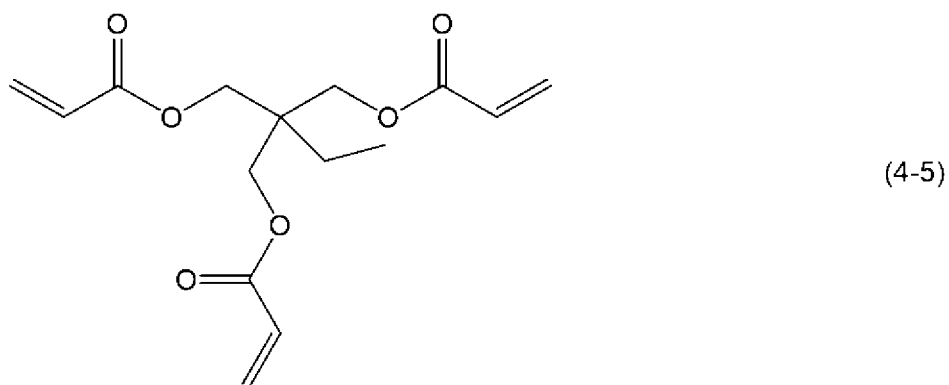
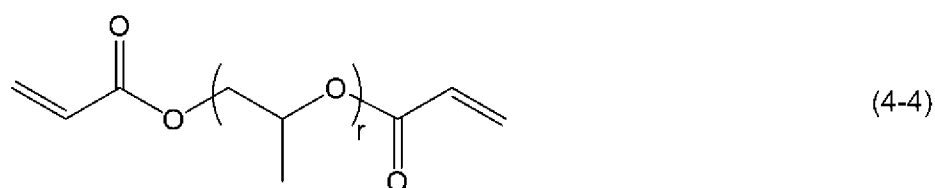
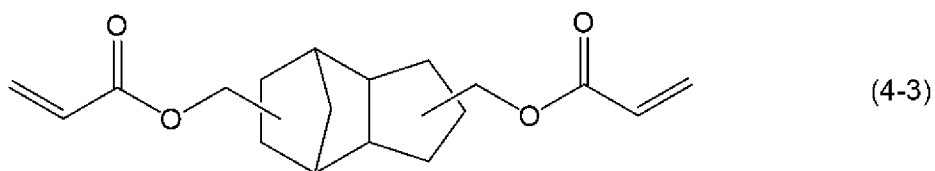
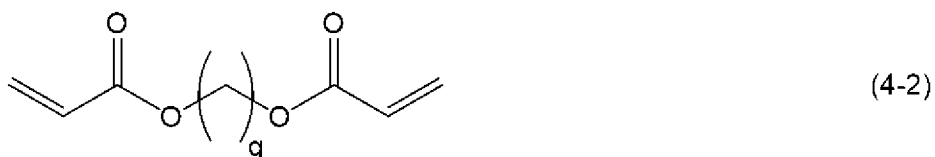
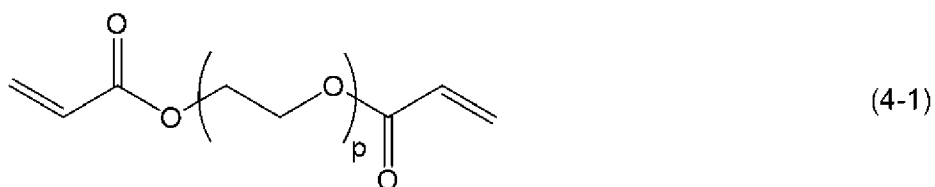
て、炭素数は5から35であり、少なくとも1つの水素は、 R^6 または P^3 で置き換えられてもよい。ここで、 R^6 は炭素数1から12のアルキルであり、このアルキルにおいて、少なくとも1つの $-CH_2-$ は、 $-O-$ 、 $-CO-$ 、 $-COO-$ 、または $-OCO-$ で置き換えられてもよい。

[0102] 炭素環式または複素環式の飽和脂肪族化合物から2つの水素を除くことによって生成した二価基の例は、1,4-シクロヘキシレン、デカヒドロナフタレン-2,6-ジイル、テトラヒドロピラン-2,5-ジイル、1,3-ジオキサソ-2,5-ジイルなどである。炭素環式または複素環式の不飽和脂肪族化合物から2つの水素を除くことによって生成した二価基の例は、1,4-シクロヘキセニレン、ジヒドロピラン-2,5-ジイルなどである。炭素環式または複素環式の芳香族化合物から2つの水素を除くことによって生成した二価基の例は、1,4-フェニレン、少なくとも1つの水素がフッ素で置き換えられた1,4-フェニレン、1,2,3,4-テトラヒドロナフタレン-2,6-ジイル、ナフタレン-1,2-ジイル、ピリミジン-2,5-ジイルなどである。

[0103] 好ましい Z^5 は、炭素数1から20のアルキレンであり、このアルキレンにおいて、少なくとも1つの水素は、炭素数1から5のアルキルで置き換えられてもよく、少なくとも1つの $-CH_2-$ は、 $-O-$ で置き換えられてもよく、少なくとも1つの $-CH_2-$ は、炭素環式の飽和脂肪族化合物または炭素環式の芳香族化合物から2つの水素を除くことによって生成した二価基で置き換えられてもよく、これらの二価基において、炭素数は5から35である。さらに好ましい Z^5 は、炭素数1から20のアルキレンであり、このアルキレンにおいて、少なくとも1つの水素は、炭素数1から5のアルキルで置き換えられてもよく、少なくとも1つの $-CH_2-$ は、 $-O-$ で置き換えられてもよい。

[0104] 好ましい Z^5 は、液晶組成物との相溶性を上げるために、1,4-シクロヘキシレンや1,4-フェニレンのような環構造を含む。好ましい Z^5 は、網目構造を容易に形成させるために、アルキレンのような鎖状構造を含む。

- [0105] P¹、P²、およびP³は、重合性基である。好ましい重合性基は、式（P-1）から式（P-6）である。これらの式において、波線は結合する位置を示す。さらに好ましい重合性基は、式（P-1）から式（P-3）である。P¹、P²、およびP³は、アクリロイルオキシまたはメタクリロイルオキシであってもよい。
- [0106] 式（P-1）から式（P-6）において、M¹、M²、およびM³は、水素、フッ素、炭素数1から5のアルキル、または少なくとも1つの水素がフッ素または塩素で置き換えられた炭素数1から5のアルキルである。好ましいM¹、M²、またはM³は、反応性を上げるために水素またはメチルである。さらに好ましいM¹は水素またはメチルであり、さらに好ましいM²またはM³は、水素である。
- [0107] 化合物（4）の一例は、化合物（4-1）から化合物（4-5）である。



式(4-1)において、 p は1から6の整数であり、式(4-2)において、 q は5から20の整数であり、式(4-4)において、 r は1から15の整数である。

[0108] 化合物(4)において、重合性基が多い場合は、架橋によって液滴を囲む重合体が固くなるか、または網目が密になる。好ましい重合性化合物は、少なくとも1つのアクリロイルオキシ($-\text{OCO}-\text{CH}=\text{CH}_2$)またはメタクリロイルオキシ($-\text{OCO}-(\text{CH}_3)\text{C}=\text{CH}_2$)を有する。化合物(4)は重合によって対応する重合体を与える。化合物(4)が揮発性である場合は、そのオリゴマーを用いてもよい。好ましい重合体は無色透明であり、液

晶組成物には不溶である。好ましい重合体は、素子の基板との密着性に優れ、駆動電圧を下げる。この効果を向上させるために、化合物（４）とは異なる重合性化合物を併用してもよい。

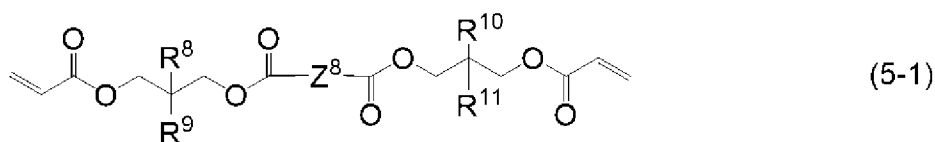
[0109] 7-2. 化合物（５）

式（５）において、 M^4 および M^5 は、水素またはメチルである。好ましい M^4 または M^5 は、反応性を上げるために水素である。

[0110] Z^6 は、炭素数21から80のアルキレンであり、このアルキレンにおいて、少なくとも1つの水素は、炭素数1から20のアルキル、フッ素、または塩素で置き換えられてもよく、少なくとも1つの $-CH_2-$ は、 $-O-$ 、 $-CO-$ 、 $-COO-$ 、 $-OCO-$ 、 $-NH-$ 、または $-N(R^6)-$ で置き換えられてもよく、少なくとも1つの $-CH_2-CH_2-$ は、 $-CH=CH-$ または $-C\equiv C-$ で置き換えられてもよく、ここで、 R^6 は、炭素数1から12のアルキルであり、このアルキルにおいて、少なくとも1つの $-CH_2-$ は、 $-O-$ 、 $-CO-$ 、 $-COO-$ 、または $-OCO-$ で置き換えられてもよい。好ましい Z^6 は、低電圧駆動のために、炭素数21から60のアルキレンであり、このアルキレンにおいて、少なくとも1つの水素は、炭素数1から20のアルキルで置き換えられてもよく、少なくとも1つの $-CH_2-$ は、 $-O-$ 、 $-COO-$ 、または $-OCO-$ で置き換えられてもよい。

[0111] さらに好ましい Z^6 は、低電圧駆動のために、少なくとも1つの水素がアルキルで置き換えられたアルキレンである。アルキレンの2つの水素がアルキルで置き換えられたとき、立体障害を防ぐことが好ましい。例えば、2つのアルキルを十分に離す、またはアルキルの一方には炭素数1から5のアルキルを用いる。少なくとも3つの水素がアルキルで置き換えられたときも同様である。

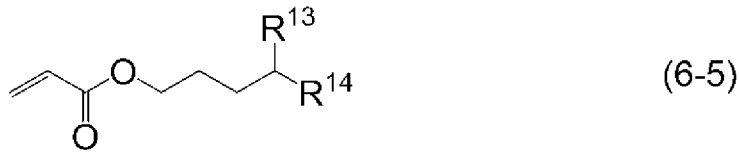
[0112] 化合物（５）の一例は、化合物（５-1）である。



において、少なくとも1つの水素は、フッ素または塩素で置き換えられてもよく、少なくとも1つの $-CH_2-$ は、 $-O-$ 、 $-CO-$ 、 $-COO-$ 、または $-OCO-$ で置き換えられてもよい。好ましい Z^7 は、単結合または炭素数1から5のアルキレンであり、このアルキレンにおいて、少なくとも1つの $-CH_2-$ は、 $-O-$ 、 $-CO-$ 、 $-COO-$ 、または $-OCO-$ で置き換えられてもよい。

[0117] R^7 は炭素数1から40のアルキルであり、このアルキルにおいて、少なくとも1つの水素は、フッ素または塩素で置き換えられてもよく、少なくとも1つの $-CH_2-$ は、 $-O-$ 、 $-CO-$ 、 $-COO-$ 、または $-OCO-$ で置き換えられてもよく、少なくとも1つの $-CH_2-$ は、炭素環式の飽和脂肪族化合物、複素環式の飽和脂肪族化合物、炭素環式の不飽和脂肪族化合物、複素環式の不飽和脂肪族化合物、炭素環式の芳香族化合物、または複素環式の芳香族化合物から2つの水素を除くことによって生成した二価基で置き換えられてもよく、これらの二価基において、炭素数は5から35であり、少なくとも1つの水素は、炭素数1から12のアルキルで置き換えられてもよく、このアルキルにおいて、少なくとも1つの $-CH_2-$ は、 $-O-$ 、 $-CO-$ 、 $-COO-$ 、または $-OCO-$ で置き換えられてもよい。好ましい R^7 は、炭素数5から30のアルキルである。さらに好ましい R^7 は、炭素数5から30の分岐状アルキルである。

[0118] 化合物(6)の一例は、化合物(6-1)から化合物(6-6)である。



式(6-1)から式(6-5)において、 R^{12} は、炭素数5から20のアルキルであり、このアルキルにおいて、少なくとも1つの $-CH_2-$ は、 $-O-$ 、 $-CO-$ 、 $-COO-$ 、または $-OCO-$ で置き換えられてもよく、 R^{13} および R^{14} は、炭素数3から10のアルキルであり、このアルキルにおいて、少なくとも1つの $-CH_2-$ は、 $-O-$ 、 $-CO-$ 、 $-COO-$ 、または $-OCO-$ で置き換えられてもよい。

[0119] 化合物(6)はアクリレートまたはメタクリレートである。式(6)の R^7 が環状構造を有するとき、液晶組成物との親和性が向上する。 R^7 がアルキレンであるとき、重合体は網目構造を形成しやすい。この重合体では、アルキレンによって分子運動の自由度が向上するので、駆動電圧が下がる。この効果をさらに向上させるために、化合物(6)とは異なる重合性化合物を併用してもよい。

[0120] 7-4. 化合物(7)から化合物(9)

式(7)、式(8)、および式(9)において、環G、環I、環J、環K、環L、および環Mは、1,4-シクロヘキシレン、1,4-フェニレン、1,4-シクロヘキセニレン、ピリジン-2,5-ジイル、1,3-ジオキサン-2,5-ジイル、ナフタレン-2,6-ジイル、またはフルオレン-2,7-ジイルであり、ここで、少なくとも1つの水素はフッ素、塩素、シアノ、ヒドロキシ、ホルミル、トリフルオロアセチル、ジフルオロメチル、トリフルオロメチル、炭素数1から5のアルキル、炭素数1から5のアルコキシ、炭素数2から5のアルコキシカルボニル、または炭素数1から5のアルカノイルで置き換えられてもよい。式(7)、式(8)、および式(9)において、好ましい環は、1,4-シクロヘキシレン、1,4-フェニレン、2-フルオロ-1,4-フェニレン、2-メチル-1,4-フェニレン、2-メトキシ-1,4-フェニレン、または2-トリフルオロメチル-1,4-フェニレンである。さらに好ましい環は、1,4-シクロヘキシレンまたは1,4-フェニレンである。

[0121] Z^8 、 Z^{10} 、 Z^{12} 、 Z^{13} 、および Z^{17} は、単結合、 $-O-$ 、 $-COO-$ 、 $-OCO-$ 、または $-OCOO-$ である。 Z^9 、 Z^{11} 、 Z^{14} 、および Z^{16} は、単結合、 $-OCH_2-$ 、 $-CH_2O-$ 、 $-COO-$ 、 $-OCO-$ 、 $-COS-$ 、 $-SCO-$ 、 $-OCOO-$ 、 $-CONH-$ 、 $-NHCO-$ 、 $-CF_2O-$ 、 $-OCF_2-$ 、 $-CH_2CH_2-$ 、 $-CF_2CF_2-$ 、 $-CH=CHCOO-$ 、 $-OCOCH=CH-$ 、 $-CH_2CH_2COO-$ 、 $-OCOCH_2CH_2-$ 、 $-CH=CH-$ 、 $-N=CH-$ 、 $-CH=N-$ 、 $-N=C(CH_3)-$ 、 $-C(CH_3)=N-$ 、 $-N=N-$ 、または $-C\equiv C-$ である。 Z^{15} は単結合、 $-O-$ 、または $-COO-$ である。好ましい Z^8 、 Z^{10} 、 Z^{12} 、 Z^{13} 、または Z^{17} は単結合または $-O-$ である。好ましい Z^9 、 Z^{11} 、 Z^{14} 、または Z^{16} は、単結合、 $-OCH_2-$ 、 $-CH_2O-$ 、 $-COO-$ 、 $-OCO-$ 、 $-CH_2CH_2-$ 、 $-CH_2CH_2COO-$ 、または $-OCOCH_2CH_2-$ である。

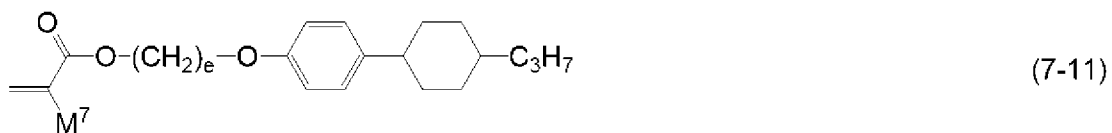
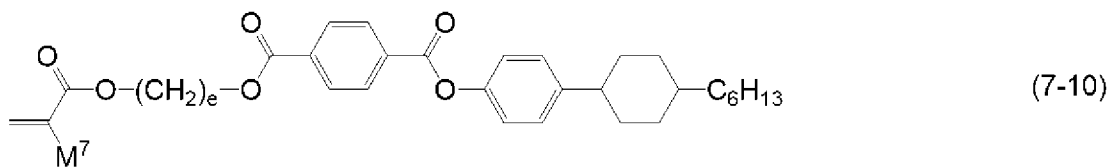
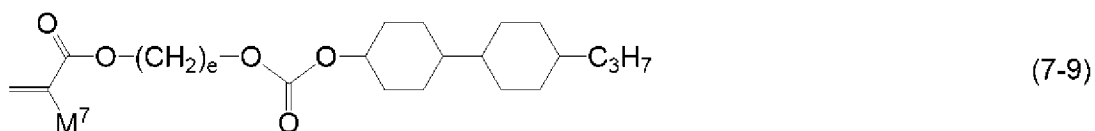
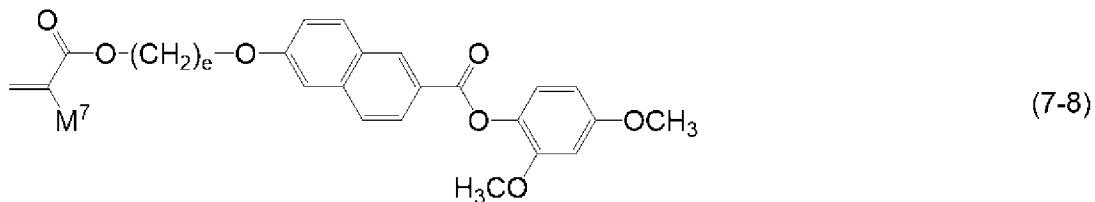
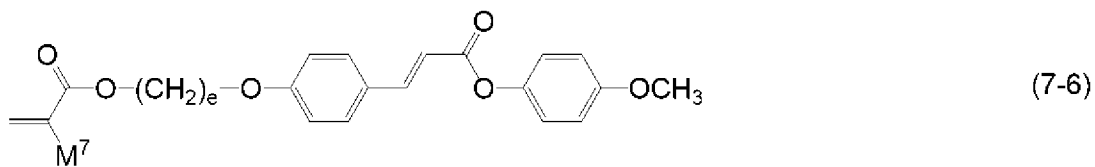
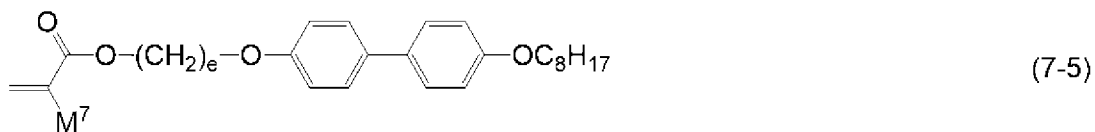
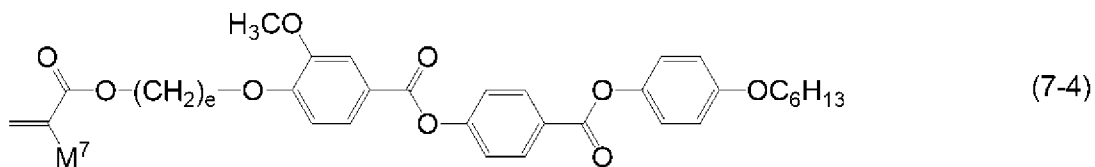
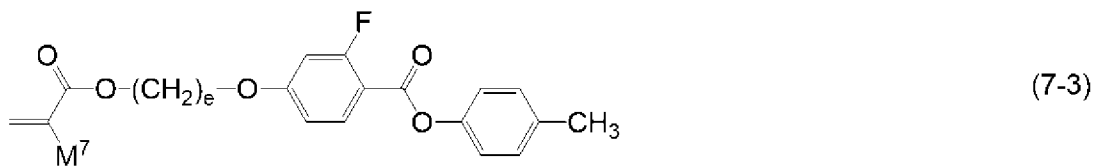
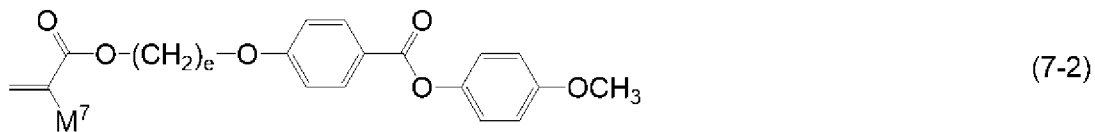
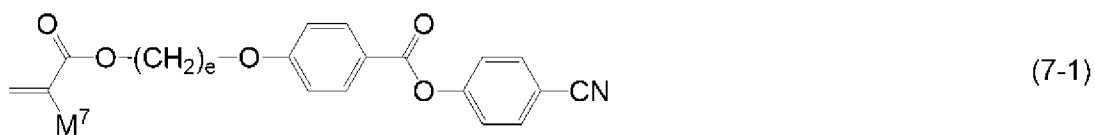
[0122] Y^2 は水素、フッ素、塩素、トリフルオロメチル、トリフルオロメトキシ、

シアノ、炭素数 1 から 20 のアルキル、炭素数 2 から 20 のアルケニル、炭素数 1 から 20 のアルコキシ、または炭素数 2 から 20 のアルコキシカルボニルである。好ましい Y² はシアノ、アルキル、またはアルコキシである。

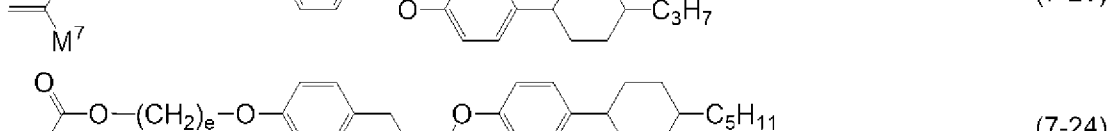
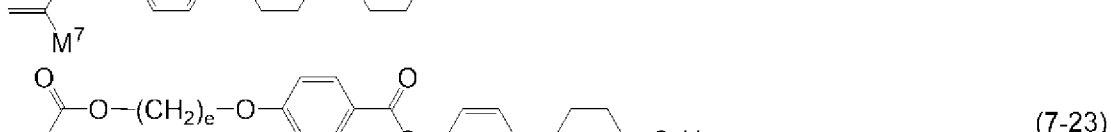
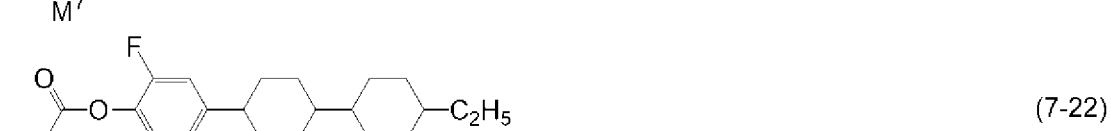
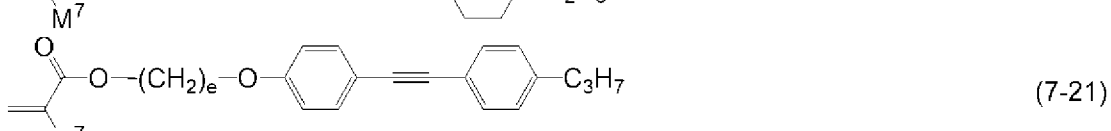
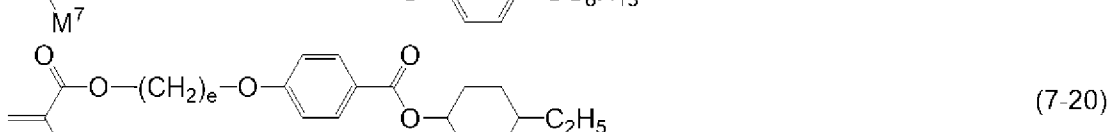
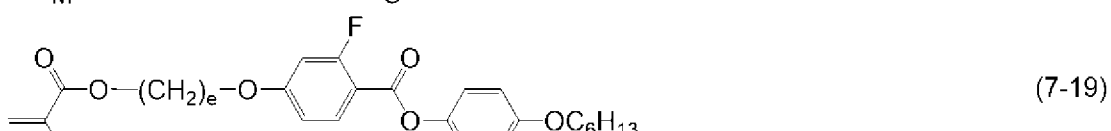
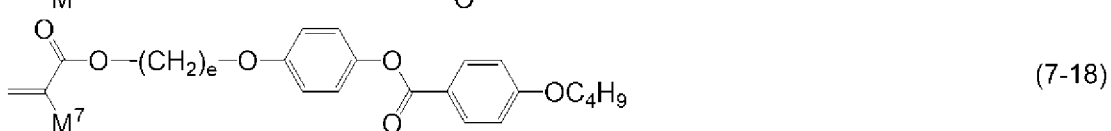
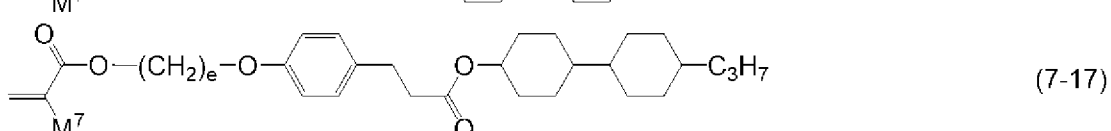
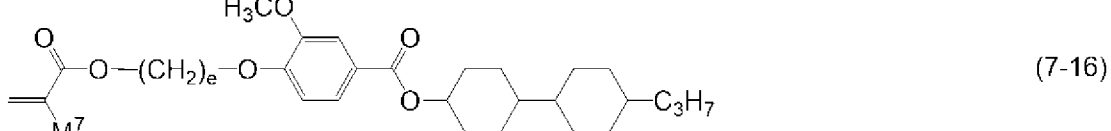
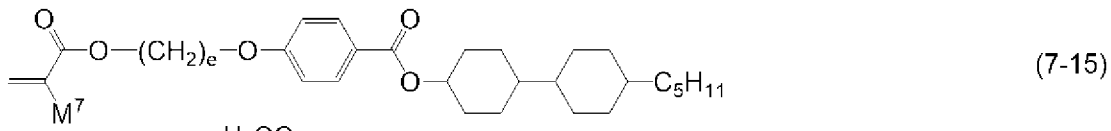
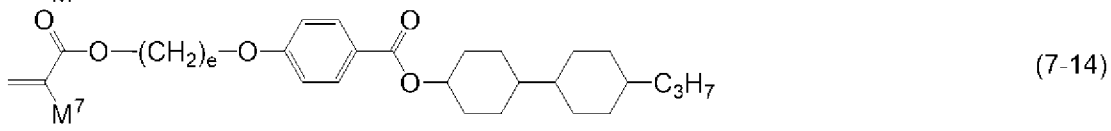
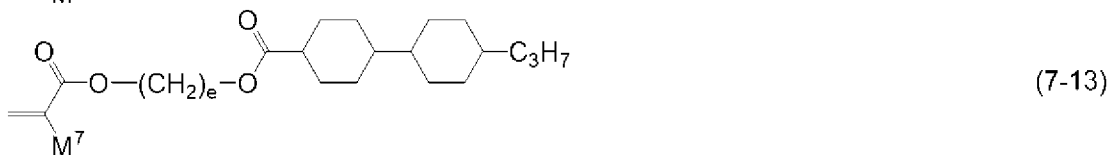
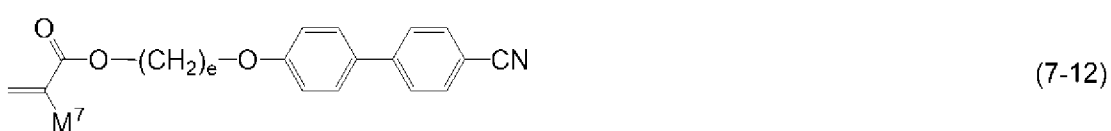
[0123] f および h は 1 から 4 の整数であり； k および m は、0 から 3 の整数であり、k および m の和は 1 から 4 であり； e、g、i、j、l、および n は、0 から 20 の整数である。

[0124] M⁷ から M¹² は、水素またはメチルである。

[0125] 化合物 (7) の一例は、化合物 (7-1) から化合物 (7-24) である。
。

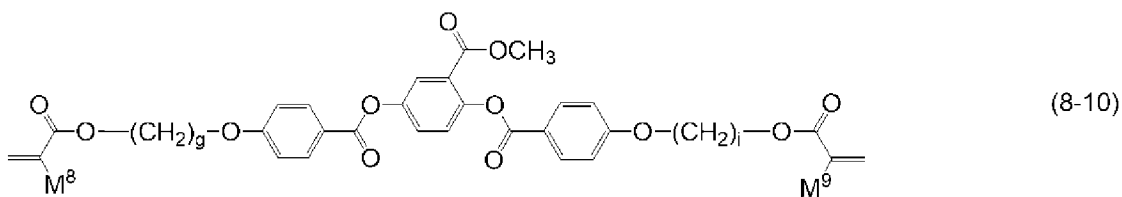
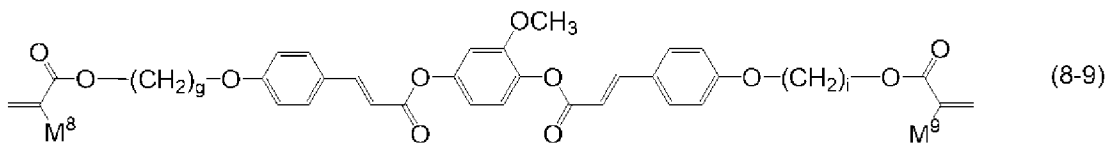
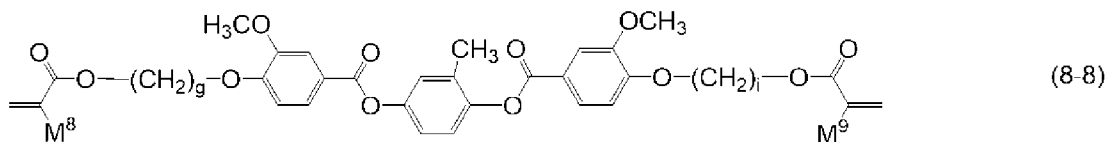
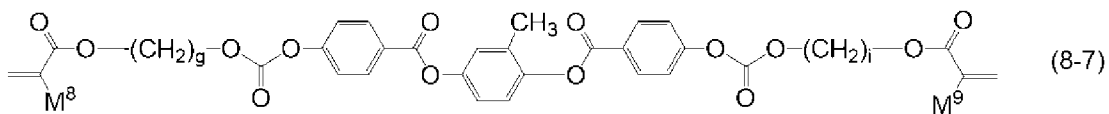
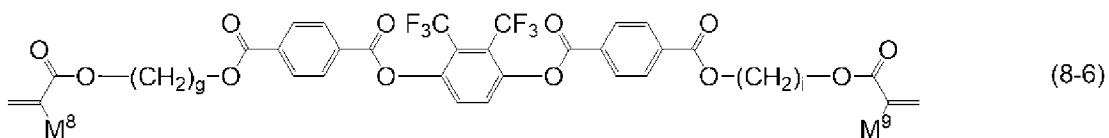
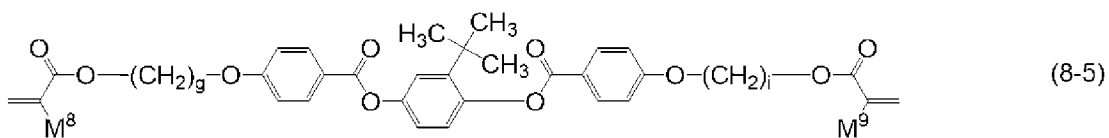
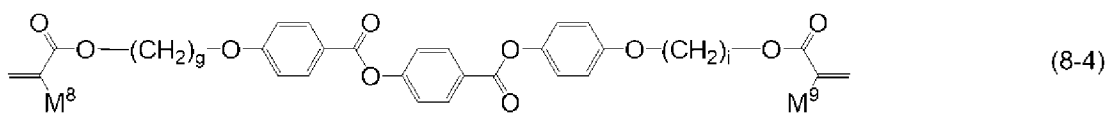
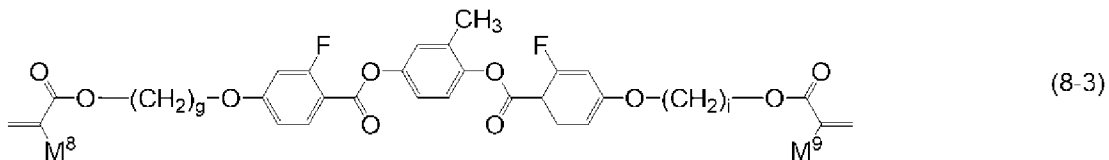
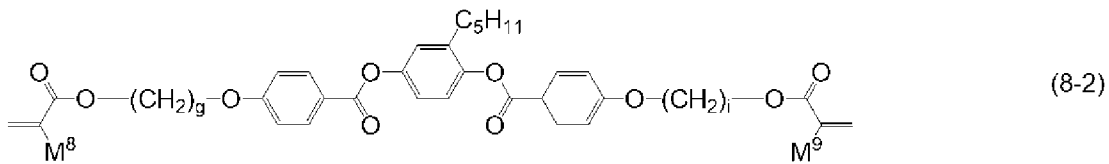
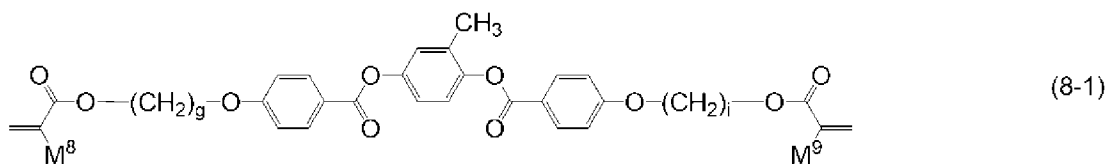


[0126]

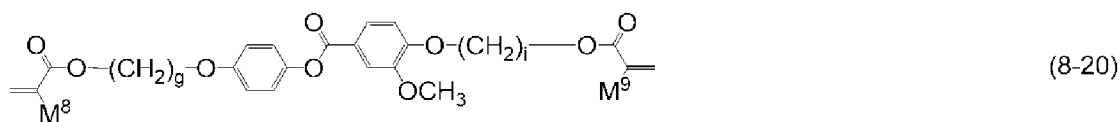
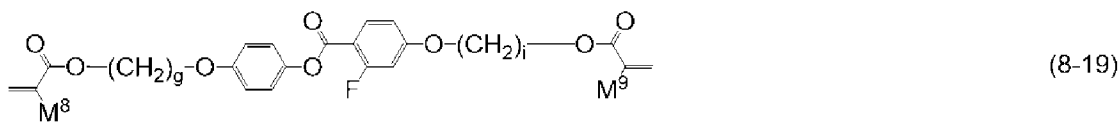
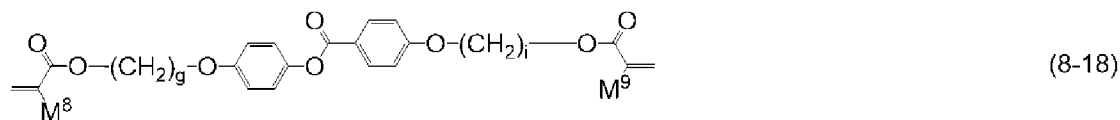
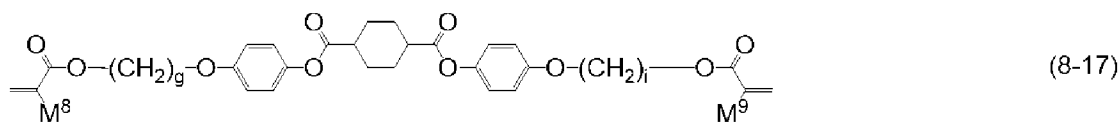
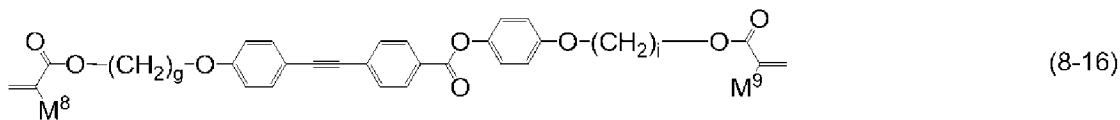
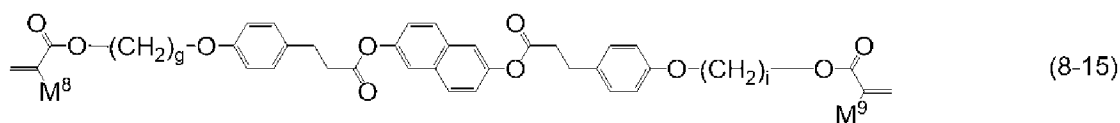
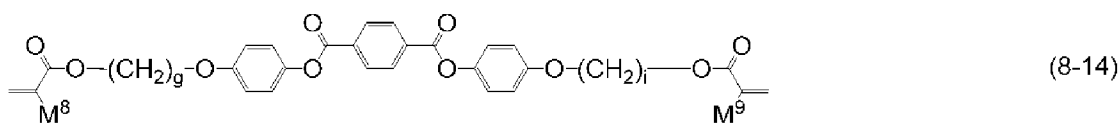
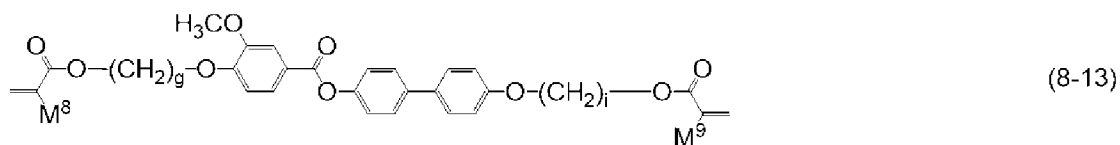
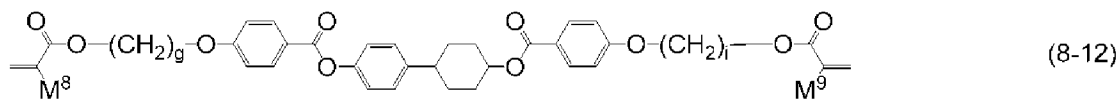
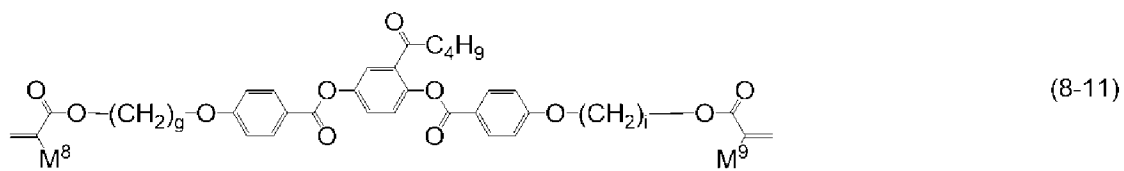


式 (7-1) から式 (7-24) において、 M^7 は水素またはメチルであり、 e は 1 から 20 の整数である。

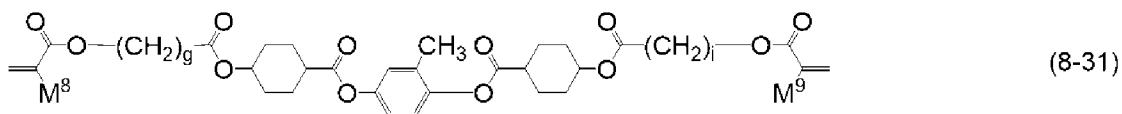
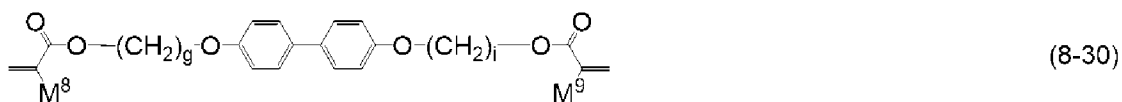
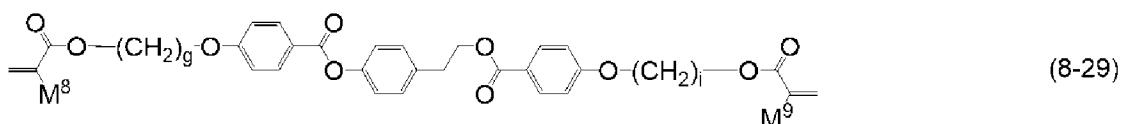
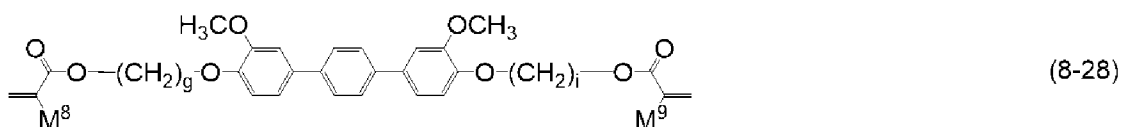
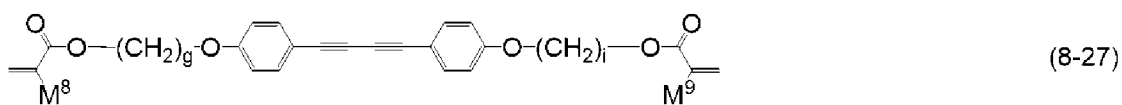
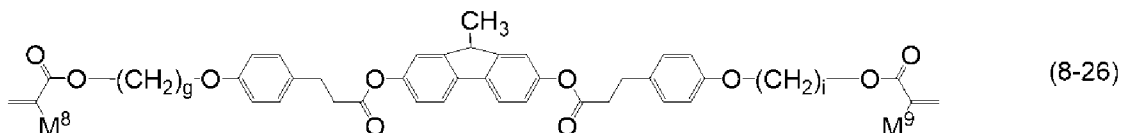
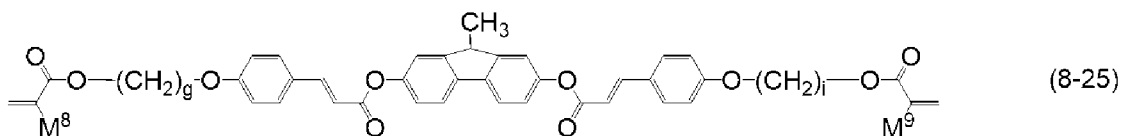
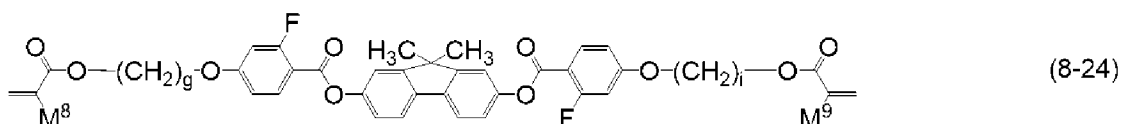
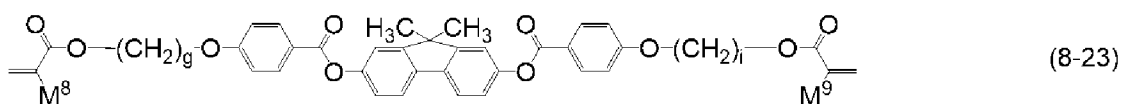
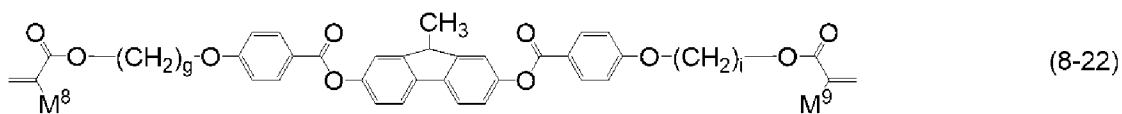
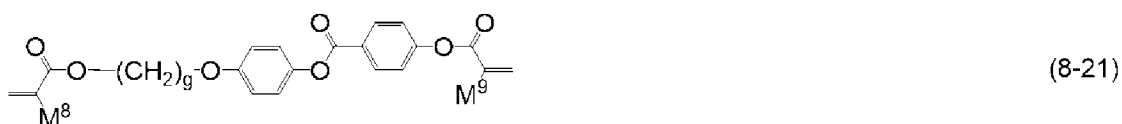
[0127] 化合物 (8) の一例は、化合物 (8-1) から化合物 (8-31) である。
。



[0128]



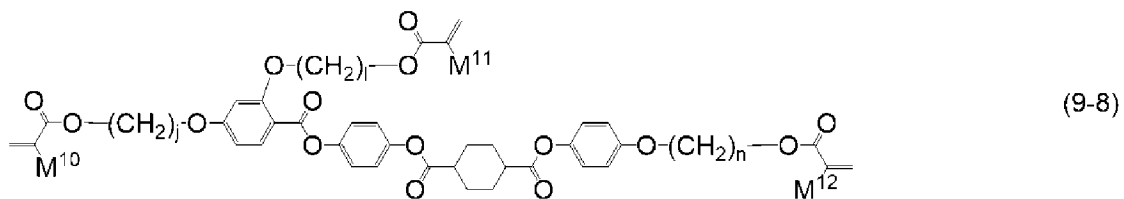
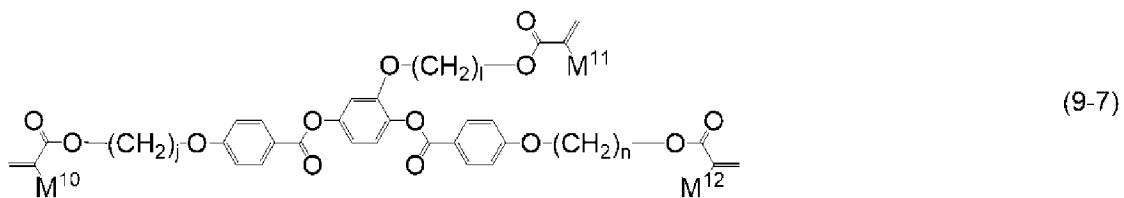
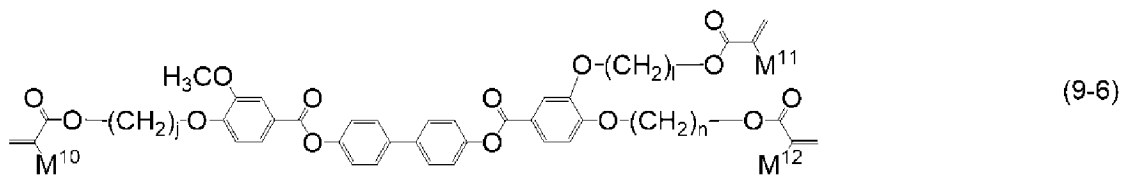
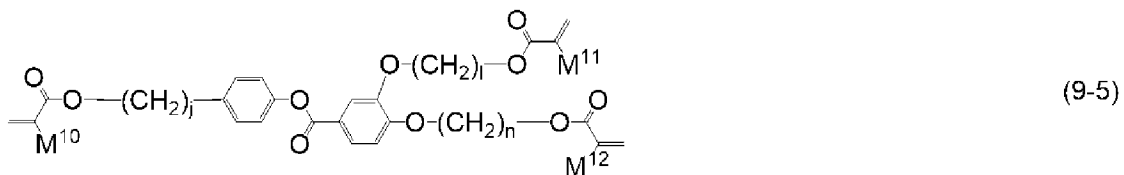
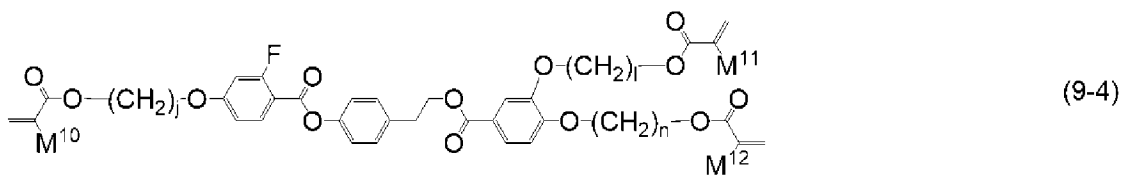
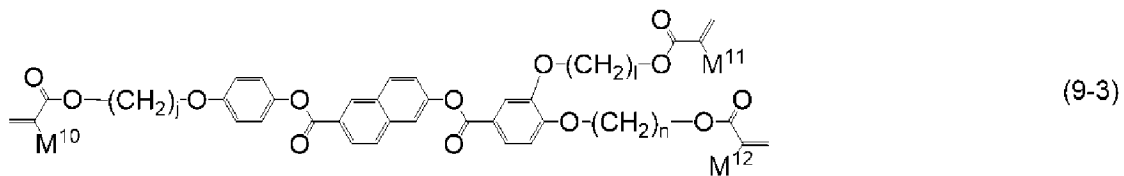
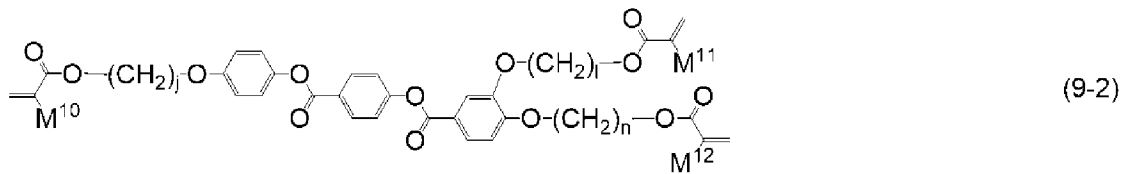
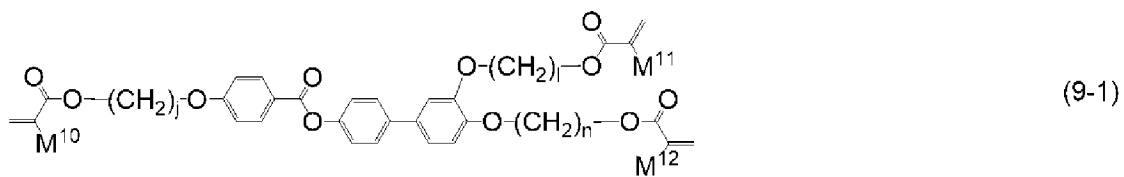
[0129]



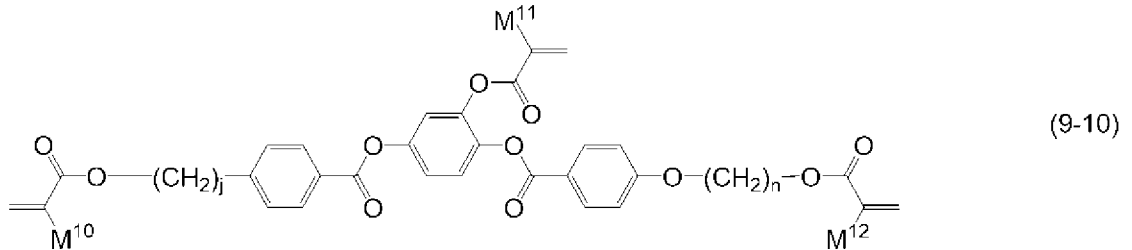
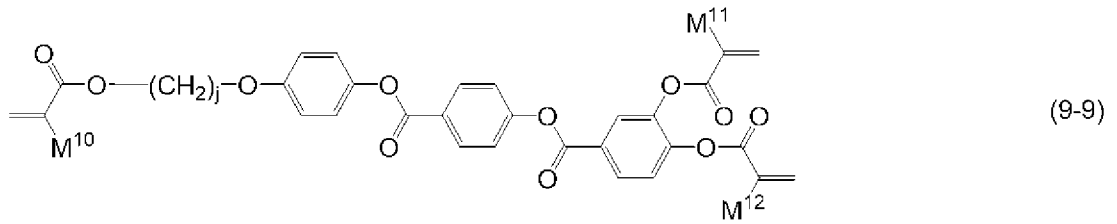
式(8-1)から式(8-31)において、 M^8 および M^9 は、水素またはメチルであり、 g および i は、1から20の整数である。

[0130] 化合物(9)の一例は、化合物(9-1)から化合物(9-10)である

o



[0131]



式(9-1)から式(9-10)において、 M^{10} 、 M^{11} 、および M^{12} は、水素またはメチルであり、 j 、 l 、および n は、1から20の整数である。

[0132] 化合物(7)、化合物(8)、および化合物(9)は、少なくとも1つのアクリロイルオキシ($-\text{OCO}-\text{CH}=\text{CH}_2$)またはメタクリロイルオキシ($-\text{OCO}-(\text{CH}_3)\text{C}=\text{CH}_2$)を有する。液晶性化合物は、メソゲン(液晶性を誘発する剛直な部位)を有するが、これらの化合物もメソゲンを有する。そのため、これらの化合物は、液晶性化合物とともに配向膜の作用によって同一方向に配向する。この配向は、重合後も維持される。このような液晶複合体は、高い透明性を有する。その他の特性を向上させるために、化合物(7)、化合物(8)、および化合物(9)とは異なる重合性化合物を併用してもよい。

[0133] 第八に、成分化合物の合成法を説明する。これらの化合物は既知の方法によって合成できる。合成法を例示する。化合物(1-9)および化合物(1-16)は、特開平2-233626号公報に記載された方法で合成する。化合物(2-1)は、特開昭59-176221号公報に記載された方法で合成する。化合物(3-1)は、特表平2-503441号公報に記載された方法で合成する。酸化防止剤は市販されている。後述する化合物(11-1)は、アルドリッチ(Sigma-Aldrich Corporation)から入手できる。化合物(11-2)などは、米国特許3660505号明細書に記載された方法によって合成する。重合性化合物は市販されているか、または既知の方法で

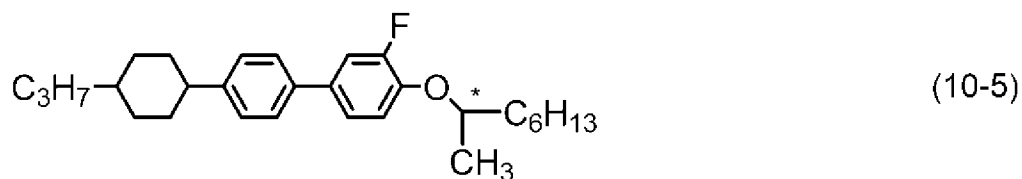
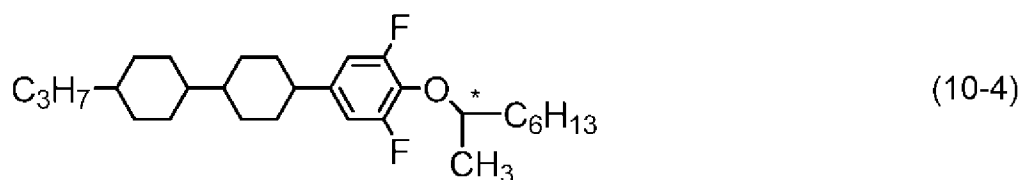
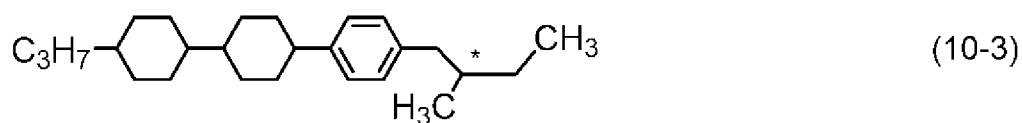
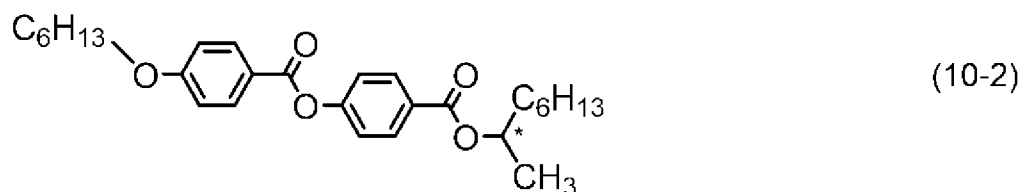
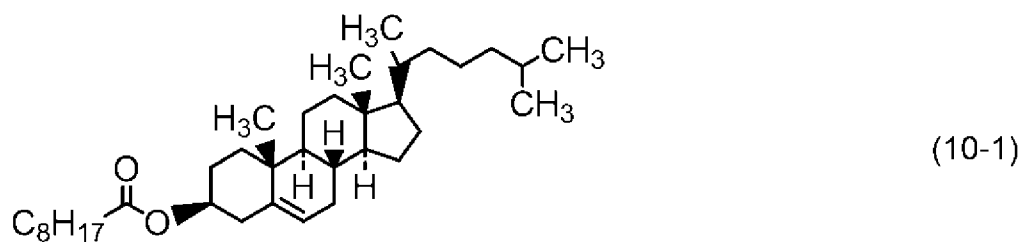
合成可能である。

[0134] 合成法を記載しなかった化合物は、オーガニック・シンセシス (Organic Syntheses, John Wiley & Sons, Inc.)、オーガニック・リアクションズ (Organic Reactions, John Wiley & Sons, Inc.)、コンプリヘンシブ・オーガニック・シンセシス (Comprehensive Organic Synthesis, Pergamon Press)、新実験化学講座 (丸善) などの成書に記載された方法によって合成できる。組成物は、このようにして得た化合物から公知の方法によって調製される。例えば、成分化合物を混合し、そして加熱によって互いに溶解させる。

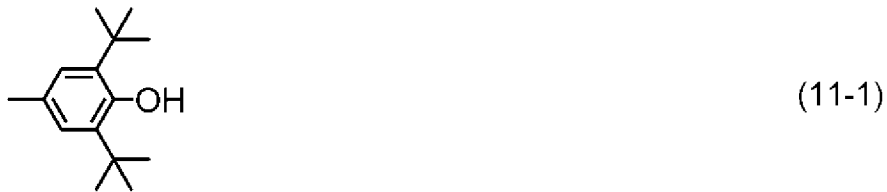
[0135] 第九に、重合性組成物に添加してもよい添加物を説明する。このような添加物は、光学活性化合物、酸化防止剤、紫外線吸収剤、消光剤、色素、消泡剤、重合開始剤、重合禁止剤、極性化合物などである。添加物は、重合性組成物の代わりに、液晶組成物または重合性化合物に添加してもよい。

[0136] 液晶分子のらせん構造を誘起してねじれ角を与える目的で光学活性化合物が組成物に添加される。このような化合物の例は、化合物 (10-1) から化合物 (10-5) である。光学活性化合物の好ましい割合は約 5 質量%以下である。さらに好ましい割合は約 0.01 質量%から約 2 質量%の範囲である。

[0137]



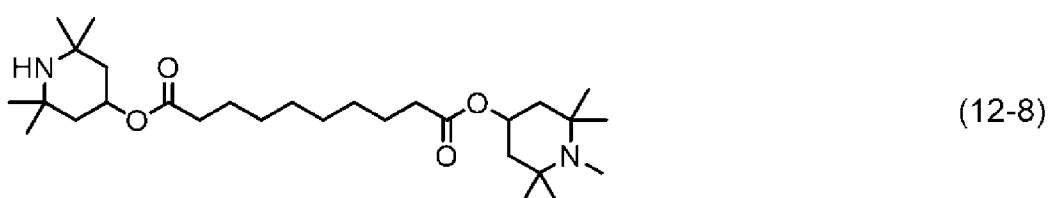
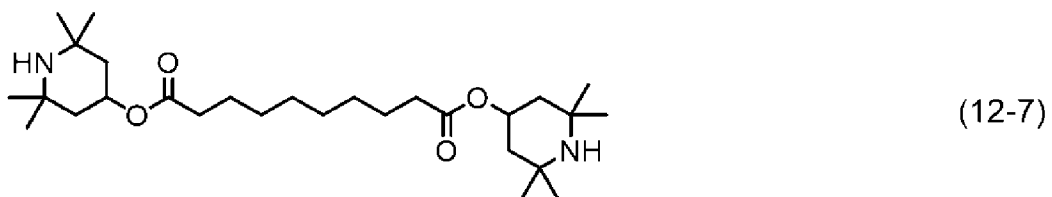
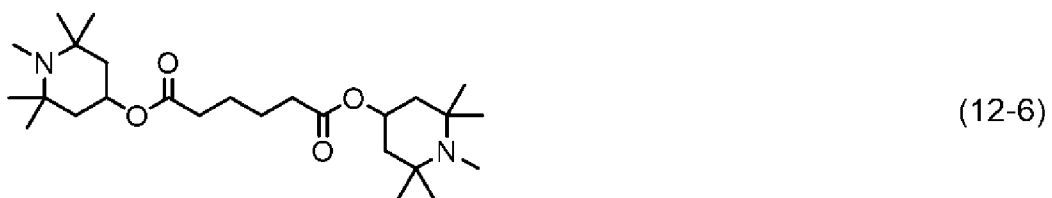
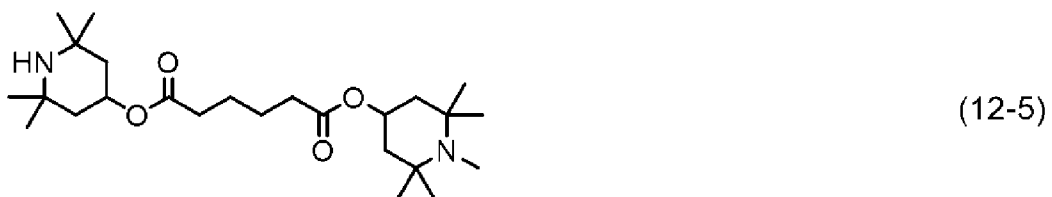
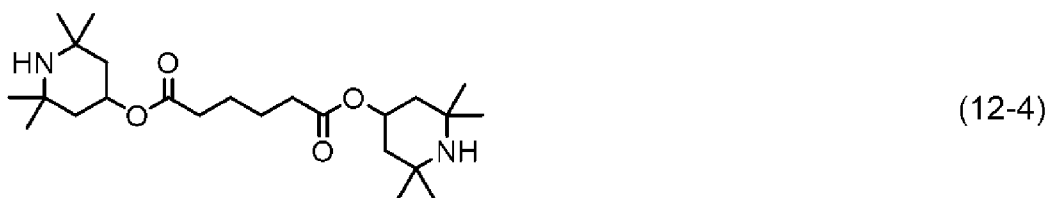
[0138] 大気中での加熱による比抵抗の低下を防止するために、または素子を長時間使用したあと、室温だけではなく上限温度に近い温度でも大きな電圧保持率を維持するために、化合物(11-1)から化合物(11-3)のような酸化防止剤を組成物に添加してもよい。



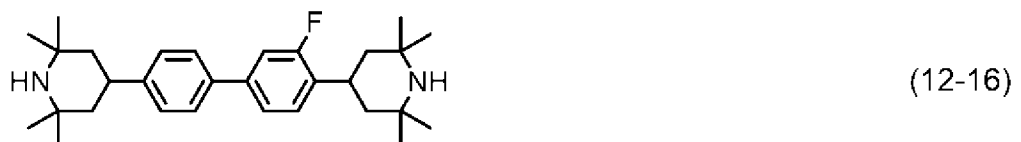
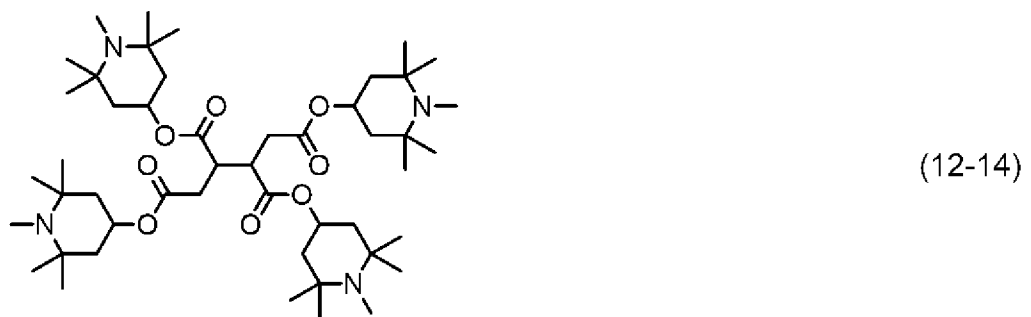
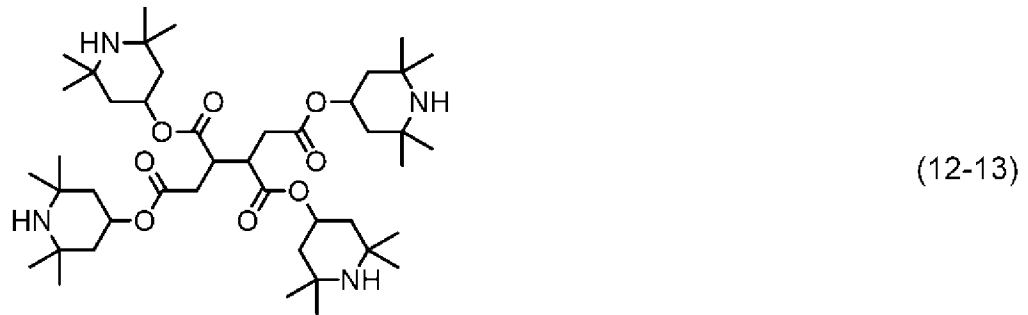
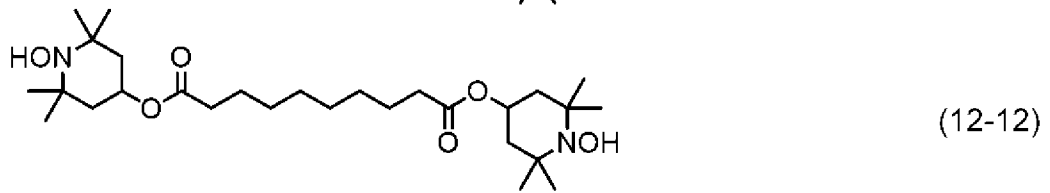
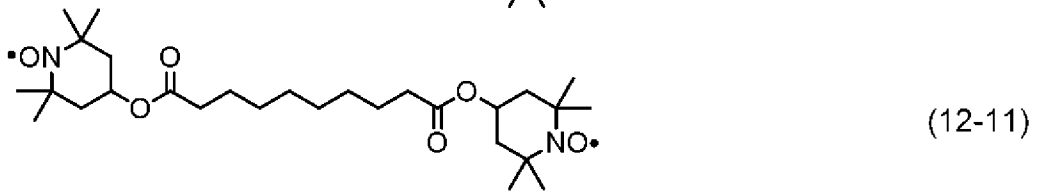
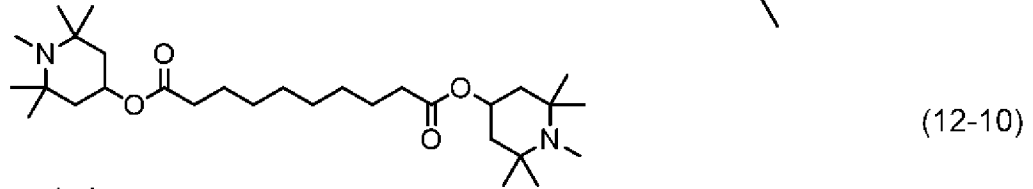
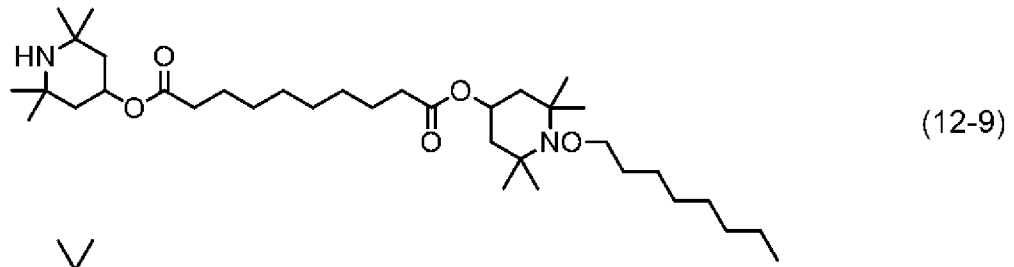
[0139] 化合物（11-2）は、揮発性が小さいので、素子を長時間使用したあと、室温だけではなく上限温度に近い温度でも大きな電圧保持率を維持するのに有効である。酸化防止剤の好ましい割合は、その効果を得るために約50 ppm以上であり、上限温度を下げないように、または下限温度を上げないように約600 ppm以下である。さらに好ましい割合は、約100 ppmから約300 ppmの範囲である。

[0140] 紫外線吸収剤の好ましい例は、ベンゾフェノン誘導体、ベンゾエート誘導体、トリアゾール誘導体などである。立体障害のあるアミンのような光安定剤も好ましい。光安定剤の好ましい例は、化合物（12-1）から化合物（12-16）などである。これらの吸収剤や安定剤における好ましい割合は、その効果を得るために約50 ppm以上であり、上限温度を下げないように、または下限温度を上げないために約10000 ppm以下である。さらに好ましい割合は約100 ppmから約10000 ppmの範囲である。

[0141]



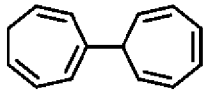
[0142]



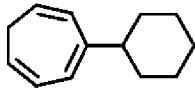
[0143] 消光剤は、液晶性化合物が吸収した光エネルギーを受容し、熱エネルギーに変換することにより、液晶性化合物の分解を防止する化合物である。消光剤の好ましい例は、化合物(13-1)から化合物(13-7)などである。これらの消光剤における好ましい割合は、その効果を得るために約50 ppm以上であり、下限温度を上げないために約20000 ppm以下である。さらに好ましい割合は約100 ppmから約10000 ppmの範囲である。



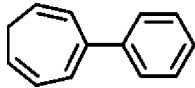
(13-1)



(13-2)



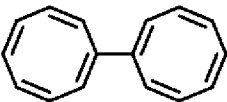
(13-3)



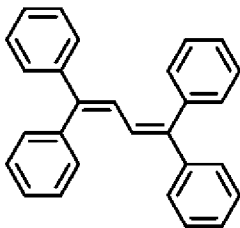
(13-4)



(13-5)



(13-6)



(13-7)

[0144] GH (guest host) モードの素子に適合させるために、アゾ系色素、アントラキノン系色素などのような二色性色素 (dichroic dye) が組成物に添加される。色素の好ましい割合は、約0.01質量%から約10質量%の範囲

である。泡立ちを防ぐために、ジメチルシリコンオイル、メチルフェニルシリコンオイルなどの消泡剤が組成物に添加される。消泡剤の好ましい割合は、その効果を得るために約1 ppm以上であり、表示不良を防ぐために約1000 ppm以下である。さらに好ましい割合は、約1 ppmから約500 ppmの範囲である。

[0145] 重合性化合物の重合には、紫外線照射が好ましい。紫外線照射ランプの例は、メタルハライドランプ、高圧水銀ランプ、超高圧水銀ランプなどである。光重合開始剤を用いるとき、紫外線の波長は、光重合開始剤の吸収波長領域であることが好ましい。液晶組成物の吸収波長域は避ける。好ましい波長は330 nm以上である。さらに好ましい波長は、350 nm以上であり、例えば365 nmである。反応は室温付近で行ってもよく、または加熱して行ってもよい。

[0146] 光重合開始剤などの重合開始剤存在下で重合させてもよい。重合のための適切な条件や、開始剤の適切なタイプおよび量は、当業者には既知であり、文献に記載されている。例えば光重合開始剤であるIrgacure 651（登録商標；BASF）、Irgacure 184（登録商標；BASF）、またはDarocur 1173（登録商標；BASF）がラジカル重合に対して適切である。

[0147] 重合性化合物を保管するとき、重合を防止するために重合禁止剤を添加してもよい。重合性化合物は、通常は重合禁止剤を除去しないまま液晶組成物に混合される。重合禁止剤の例は、ヒドロキノン、メチルヒドロキノンのようなヒドロキノン誘導体、4-tert-ブチルカテコール、4-メトキシフェノール、フェノチアジンなどである。

[0148] 極性化合物は、極性をもつ有機化合物である。ここでは、イオン結合を有する化合物は含まれない。酸素、硫黄、および窒素のような原子は、より電気的に陰性であり、部分的な負電荷をもつ傾向にある。炭素および水素は中性であるか、または部分的な正電荷をもつ傾向がある。極性は、化合物中の別種の原子間で部分電荷が均等に分布しないことから生じる。例えば、極性

化合物は、 $-OH$ 、 $-COOH$ 、 $-SH$ 、 $-NH_2$ 、 $>NH$ 、 $>N-$ のような部分構造の少なくとも1つを有する。

[0149] 極性基は、ガラス基板、金属酸化物膜などの表面と非共有結合的な相互作用を有する。この化合物は、極性基の作用によって基板表面に吸着し、液晶分子の配向を制御する。極性化合物は、液晶分子だけでなく、重合性化合物をも制御することがある。極性化合物には、このような効果が期待される。

[0150] 最後に、液晶複合体や素子を説明する。重合性組成物から液晶複合体を調製する方法は、次のとおりである。まず、一对の基板の間に重合性組成物を挟持する。挟持は、重合性組成物の上限温度より高い温度で真空注入法または液晶滴下法によって行う。これらの方法で作製した素子では、流痕や滴下痕のような表示不良が発生することがある。流痕は、重合性組成物が素子の中を流れた痕である。滴下痕は、重合性組成物を滴下した痕である。このような表示不良は抑制された方が好ましい。次に、熱または光によって重合性化合物を重合させる。重合には紫外線照射が好ましい。重合によって重合性組成物から重合体が相分離する。これによって基板の間に調光層（液晶複合体）が形成される。この調光層は、高分子分散型、ポリマーネットワーク型、両者の混在型に分類される。

[0151] 素子を長時間使用することによって経時変化が起きることがある。ヘイズ率が初期段階と比較して変化することがある。ヘイズ率における変化は、小さい方が好ましい。ヘイズ変化率が小さいとき、透明・不透明の良好な状態が維持される。ヘイズ変化率は20%以下であることが好ましい。さらに好ましいヘイズ変化率は10%以下または5%以下である。

[0152] ヘイズ変化率は、液晶調光素子の長い寿命における重要な因子である。この素子の耐候性を試験したとき、その前後におけるヘイズ変化率は小さい方が好ましい。小さなヘイズ変化率を達成するには、液晶性化合物の種類を選択し、特定の重合性化合物と組合せ、各成分化合物の割合を検討することが重要である。よりよい結果を得るには、添加物の種類や量、重合条件などの検討が役立つ。

- [0153] 素子を長時間使用すると、表示画面にフリッカ (flicker) が発生することがある。このフリッカは、画像の焼き付きに関連し、素子を交流で駆動させる際に正フレームの電位と負フレームの電位との間に差が生じることによって発生すると推定される。フリッカ率 (%) は、 $(| \text{正の電圧を印加したときの輝度} - \text{負の電圧を印加したときの輝度} |) / (\text{平均輝度}) \times 100$ 、によって表すことができる。素子のフリッカ率は、0%から1%の範囲であることが好ましい。フリッカの発生は、素子に含まれる重合性組成物の成分化合物を適切に選択することによって抑制することができる。
- [0154] 素子を長時間使用した場合、輝度が部分的に低下することがある。このような表示不良の一例は、線残像である。これは、隣り合った2つの電極に異なった電圧が繰り返し印加されることによって電極の間の輝度がすじ状に低下する現象である。この現象は、液晶組成物に含まれたイオン性不純物が電極付近の配向膜上に蓄積することに起因すると推定される。
- [0155] このような調光素子は、透明電極を有する一对の透明基板のあいだに挟持された調光層 (液晶複合体) を有する。基板の一例は、ガラス板、石英板、アクリル板のような変形しにくい材質である。他の例は、アクリルフィルム、ポリカーボネートフィルムのような可撓性の透明プラスチックフィルムである。用途に応じて基板の一方はシリコン樹脂などの不透明な材料でもよい。この基板は、その上に透明電極を有してもよい。透明電極の例は、酸化インジウムスズ (tin-doped indium oxide、ITO) や導電性ポリマーである。この基板は、透明電極の上に配向膜を有してもよい。
- [0156] 配向膜には、ポリイミドやポリビニルアルコールのような薄膜が適している。例えば、ポリイミド配向膜は、ポリイミド樹脂組成物を透明基板上に塗布し、約180℃以上の温度で熱硬化させ、必要に応じて綿布やレーヨン布でラビング処理することによって得ることができる。
- [0157] 一对の基板は、透明電極が内側となるように対向させる。基板間の厚さを均一にするためにスペーサーを入れてもよい。スペーサーの例は、ガラス粒子、プラスチック粒子、アルミナ粒子、フォトスペーサーなどである。調光

層の好ましい厚さは約 $2\ \mu\text{m}$ から約 $50\ \mu\text{m}$ であり、さらに好ましくは約 $5\ \mu\text{m}$ から約 $20\ \mu\text{m}$ である。一对の基板を張り合わせるには、汎用のシール剤を用いることができる。シール剤の例は、エポキシ系熱硬化性組成物である。

[0158] このような素子は、必要に応じて、素子の裏面に光吸収層、拡散反射板などを配置することができる。鏡面反射、拡散反射、再帰性反射、ホログラム反射等の機能を付加することもできる。

[0159] このような素子は、調光フィルムや調光ガラスとしての機能を有する。素子がフィルム状である場合は、既存の窓へ張り付けるか、または、一对のガラス板で挟み、合わせガラスにすることができる。このような素子は、外壁に設置された窓や会議室と廊下との仕切りに使われる。すなわち、電子ブラインド、調光窓、スマートウィンドウなどの用途がある。さらに、光スイッチとしての機能を液晶シャッターなどに利用できる。

実施例

[0160] 実施例によって本発明をさらに詳しく説明する。本発明は、これらの実施例に制限されない。実施例では、組成物(M1)、組成物(M2)などを記載する。実施例では、組成物(M1)と組成物(M2)との混合物は、記載されていない。しかしながら、この混合物も開示されているとみなすことにする。実施例から選択された少なくとも2つの組成物の混合物も開示されているとみなすことにする。合成した化合物は、NMR分析などの方法によって同定した。化合物、組成物および素子の特性は、下記の方法によって測定した。

[0161] NMR分析：測定には、ブルカーバイオスピ社製のDRX-500を用いた。 ^1H -NMRの測定では、試料を CDCl_3 などの重水素化溶媒に溶解させ、測定は、室温で、 500MHz 、積算回数16回の条件で行った。テトラメチルシランを内部標準として用いた。 ^{19}F -NMRの測定では、 CFCl_3 を内部標準として用い、積算回数24回で行った。核磁気共鳴スペクトルの説明において、sはシングレット、dはダブルット、tはトリプレット

、*q*はカルテット、*quin*はクインテット、*sex*はセクステット、*m*はマルチプレット、*br*はブロードであることを意味する。

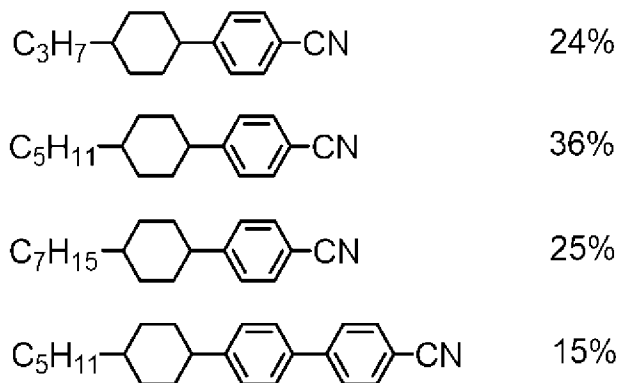
[0162] ガスクロマト分析：測定には島津製作所製のGC-14B型ガスクロマトグラフを用いた。キャリアーガスはヘリウム（2 mL/分）である。試料気化室を280℃に、検出器（FID）を300℃に設定した。成分化合物の分離には、Agilent Technologies Inc.製のキャピラリカラムDB-1（長さ30 m、内径0.32 mm、膜厚0.25 μm；固定液相はジメチルポリシロキサン；無極性）を用いた。このカラムは、200℃で2分間保持したあと、5℃/分の割合で280℃まで昇温した。試料はアセトン溶液（0.1質量%）に調製したあと、その1 μLを試料気化室に注入した。記録計は島津製作所製のC-R5A型Chromatopac、またはその同等品である。得られたガスクロマトグラムは、成分化合物に対応するピークの保持時間およびピークの面積を示した。

[0163] 試料を希釈するための溶媒は、クロロホルム、ヘキサンなどを用いてもよい。成分化合物を分離するために、次のキャピラリカラムを用いてもよい。Agilent Technologies Inc.製のHP-1（長さ30 m、内径0.32 mm、膜厚0.25 μm）、Restek Corporation製のRtx-1（長さ30 m、内径0.32 mm、膜厚0.25 μm）、SGE International Pty. Ltd製のBP-1（長さ30 m、内径0.32 mm、膜厚0.25 μm）。化合物ピークの重なりを防ぐ目的で島津製作所製のキャピラリカラムCBP1-M50-025（長さ50 m、内径0.25 mm、膜厚0.25 μm）を用いてもよい。

[0164] 組成物に含有される液晶性化合物の割合は、次のような方法で算出してよい。液晶性化合物の混合物をガスクロマトグラフィー（FID）で分析する。ガスクロマトグラムにおけるピークの面積比は液晶性化合物の割合に相当する。上に記載したキャピラリカラムを用いたときは、各々の液晶性化合物の補正係数を1とみなしてよい。したがって、液晶性化合物の割合（質量%）は、ピークの面積比から算出することができる。

[0165] 測定試料：組成物や素子の特性を測定するときは、組成物をそのまま試料として用いた。化合物の特性を測定するときは、この化合物（15質量%）を母液晶（85質量%）に混合することによって測定用の試料を調製した。測定によって得られた値から外挿法によって化合物の特性値を算出した。（外挿値）＝{（試料の測定値）－0.85×（母液晶の測定値）}／0.15。この割合でスメクチック相（または結晶）が25℃で析出するときは、化合物と母液晶の割合を10質量%：90質量%、5質量%：95質量%、1質量%：99質量%の順に変更した。この外挿法によって化合物に関する上限温度、光学異方性、粘度、および誘電率異方性の値を求めた。

[0166] 下記の母液晶を用いた。成分化合物の割合は質量%で示した。



[0167] 測定方法：特性の測定は下記の方法で行った。これらの多くは、社団法人電子情報技術産業協会（Japan Electronics and Information Technology Industries Association；JEITAという）で審議制定されるJEITA規格（JEITA・ED-2521B）に記載された方法、またはこれを修飾した方法であった。測定に用いたTN（twisted nematic）素子には、薄膜トランジスター（TFT）を取り付けなかった。

[0168] （1）ネマチック相の上限温度（ N_I ；℃）：偏光顕微鏡を備えた融点測定装置のホットプレートに試料を置き、1℃/分の速度で加熱した。試料の一部がネマチック相から等方性液体に変化したときの温度を測定した。ネマチック相の上限温度を「上限温度」と略すことがある。

[0169] （2）ネマチック相の下限温度（ T_C ；℃）：ネマチック相を有する試料をガラス瓶に入れ、0℃、-10℃、-20℃、-30℃、および-40℃のフ

リーザー中に10日間保管したあと、液晶相を観察した。例えば、試料が -20°C ではネマチック相のままであり、 -30°C では結晶またはスメクチック相に変化したとき、 T_c を $<-20^{\circ}\text{C}$ と記載した。ネマチック相の下限温度を「下限温度」と略すことがある。

- [0170] (3) 粘度 (バルク粘度; η ; 20°C で測定; $\text{mPa}\cdot\text{s}$) : 測定には東京計器株式会社製のE型回転粘度計を用いた。
- [0171] (4) 粘度 (回転粘度; γ_1 ; 25°C で測定; $\text{mPa}\cdot\text{s}$) : 測定は、M. Imai et al., *Molecular Crystals and Liquid Crystals*, Vol. 259, 37 (1995) に記載された方法に従った。ツイスト角が 0° であり、そして2枚のガラス基板の間隔 (セルギャップ) が $5\mu\text{m}$ であるTN素子に試料を入れた。この素子に 16V から 19.5V の範囲で 0.5V 毎に段階的に印加した。 0.2 秒の無印加のあと、ただ1つの矩形波 (矩形パルス; 0.2 秒) と無印加 (2 秒) の条件で印加を繰り返した。この印加によって発生した過渡電流 (transient current) のピーク電流 (peak current) とピーク時間 (peak time) を測定した。これらの測定値とM. Imaiらの論文中の40頁記載の計算式 (10) とから回転粘度の値を得た。この計算に必要な誘電率異方性の値は、この回転粘度を測定した素子を用い、下に記載した方法で求めた。
- [0172] (5) 光学異方性 (屈折率異方性; Δn ; 25°C で測定) : 測定は、波長 589nm の光を用い、接眼鏡に偏光板を取り付けたアッペ屈折計によって行なった。主プリズムの表面を一方向にラビングしたあと、試料を主プリズムに滴下した。屈折率 n_{\parallel} は偏光の方向がラビングの方向と平行であるときに測定した。屈折率 n_{\perp} は偏光の方向がラビングの方向と垂直であるときに測定した。光学異方性の値は、 $\Delta n = n_{\parallel} - n_{\perp}$ 、の式から計算した。
- [0173] (6) 誘電率異方性 ($\Delta \epsilon$; 25°C で測定) : 2枚のガラス基板の間隔 (セルギャップ) が $9\mu\text{m}$ であり、そしてツイスト角が 80 度であるTN素子に試料を入れた。この素子にサイン波 (10V 、 1kHz) を印加し、2秒後に液晶分子の長軸方向における誘電率 (ϵ_{\parallel}) を測定した。この素子にサイン波 (0.5V 、 1kHz) を印加し、2秒後に液晶分子の短軸方向におけ

る誘電率 (ϵ_{\perp}) を測定した。誘電率異方性の値は、 $\Delta \epsilon = \epsilon_{\parallel} - \epsilon_{\perp}$ の式から計算した。

[0174] (7) しきい値電圧 (V_{th} ; 25°Cで測定; V) : 測定には大塚電子株式会社製のLCD5100型輝度計を用いた。光源はハロゲンランプであった。2枚のガラス基板の間隔(セルギャップ)が $0.45/\Delta n$ (μm)であり、ツイスト角が80度であるノーマリーホワイトモード(normally white mode)のTN素子に試料を入れた。この素子に印加する電圧(32Hz、矩形波)は0Vから10Vまで0.02Vずつ段階的に増加させた。この際に、素子に垂直方向から光を照射し、素子を透過した光量を測定した。この光量が最大になったときが透過率100%であり、この光量が最小であったときが透過率0%である電圧-透過率曲線を作成した。しきい値電圧は透過率が90%になったときの電圧で表した。

[0175] (8) 電圧保持率(VHR; 25°Cで測定; %) : 測定に用いたTN素子はポリイミド配向膜を有し、そして2枚のガラス基板の間隔(セルギャップ)は5 μm であった。このTN素子に試料を入れ、紫外線で硬化する接着剤で密閉した。このTN素子を60°Cの恒温槽に入れ、パルス電圧(1V、60マイクロ秒、3Hz)を印加して充電した。減衰する電圧を高速電圧計で166.6ミリ秒のあいだ測定し、単位周期における電圧曲線と横軸との間の面積Aを求めた。面積Bは減衰しなかったときの面積であった。電圧保持率は面積Bに対する面積Aの百分率で表した。

[0176] (9) 電圧保持率(UV-VHR; 25°Cで測定; %) : 試料を入れたTN素子に、光源としてブラックライトを使用し、5ミリWの紫外線を166.6分照射した。電圧保持率を測定し、紫外線に対する安定性を評価した。TN素子の構成や電圧保持率の測定方法は測定(8)に記載した。大きなUV-VHRを有する組成物は紫外線に対して大きな安定性を有する。UV-VHRは90%以上が好ましく、95%以上がさらに好ましい。

[0177] (10) 電圧保持率(加熱VHR; 25°Cで測定; %) : 試料を入れたTN素子を120°Cの恒温槽内で20時間加熱したあと、電圧保持率を測定し、

熱に対する安定性を評価した。TN素子の構成や電圧保持率の測定方法は測定(8)に記載した。大きな加熱VHRを有する組成物は熱に対して大きな安定性を有する。加熱VHRは90%以上が好ましく、95%以上がさらに好ましい。

[0178] (11) 応答時間 (τ ; 25°Cで測定; ms) : 測定には大塚電子株式会社製のLCD5100型輝度計を用いた。光源はハロゲンランプであった。ローパス・フィルター (Low-pass filter) は5kHzに設定した。2枚のガラス基板の間隔 (セルギャップ) が5.0 μ mであり、ツイスト角が80度であるノーマリーホワイトモード (normally white mode) のTN素子に試料を入れた。この素子に矩形波 (60Hz、5V、0.5秒) を印加した。この際に、素子に垂直方向から光を照射し、素子を透過した光量を測定した。この光量が最大になったときが透過率100%であり、この光量が最小であったときが透過率0%であるとみなした。立ち上がり時間 (τ_r : rise time; ミリ秒) は、透過率が90%から10%に変化するのに要した時間である。立ち下がり時間 (τ_f : fall time; ミリ秒) は透過率10%から90%に変化するのに要した時間である。応答時間は、このようにして求めた立ち上がり時間と立ち下がり時間との和で表した。

[0179] (12) 弾性定数 (K; 25°Cで測定; pN) : 測定には横河・ヒューレットパカード株式会社製のHP4284A型LCRメータを用いた。2枚のガラス基板の間隔 (セルギャップ) が20 μ mである水平配向素子に試料を入れた。この素子に0Vから20Vの電荷を印加し、静電容量および印加電圧を測定した。測定した静電容量 (C) と印加電圧 (V) の値を「液晶デバイスハンドブック」(日刊工業新聞社)、75頁にある式(2.98)、式(2.101)を用いてフィッティングし、式(2.99)からK11およびK33の値を得た。次に同171頁にある式(3.18)に、先ほど求めたK11およびK33の値を用いてK22を算出した。弾性定数は、このようにして求めたK11、K22、およびK33の平均値で表した。

[0180] (13) 比抵抗 (ρ ; 25°Cで測定; Ω cm) : 電極を備えた容器に試料1

. 0 mLを入れた。この容器に直流電圧（10 V）を印加し、10秒後の直流電流を測定した。比抵抗は次の式から算出した。（比抵抗） = {（電圧） ×（容器の電気容量）} / {（直流電流） ×（真空の誘電率）}

[0181]（14）らせんピッチ（P；室温で測定； μm ）：らせんピッチはくさび法にて測定した。「液晶便覧」、196頁（2000年発行、丸善）を参照。試料をくさび形セルに入れ、室温で2時間静置した後、ディスクリネーション線（disclination line）の間隔（ $d_2 - d_1$ ）を偏光顕微鏡（ニコン（株）、商品名MM40/60シリーズ）によって観察した。らせんピッチ（P）は、くさびセルの角度を θ と表した次の式から算出した。 $P = 2 \times (d_2 - d_1) \times \tan \theta$ 。

[0182]（15）短軸方向における誘電率（ ϵ_{\perp} ；25℃で測定）：2枚のガラス基板の間隔（セルギャップ）が9 μm であり、そしてツイスト角が80度であるTN素子に試料を入れた。この素子にサイン波（0.5 V、1 kHz）を印加し、2秒後に液晶分子の短軸方向における誘電率（ ϵ_{\perp} ）を測定した。

[0183]（16）プレチルト角（度）：プレチルト角の測定には、分光エリプソメータM-2000U（J. A. Woollam Co., Inc. 製）を使用した。

[0184]（17）配向安定性（液晶配向軸安定性）：FFS（fringe field switching）素子の電極側における液晶配向軸の変化を評価した。ストレス印加前の電極側の液晶配向角度 ϕ （before）を測定し、その後、素子に矩形波4.5 V、60 Hzを20分間印加した後、1秒間ショートし、1秒後および5分後に再び電極側の液晶配向角度 ϕ （after）を測定した。これらの値から、1秒後および5分後の液晶配向角度の変化（ $\Delta\phi$ ；deg.）を次の式を用いて算出した。 $\Delta\phi$ （deg.） = ϕ （after） - ϕ （before）

これらの測定はJ. Hilfiker, B. Johs, C. Herzinger, J. F. Elman, E. Montbach, D. Bryant, and P. J. Bos, Thin Solid Films, 455-456, (2004) 596-600を参考に行った。変化（ $\Delta\phi$ ）が小さいほうが液晶配向軸の変化率が小さく、液晶分子がより安定化しているといえる。

[0185]（18）フリッカ率（25℃で測定；%）：測定には横河電機（株）製のマ

ルチメディアディスプレイテスタ3298Fを用いた。光源はLEDであった。2枚のガラス基板の間隔（セルギャップ）が $3.5\ \mu\text{m}$ であり、ラビング方向がアンチパラレルであるノーマリーブラックモード（normally black mode）の素子に試料を入れた。この素子を紫外線で硬化する接着剤を用いて密閉した。この素子に電圧を印加し、素子を透過した光量が最大になる電圧を測定した。この電圧を素子に印加しながらセンサ部を素子に近づけ、表示されたフリッカ率を読み取った。

[0186] (19) 線残像（Line Image Sticking Parameter ; LISP ; %）：素子に電氣的なストレスを与えることによって線残像を発生させた。線残像のある領域の輝度と残りの領域（参照領域）の輝度を測定した。線残像によって輝度が低下した割合を算出し、この割合によって線残像の大きさを表した。

[0187] 19 a) 輝度の測定：イメージング色彩輝度計（Radiant Zemax社製、PM-1433F-0）を用いて素子の画像を撮影した。この画像をソフトウェア（Prometric 9.1、Radiant Imaging社製）を用いて解析することによって素子の各領域の輝度を算出した。光源には平均輝度が $3500\ \text{cd}/\text{m}^2$ であるLEDバックライトを用いた。

[0188] 19 b) ストレス電圧の設定：セルギャップが $3.5\ \mu\text{m}$ であり、マトリクス構造を有するFFS素子（縦4セル×横4セルの16セル）に試料を入れ、この素子を紫外線で硬化する接着剤を用いて密閉した。偏光軸が直交するように、この素子の上面と下面にそれぞれ偏光板を配置した。この素子に光を照射し、電圧（矩形波、60Hz）を印加した。電圧は、0Vから7.5Vの範囲で0.1V毎に段階的に増加させ、各電圧での透過光の輝度を測定した。輝度が極大になったときの電圧をV255と略した。輝度がV255の21.6%になったとき（すなわち、127階調）の電圧をV127と略した。

[0189] 19 c) ストレスの条件：60℃、23時間の条件でストレス領域にV255（矩形波、30Hz）を、参照領域に0.5V（矩形波、30Hz）を印加し、チェッカーパターンを表示させた。次に、V127（矩形波、0.2

- 5 Hz) を印加し、露光時間4000ミリ秒の条件で輝度を測定した。
- [0190] 19d) 線残像の算出：16セルのうち、中央部の4セル（縦2セル×横2セル）を算出に用いた。この4セルを25領域（縦5セル×横5セル）に分割した。四隅にある4領域（縦2セル×横2セル）の平均輝度を輝度Aと略した。25領域から四隅の領域を除いた領域は、十字形であった。この十字形の領域から中央の交差領域を除いた4領域において、輝度の最小値を輝度Bと略した。線残像は次の式から算出した。（線残像）＝（輝度A－輝度B）／輝度A×100。線残像は、小さい方が好ましい。
- [0191] (20) 面残像 (Face Image Sticking Parameter ; FISP ; %) : 素子に電氣的なストレスを与えることによって面残像を発生させた。面残像のある領域の輝度と残りの領域の輝度を25℃で測定した。面残像によって輝度が増加した割合を算出し、この割合によって面残像の大きさを表した。
- [0192] 20a) 「輝度の測定」、「ストレス電圧の設定」、「ストレスの条件」は、「線残像」の項に記載した手順に従った。
- [0193] 20b) 面残像は、次の式から算出した。（面残像）＝（輝度C－輝度D）／輝度D×100。ここで、輝度Cは、V255を印加した8セルの平均輝度であり、輝度Dは、0.5Vを印加した8セルの平均輝度であった。面残像は、小さい方が好ましい。液晶組成物の誘電率異方性が正であるとき、面残像をP-FISPで示した。負であるときは、面残像をN-FISPで示した。
- [0194] (21) ヘイズ率 (%) : ヘイズ率の測定には、ヘイズメーターNDH5000（日本電色工業株式会社製）を使用した。
- [0195] (22) ヘイズ変化率 (%) : 素子の耐候性試験を行った。試験の前後においてヘイズ率を測定し、ヘイズ変化率を算出した。この試験は、日本工業規格 (JIS) K5600-7-7、促進耐候性及び促進耐光性（キセノンランプ法）に従って行った。測定条件は、照度 (UVA ; 180W/m²)、照射時間 (100時間)、ブラックパネル温度 (63±2℃)、槽内温度 (35℃)、槽内相対湿度 (40%RH) であった。「UVA」は、紫外線A (u

ltraviolet A) を意味する。

[0196] (23) 調光素子の特性

液晶表示素子の特性を測定するときは、通常はガラス基板の素子を用いる。一方、液晶調光素子では、プラスチックフィルムを基板に用いることがある。そこで、基板がポリカーボネートである素子を作製し、しきい値電圧、応答時間のような特性を測定した。この測定値をガラス基板の素子の場合と比較した。その結果、二種類の測定値は、ほぼ同一であった。そこで、ガラス基板の素子で特性を測定し、その結果を記載した。

[0197] 組成物の実施例を以下に示す。液晶性化合物は、下記の表3の定義に基づいて記号によって表した。表3において、1, 4-シクロヘキシレンに関する立体配置はトランスである。記号化された化合物の後にあるかっこ内の番号は化合物が属する化学式を表す。(一)の記号はその他の液晶性化合物を意味する。液晶性化合物の割合(百分率)は、添加物を含まない液晶組成物の質量に基づいた質量百分率(質量%)である。最後に、組成物の特性値をまとめた。

[0198]

表3. 記号を用いた化合物の表記法



1) 左末端基 R-	記号	4) 環構造 -A _n -	記号
$C_nH_{2n+1}-$	n-		H
$C_nH_{2n+1}O-$	nO-		Dh
$C_mH_{2m+1}OC_nH_{2n}-$	mOn-		dh
$CH_2=CH-$	V-		B
$C_nH_{2n+1}-CH=CH-$	nV-		B(F)
$CH_2=CH-C_nH_{2n}-$	Vn-		B(2F)
$C_mH_{2m+1}-CH=CH-C_nH_{2n}-$	mVn-		B(F,F)
$CF_2=CH-$	VFF-		B(2F,5F)
$CF_2=CH-C_nH_{2n}-$	VFFn-		B(F,F)
$F-C_nH_{2n}-$	Fn-		B(2F,5F)
2) 右末端基 -R'			B(2F,5F)
$-C_nH_{2n+1}$	-n		B(F,F)
$-OC_nH_{2n+1}$	-On		B(2F,3F)
$-CH=CH_2$	-V		B(F,F)
$-CH=CH-C_nH_{2n+1}$	-Vn		B(2F,5F)
$-C_nH_{2n}-CH=CH_2$	-nV		B(2F,5F)
$-C_nH_{2n}-CH=CH-C_mH_{2m+1}$	-nVm		B(F,F)
$-CH=CF_2$	-VFF		B(2F,3F)
$-COOCH_3$	-EMe		B(F,F)
$-F$	-F		B(2F,5F)
$-Cl$	-Cl		B(2F,5F)
$-OCF_3$	-OCF3		B(F,F)
$-CF_3$	-CF3		B(2F,3F)
$-CN$	-C		B(F,F)
3) 結合基 -Z _n -			B(2F,5F)
$-C_nH_{2n}-$	n		B(2F,5F)
$-COO-$	E		B(F,F)
$-CH=CH-$	V		B(2F,3F)
$-C\equiv C-$	T		B(F,F)
$-CF_2O-$	X		B(2F,5F)
$-CH_2O-$	1O		B(2F,5F)
	Gro(7F,8F)		B(F,F)
	DBTF2		FLF4
5) 表記例			
例1 3-HH-V1		例2 4-GB(F)B(F,F)XB(F,F)-F	

[0199] [組成物 (M1)]

3-HB-C	(1-1)	10%
3-HB(F)-C	(1-1)	15%
3-HHB-F	(1-9)	4%
2-HHB(F)-F	(1-9)	11%
3-HHB(F)-F	(1-9)	11%
5-HHB(F)-F	(1-9)	10%
3-HHB(F)-C	(1-9)	8%
3-BB(F, F)XB(F, F)-F	(1-28)	1%
3-HB-O2	(2-2)	10%
3-HHB-1	(2-9)	8%
3-HHB-3	(2-9)	8%
3-HHB-O1	(2-9)	4%

$N I = 95.5^{\circ}\text{C}$; $T_c < -20^{\circ}\text{C}$; $\eta = 22.3 \text{ mPa} \cdot \text{s}$; $\Delta n = 0.100$; $\Delta \epsilon = 8.1$; $V_{th} = 1.50 \text{ V}$.

[0200] [組成物 (M2)]

2-HHB(F)-F	(1-9)	12%
3-HHB(F)-F	(1-9)	12%
5-HHB(F)-F	(1-9)	11%
3-HHB(F, F)-F	(1-9)	10%
2-HBB(F)-F	(1-16)	7%
3-HBB(F)-F	(1-16)	7%
5-HBB(F)-F	(1-16)	14%
3-HBB(F, F)-F	(1-16)	10%
3-BB(F, F)XB(F, F)-F	(1-28)	1%
3-HB-O2	(2-2)	3%
3-HHB-1	(2-9)	8%
3-HHB-O1	(2-9)	5%

$N I = 104.8^{\circ}\text{C}$; $T_c < -20^{\circ}\text{C}$; $\eta = 25.1 \text{ mPa} \cdot \text{s}$; $\Delta n = 0.107$; $\Delta \varepsilon = 5.9$; $V_{th} = 1.79 \text{ V}$.

[0201] [組成物 (M3)]

5-BB-C	(1-2)	20%
3-HHB (F) -C	(1-9)	10%
2-HBB-F	(1-16)	5%
3-HBB-F	(1-16)	5%
5-HBB-F	(1-16)	5%
2-HBB (F) -F	(1-16)	6%
3-HBB (F) -F	(1-16)	6%
5-HBB (F) -F	(1-16)	13%
3-HBB (F, F) -F	(1-16)	10%
3-BB (F, F) XB (F, F) -F	(1-28)	1%
3-HB-O2	(2-2)	10%
2-BB (F) B-3	(2-12)	9%

$N I = 86.7^{\circ}\text{C}$; $T_c < -20^{\circ}\text{C}$; $\eta = 31.6 \text{ mPa} \cdot \text{s}$; $\Delta n = 0.162$; $\Delta \varepsilon = 8.6$; $V_{th} = 1.68 \text{ V}$.

[0202] [組成物 (M4)]

2-HHB (F) -F	(1-9)	12%
3-HHB (F) -F	(1-9)	12%
5-HHB (F) -F	(1-9)	11%
3-HHB (F, F) -F	(1-9)	10%
3-HHXB (F, F) -F	(1-13)	1%
2-HBB (F) -F	(1-16)	4.5%
3-HBB (F) -F	(1-16)	4.5%
5-HBB (F) -F	(1-16)	9%
3-HBB (F, F) -F	(1-16)	18%
3-HB-O2	(2-2)	5%

3-HHB-1 (2-9) 8%

3-HHB-O1 (2-9) 5%

$NI = 101.8^{\circ}\text{C}$; $T_c < -20^{\circ}\text{C}$; $\eta = 24.5 \text{ mPa}\cdot\text{s}$; $\Delta n = 0.105$; $\Delta\varepsilon = 6.1$; $V_{th} = 1.76 \text{ V}$.

[0203] [組成物 (M5)]

5-BB-C (1-2) 16%

3-HHXB (F, F) - F (1-13) 1%

2-HBB-F (1-16) 5%

3-HBB-F (1-16) 5%

5-HBB-F (1-16) 5%

2-HBB (F) - F (1-16) 6%

3-HBB (F) - F (1-16) 6%

5-HBB (F) - F (1-16) 13%

3-HBB (F, F) - F (1-16) 12%

2-HHBB (F, F) - F (1-29) 3%

3-HHBB (F, F) - F (1-29) 4%

5-HHBB (F, F) - F (1-29) 4%

3-HB-O2 (2-2) 10%

2-BB (F) B-3 (2-12) 10%

$NI = 95.9^{\circ}\text{C}$; $T_c < -20^{\circ}\text{C}$; $\eta = 37.4 \text{ mPa}\cdot\text{s}$; $\Delta n = 0.162$; $\Delta\varepsilon = 7.4$; $V_{th} = 1.87 \text{ V}$.

[0204] [組成物 (M6)]

5-BB-C (1-2) 16%

3-HHXB (F, F) - F (1-13) 1%

2-HBB-F (1-16) 5%

3-HBB-F (1-16) 5%

5-HBB-F (1-16) 5%

2-HBB (F) - F (1-16) 6%

3-HBB (F) - F	(1-16)	6%
5-HBB (F) - F	(1-16)	13%
3-HBB (F, F) - F	(1-16)	10%
5-HBB (F, F) - F	(1-16)	5%
2-HHBB (F, F) - F	(1-29)	3%
3-HHBB (F, F) - F	(1-29)	4%
5-HHBB (F, F) - F	(1-29)	4%
3-HB-O2	(2-2)	10%
2-BB (F) B-3	(2-12)	7%
NI = 92.9°C; Tc < -20°C; η = 33.6 mPa·s; Δn = 0.158; Δε = 7.5; Vth = 1.79V.		

[0205] [組成物 (M7)]

5-BB-C	(1-2)	16%
3-HHXB (F, F) - F	(1-13)	1%
2-HBB-F	(1-16)	5%
3-HBB-F	(1-16)	5%
5-HBB-F	(1-16)	5%
2-HBB (F) - F	(1-16)	5%
3-HBB (F) - F	(1-16)	5%
5-HBB (F) - F	(1-16)	10%
3-HBB (F, F) - F	(1-16)	10%
5-HBB (F, F) - F	(1-16)	5%
2-HHBB (F, F) - F	(1-29)	3%
3-HHBB (F, F) - F	(1-29)	4%
5-HHBB (F, F) - F	(1-29)	4%
3-HB-O2	(2-2)	10%
3-HHB-1	(2-9)	6%
2-BB (F) B-3	(2-12)	6%

$N I = 98.2^{\circ}\text{C}$; $T_c < -20^{\circ}\text{C}$; $\eta = 30.8 \text{ mPa} \cdot \text{s}$; $\Delta n = 0.156$; $\Delta \varepsilon = 7.4$; $V_{th} = 1.94 \text{ V}$.

[0206] [組成物 (M8)]

5-BB-C	(1-2)	20%
3-HHB(F)-C	(1-9)	10%
3-BB(F)B(F,F)XB(F,F)-F	(1-41)	3%
4-BB(F)B(F,F)XB(F,F)-F	(1-41)	6%
5-BB(F)B(F,F)XB(F,F)-F	(1-41)	6%
3-HB-O2	(2-2)	12%
3-HHB-1	(2-9)	7%
3-HHB-O1	(2-9)	4%
2-BB(F)B-3	(2-12)	3%
2-BB(F)B-5	(2-12)	10%
3-BB(F)B-5	(2-12)	12%
3-BB(2F,5F)B-3	(2-13)	7%

$N I = 102.9^{\circ}\text{C}$; $T_c < -20^{\circ}\text{C}$; $\eta = 75.6 \text{ mPa} \cdot \text{s}$; $\Delta n = 0.193$; $\Delta \varepsilon = 10.8$; $V_{th} = 2.11 \text{ V}$.

[0207] [組成物 (M9)]

5-BB-C	(1-2)	20%
3-HHB(F)-C	(1-9)	10%
4-BB(F)B(F,F)XB(F,F)-F	(1-41)	6%
5-BB(F)B(F,F)XB(F,F)-F	(1-41)	6%
3-HB-O2	(2-2)	12%

3-HHB-1	(2-9)	8%
3-HHB-O1	(2-9)	5%
2-BB(F)B-3	(2-12)	3%
2-BB(F)B-5	(2-12)	10%
3-BB(F)B-5	(2-12)	12%
3-BB(2F, 5F)B-3	(2-13)	8%

$Nl = 104.1^{\circ}\text{C}$; $T_c < -20^{\circ}\text{C}$; $\eta = 64.6 \text{ mPa} \cdot \text{s}$; $\Delta n = 0.192$; $\Delta \varepsilon = 9.6$; $V_{th} = 2.09 \text{ V}$.

[0208] [組成物 (M10)]

3-BB(F, F)XB(F, F)-F	(1-28)	15%
4-BB(F)B(F, F)XB(F, F)-F	(1-41)	4%
5-BB(F)B(F, F)XB(F, F)-F	(1-41)	4%
3-BB(F, F)XB(F)B(F, F)-F	(1-42)	4%
3-HB-O2	(2-2)	16%
5-HB-O2	(2-2)	3%
3-HHB-1	(2-9)	8%
3-HHB-O1	(2-9)	5%
3-HBB-2	(2-10)	10%
2-BB(F)B-3	(2-12)	6%
2-BB(F)B-5	(2-12)	10%
3-BB(F)B-5	(2-12)	10%
3-BB(2F, 5F)B-3	(2-13)	5%

$Nl = 95.4^{\circ}\text{C}$; $T_c < -20^{\circ}\text{C}$; $\eta = 50.8 \text{ mPa} \cdot \text{s}$; $\Delta n = 0.175$; $\Delta \varepsilon = 6.4$; $V_{th} = 2.33 \text{ V}$.

[0209] [組成物 (M11)]

5-BB-C	(1-2)	20%
3-HHB(F)-C	(1-9)	10%
4-BB(F)B(F,F)XB(F,F)-F	(1-41)	6%
5-BB(F)B(F,F)XB(F,F)-F	(1-41)	6%
3-HB-O2	(2-2)	14%
3-HHB-1	(2-9)	6%
3-HHB-O1	(2-9)	4%
2-BB(F)B-3	(2-12)	4%
2-BB(F)B-5	(2-12)	10%
3-BB(F)B-5	(2-12)	12%
3-BB(2F,5F)B-3	(2-13)	8%

$Nl = 100.1^\circ\text{C}$; $T_c < -20^\circ\text{C}$; $\eta = 60.0 \text{ mPa}\cdot\text{s}$; $\Delta n = 0.193$; $\Delta\varepsilon = 9.4$; $V_{th} = 2.07 \text{ V}$.

[0210] [組成物 (M12)]

3-BB(F,F)XB(F,F)-F	(1-28)	15%
4-BB(F)B(F,F)XB(F,F)-F	(1-41)	4%
5-BB(F)B(F,F)XB(F,F)-F	(1-41)	4%
3-BB(F,F)XB(F)B(F,F)-F	(1-42)	4%
3-HB-O2	(2-2)	16%
5-HB-O2	(2-2)	3%
3-HHB-1	(2-9)	8%
3-HHB-3	(2-9)	6%
3-HHB-O1	(2-9)	5%

3-HBB-2	(2-10)	10%
2-BB(F)B-5	(2-12)	10%
3-BB(F)B-5	(2-12)	10%
3-BB(2F, 5F)B-3	(2-13)	5%
NI=97.7°C; Tc<-20°C; η=52.8 mPa·s; Δn=0.165; Δε=6.3; Vth=2.48V.		

[0211] [組成物 (M13)]

3-BB(F, F)XB(F, F)-F	(1-28)	15%
4-BB(F)B(F, F)XB(F, F)-F	(1-41)	3%
5-BB(F)B(F, F)XB(F, F)-F	(1-41)	3%
3-BB(F, F)XB(F)B(F, F)-F	(1-42)	6%
3-HB-O2	(2-2)	6%
1-BB-3	(2-3)	6%
3-HHB-O1	(2-9)	5%
3-HHB-1	(2-9)	8%
3-HBB-2	(2-10)	12%
2-BB(F)B-3	(2-12)	6%
2-BB(F)B-5	(2-12)	10%
3-BB(F)B-5	(2-12)	12%
3-BB(2F, 5F)B-3	(2-13)	8%
NI=99.5°C; Tc<-20°C; η=61.7 mPa·s; Δn=0.192; Δε=6.7; Vth=2.77V.		

[0212] [組成物 (M14)]

5-BB-C	(1-2)	20%
3-HHB(F)-C	(1-9)	8%
4-BB(F)B(F, F)XB(F, F)-F	(1-41)	3%
5-BB(F)B(F, F)XB(F, F)-F	(1-41)	3%

3-BB (F, F) XB (F) B (F, F) -F (1-42)	6%
3-HB-O2 (2-2)	12%
3-HHB-1 (2-9)	8%
3-HHB-O1 (2-9)	4%
3-HBB-2 (2-10)	6%
2-BB (F) B-5 (2-12)	10%
3-BB (F) B-5 (2-12)	12%
3-BB (2F, 5F) B-3 (2-13)	8%

$N I = 102.1^{\circ}\text{C}$; $T_c < -20^{\circ}\text{C}$; $\eta = 54.8 \text{ mPa} \cdot \text{s}$; $\Delta n = 0.189$; $\Delta \varepsilon = 9.0$; $V_{th} = 2.16 \text{ V}$.

[0213] [組成物 (M15)]

2-HHB (F) -F (1-9)	11%
3-HHB (F) -F (1-9)	11%
5-HHB (F) -F (1-9)	10%
3-HHB (F, F) -F (1-9)	10%
3-HHXB (F, F) -F (1-13)	3%
2-HBB (F) -F (1-16)	4%
3-HBB (F) -F (1-16)	4%
5-HBB (F) -F (1-16)	8%
3-HBB (F, F) -F (1-16)	15%
5-HBB (F, F) -F (1-16)	6%
3-HB-O2 (2-2)	5%
3-HHB-1 (2-9)	8%
3-HHB-O1 (2-9)	5%

$N I = 101.0^{\circ}\text{C}$; $T_c < -20^{\circ}\text{C}$; $\eta = 24.2 \text{ mPa} \cdot \text{s}$; $\Delta n = 0.105$; $\Delta \varepsilon = 6.2$; $V_{th} = 1.80 \text{ V}$.

[0214] [組成物 (M16)]

2-HHB (F) -F (1-9)	13%
--------------------	-----

3-HHB (F) - F	(1-9)	13%
5-HHB (F) - F	(1-9)	14%
3-HHB (F, F) - F	(1-9)	10%
5-HHB (F, F) - F	(1-9)	3%
2-HBB (F) - F	(1-16)	2%
3-HBB (F) - F	(1-16)	2%
5-HBB (F) - F	(1-16)	4%
3-HBB (F, F) - F	(1-16)	15%
5-HBB (F, F) - F	(1-16)	6%
3-HB-O2	(2-2)	5%
3-HHB-O1	(2-9)	5%
3-HBB-2	(2-10)	8%

$N I = 99.9^{\circ}\text{C}$; $T_c < -20^{\circ}\text{C}$; $\eta = 23.9 \text{ mPa} \cdot \text{s}$; $\Delta n = 0.105$; $\Delta \varepsilon = 6.0$; $V_{th} = 1.71 \text{ V}$.

[0215] [組成物 (M17)]

3-BB (F, F) XB (F, F) - F	(1-28)	15%
3-BB (F, F) XB (F) B (F, F) - F	(1-42)	12%
3-HB-O2	(2-2)	15%
3-HHB-1	(2-9)	8%
3-HHB-3	(2-9)	10%
3-HHB-O1	(2-9)	5%
3-HBB-2	(2-10)	12%
2-BB (F) B-5	(2-12)	8%
3-BB (F) B-5	(2-12)	8%
3-BB (2F, 5F) B-3	(2-13)	7%

$N I = 100.5^{\circ}\text{C}$; $T_c < -20^{\circ}\text{C}$; $\eta = 32.3 \text{ mPa} \cdot \text{s}$; $\Delta n = 0.162$; $\Delta \varepsilon = 6.2$; $V_{th} = 2.28 \text{ V}$.

[0216] [組成物 (M18)]

3-BB (F, F) XB (F, F) -F	(1-28)	15%
3-BB (F, F) XB (F) B (F, F) -F	(1-42)	12%
3-HB-O2	(2-2)	6%
1-BB-3	(2-3)	6%
3-HHB-O1	(2-9)	5%
3-HHB-1	(2-9)	8%
3-HBB-2	(2-10)	12%
2-BB (F) B-3	(2-12)	6%
2-BB (F) B-5	(2-12)	10%
3-BB (F) B-5	(2-12)	12%
3-BB (2F, 5F) B-3	(2-13)	8%
NI = 96.9°C; Tc < -20°C; η = 41.0 mPa·s; Δn = 0.190; Δε = 6.5; Vth = 2.31V.		

[0217] [組成物 (M19)]

5-BB-C	(1-2)	20%
3-HHB (F) -C	(1-9)	8%
3-BB (F, F) XB (F) B (F, F) -F	(1-42)	12%
3-HB-O2	(2-2)	12%
3-HHB-1	(2-9)	8%
3-HHB-O1	(2-9)	4%
3-HBB-2	(2-10)	6%
2-BB (F) B-5	(2-12)	10%
3-BB (F) B-5	(2-12)	12%
3-BB (2F, 5F) B-3	(2-13)	8%
NI = 99.6°C; Tc < -20°C; η = 43.6 mPa·s; Δn = 0.188; Δε = 8.9; Vth = 1.99V.		

[0218] [組成物 (M20)]

2-HB (F) -C	(1-1)	9%
-------------	-------	----

3-HB (F) -C	(1-1)	10%
3-HHB-F	(1-9)	4%
2-HHB (F) -F	(1-9)	6%
3-HHB (F) -F	(1-9)	6%
5-HHB (F) -F	(1-9)	6%
2-HHB (F) -C	(1-9)	6%
3-HHB (F) -C	(1-9)	6%
3-HEB-O4	(2-4)	6%
4-HEB-O2	(2-4)	4%
5-HEB-O1	(2-4)	4%
3-HEB-O2	(2-4)	3%
5-HEB-O2	(2-4)	3%
2-HHB-1	(2-9)	5%
3-HHB-1	(2-9)	8%
3-HHB-3	(2-9)	10%
3-HHB-O1	(2-9)	4%

$N I = 102.2^{\circ}\text{C}$; $T_c < -20^{\circ}\text{C}$; $\eta = 25.7 \text{ mPa} \cdot \text{s}$; $\Delta n = 0.096$; $\Delta \varepsilon = 6.7$; .

[0219] [組成物 (M21)]

3-HBB-F	(1-16)	6%
3-BB (F, F) XB (F, F) -F	(1-28)	10%
3-HB-O2	(2-2)	9%
1-BB-3	(2-3)	9%
3-HHB-1	(2-9)	6%
3-HHB-O1	(2-9)	4%
2-BB (F) B-3	(2-12)	10%
2-BB (F) B-5	(2-12)	11%
3-BB (F) B-5	(2-12)	11%

3-BB (2F, 5F) B-3	(2-13)	5%
3-BB (F) B (F, F) XB (F, F) -F	(1-41)	3%
4-BB (F) B (F, F) XB (F, F) -F	(1-41)	4%
3-BB (F, F) XB (F) B (F, F) -F	(1-42)	12%

$N I = 90.4^{\circ}\text{C}$; $T_c < -20^{\circ}\text{C}$; $\Delta n = 0.193$; $\Delta \varepsilon = 7.9$.

[0220] [組成物 (M22)]

3-HB-CL	(1-1)	3%
5-HXB (F, F) -F	(1-7)	3%
3-HHB-OCF3	(1-9)	3%
3-HHXB (F, F) -F	(1-13)	6%
3-HGB (F, F) -F	(1-14)	3%
3-HB (F) B (F, F) -F	(1-17)	5%
3-BB (F, F) XB (F, F) -F	(1-28)	6%
3-HHBB (F, F) -F	(1-29)	6%
5-BB (F) B (F, F) XB (F) B (F, F) -F	(1-43)	2%
3-BB (2F, 3F) XB (F, F) -F	(1-44)	4%
3-HHB (F, F) XB (F, F) -F	(1)	4%
3-HBB (2F, 3F) XB (F, F) -F	(1)	5%
3-HH-V	(2-1)	22%
3-HH-V1	(2-1)	10%
5-HB-O2	(2-2)	5%
3-HHEH-3	(2-8)	3%
3-HBB-2	(2-10)	7%
5-B (F) BB-3	(2-11)	3%

$N I = 77.2^{\circ}\text{C}$; $T_c < -20^{\circ}\text{C}$; $\Delta n = 0.101$; $\Delta \varepsilon = 5.8$;
 $V_{th} = 1.88\text{V}$; $\eta = 13.7\text{mPa}\cdot\text{s}$; $\gamma_1 = 61.3\text{mPa}\cdot\text{s}$

[0221] [組成物 (M23)]

5-HB-CL	(1-1)	5%
5-HXB (F, F) -F	(1-7)	6%
3-HHXB (F, F) -F	(1-13)	6%
V-HB (F) B (F, F) -F	(1-17)	5%
3-HHB (F) B (F, F) -F	(1-30)	7%
2-BB (F) B (F, F) XB (F) -F	(1-41)	3%
3-BB (F) B (F, F) XB (F) -F	(1-41)	3%
4-BB (F) B (F, F) XB (F) -F	(1-41)	4%
2-HH-5	(2-1)	8%
3-HH-V	(2-1)	10%
3-HH-V1	(2-1)	7%
4-HH-V	(2-1)	10%
4-HH-V1	(2-1)	8%
5-HB-O2	(2-2)	7%
4-HHEH-3	(2-8)	3%
V2-BB (F) B-1	(2-12)	3%
101-HBBH-3	(-)	5%

$N I = 78.5^{\circ}C$; $T_c < -20^{\circ}C$; $\Delta n = 0.095$; $\Delta \epsilon = 3.4$;
 $V_{th} = 1.50V$; $\eta = 8.4 \text{ mPa} \cdot \text{s}$; $\gamma_1 = 54.2 \text{ mPa} \cdot \text{s}$.

[0222] [組成物 (M24)]

3-HHEB (F, F) -F	(1-10)	5%
3-HHXB (F, F) -F	(1-13)	7%
5-HBEB (F, F) -F	(1-20)	5%
3-BB (F, F) XB (F, F) -F	(1-28)	10%
2-HHB (F) B (F, F) -F	(1-30)	3%
5-HHB (F, F) XB (F, F) -F	(1)	6%
3-HBB (2F, 3F) XB (F, F) -F	(1)	5%

2-HH-3	(2-1)	8%
3-HH-V	(2-1)	20%
3-HH-V1	(2-1)	7%
4-HH-V	(2-1)	6%
5-HB-O2	(2-2)	5%
V2-B2BB-1	(2-14)	3%
3-HHEBH-3	(2-19)	5%
3-HHEBH-5	(2-19)	5%

$Nl = 90.3^{\circ}\text{C}$; $T_c < -20^{\circ}\text{C}$; $\Delta n = 0.088$; $\Delta \varepsilon = 5.4$;
 $V_{th} = 1.69\text{V}$; $\eta = 13.7\text{mPa}\cdot\text{s}$; $\gamma_1 = 60.6\text{mPa}\cdot\text{s}$

[0223] [組成物 (M25)]

7-HB (F, F) -F	(1-1)	3%
3-HGB (F, F) -F	(1-14)	3%
5-GHB (F, F) -F	(1-15)	4%
3-GB (F, F) XB (F, F) -F	(1-22)	5%
3-BB (F) B (F, F) -CF3	(1-24)	2%
3-HHBB (F, F) -F	(1-29)	4%
3-GBB (F) B (F, F) -F	(1-32)	2%
2-dhBB (F, F) XB (F, F) -F	(1-35)	4%
3-HGB (F, F) XB (F, F) -F	(1)	5%
3-dhB (F, F) B (F, F) XB (F) B (F, F) -F	(1)	3%
2-HH-3	(2-1)	14%
2-HH-5	(2-1)	4%
3-HH-V	(2-1)	26%
1V2-HH-3	(2-1)	5%
1V2-BB-1	(2-3)	3%

3-BB (2F, 5F) B-3	(2-13)	3%
3-HB (F) HH-2	(2-18)	4%
5-HBB (F) B-2	(2-21)	6%

$Nl = 78.3^{\circ}\text{C}$; $T_c < -20^{\circ}\text{C}$; $\Delta n = 0.094$; $\Delta \epsilon = 5.9$;
 $V_{th} = 1.25\text{V}$; $\eta = 12.8\text{mPa}\cdot\text{s}$; $\gamma_1 = 61.9\text{mPa}\cdot\text{s}$

[0224] [組成物 (M26)]

3-HHB (F, F) -F	(1-9)	8%
3-GB (F) B (F, F) -F	(1-21)	3%
3-BB (F, F) XB (F, F) -F	(1-28)	10%
3-GB (F) B (F, F) XB (F, F) -F	(1-36)	6%
5-GB (F, F) XB (F) B (F, F) -F	(1)	5%
3-HH-V	(2-1)	30%
3-HH-V1	(2-1)	10%
1V2-HH-3	(2-1)	8%
3-HH-VFF	(2-1)	8%
V2-BB-1	(2-3)	2%
5-HB (F) BH-3	(2-20)	5%
5-HBBH-3	(2-22)	5%

$Nl = 76.6^{\circ}\text{C}$; $T_c < -20^{\circ}\text{C}$; $\Delta n = 0.088$; $\Delta \epsilon = 5.5$;
 $V_{th} = 1.81\text{V}$; $\eta = 12.1\text{mPa}\cdot\text{s}$; $\gamma_1 = 60.2\text{mPa}\cdot\text{s}$

[0225] [組成物 (M27)]

7-HB (F, F) -F	(1-1)	6%
3-BB (F, F) XB (F, F) -F	(1-28)	14%
3-dhB (F, F) B (F, F) XB (F) B (F, F) -F	(1)	7%
2-HH-5	(2-1)	5%

3-HH-V	(2-1)	30%
3-HH-V1	(2-1)	3%
3-HH-VFF	(2-1)	10%
3-HHB-1	(2-9)	4%
3-HHB-3	(2-9)	5%
3-HHB-O1	(2-9)	3%
3-BB(2F, 5F)B-3	(2-13)	3%
3-HHEBH-3	(2-19)	3%
3-HHEBH-4	(2-19)	4%
3-HHEBH-5	(2-19)	3%

$Nl = 82.7^{\circ}\text{C}$; $T_c < -20^{\circ}\text{C}$; $\Delta n = 0.085$; $\Delta \epsilon = 5.1$;
 $V_{th} = 1.70\text{V}$; $\eta = 8.0\text{mPa}\cdot\text{s}$; $\gamma_1 = 53.9\text{mPa}\cdot\text{s}$.

[0226] [組成物 (M28)]

3-HBB(F, F)-F	(1-9)	5%
5-HBB(F, F)-F	(1-9)	4%
3-BB(F)B(F, F)-F	(1-24)	3%
3-HH2BB(F, F)-F	(1-39)	3%
4-HH2BB(F, F)-F	(1-39)	3%
3-BB(F)B(F, F)XB(F, F)-F	(1-41)	3%
4-BB(F)B(F, F)XB(F, F)-F	(1-41)	5%
3-BB(F, F)XB(F)B(F, F)-F	(1-42)	3%
5-BB(F)B(F, F)XB(F)B(F, F)-F	(1-43)	4%
2-HH-5	(2-1)	8%
3-HH-V	(2-1)	28%
4-HH-V1	(2-1)	7%
5-HB-O2	(2-2)	2%
7-HB-1	(2-2)	5%

VFF-HHB-O1	(2-9)	8%
VFF-HHB-1	(2-9)	3%
3-HBB (2F, 3F)-O2	(3-14)	2%
2-BB (2F, 3F) B-3	(3-19)	4%
NI = 81.9°C; Tc < -20°C; Δn = 0.109; Δε = 4.8;		
Vth = 1.75V; η = 13.3 mPa·s; γ1 = 57.4 mPa·s		

[0227] [組成物 (M29)]

5-HB-CL	(1-1)	2%
5-HEB (F, F) -F	(1-6)	3%
3-HHB-OCF3	(1-9)	4%
3-HHEB (F, F) -F	(1-10)	4%
3-HBEB (F, F) -F	(1-20)	3%
5-HBEB (F, F) -F	(1-20)	3%
3-BB (F) B (F, F) -F	(1-24)	3%
3-HBBXB (F, F) -F	(1-33)	6%
3-GB (F) B (F, F) XB (F, F) -F	(1-36)	5%
4-GB (F) B (F, F) XB (F, F) -F	(1-36)	5%
5-HHB (F, F) XB (F, F) -F	(1)	3%
3-HGB (F, F) XB (F, F) -F	(1)	4%
3-HH-5	(2-1)	4%
3-HH-V	(2-1)	21%
3-HH-V1	(2-1)	3%
4-HH-V	(2-1)	4%
1V2-HH-3	(2-1)	6%
5-B (F) BB-2	(2-11)	3%
5-B (F) BB-3	(2-11)	2%
3-HB (2F, 3F) -O2	(3-1)	3%

3-BB (2F, 3F) -O2	(3-6)	2%
3-HHB (2F, 3F) -O2	(3-8)	4%
F3-HH-V	(-)	3%

$Nl = 78.1^{\circ}\text{C}$; $T_c < -20^{\circ}\text{C}$; $\Delta n = 0.100$; $\Delta \epsilon = 6.6$;
 $V_{th} = 1.50\text{V}$; $\eta = 16.2\text{mPa}\cdot\text{s}$; $\gamma_1 = 61.8\text{mPa}\cdot\text{s}$

[0228] [組成物 (M30)]

3-HHEB (F, F) -F	(1-10)	3%
3-HBEB (F, F) -F	(1-20)	3%
3-BB (F, F) XB (F, F) -F	(1-28)	4%
3-HHB (F) B (F, F) -F	(1-30)	3%
3-BB (F) B (F, F) XB (F, F) -F	(1-41)	5%
4-BB (F) B (F, F) XB (F, F) -F	(1-41)	5%
V-HH-V	(2-1)	10%
V-HH-2V	(2-1)	20%
1V-HH-V	(2-1)	10%
3-HH-V	(2-1)	15%
V2-BB-1	(2-3)	4%
1-BB (F) B-2V	(2-12)	7%
2-BB (F) B-2V	(2-12)	8%
101-HBBH-5	(-)	3%

$Nl = 74.3^{\circ}\text{C}$; $T_c \leq -20^{\circ}\text{C}$; $\Delta n = 0.111$; $\Delta \epsilon = 3.0$; $V_{th} = 2.39\text{V}$; $\eta = 11.0\text{mPa}\cdot\text{s}$; $\gamma_1 = 44.5\text{mPa}\cdot\text{s}$.

[0229] [組成物 (M31)]

3-GHB (F, F) -F	(1-15)	3%
3-BB (F, F) XB (F, F) -F	(1-28)	11%
3-HHBB (F, F) -F	(1-29)	4%
3-HBBXB (F, F) -F	(1-33)	8%

3-BB (F) B (F, F) XB (F, F) -F (1-41)	3%
4-BB (F) B (F, F) XB (F, F) -F (1-41)	6%
5-BB (F) B (F, F) XB (F, F) -F (1-41)	6%
3-HH-V	(2-1) 40%
3-HH-V1	(2-1) 5%
3-HHB-O1	(2-9) 3%
1-BB (F) B-2V	(2-12) 3%
3-HDhB (2F, 3F) -O2	(3-13) 4%
2-dhBB (2F, 3F) -O2	(3-16) 4%

$Nl = 85.2^{\circ}\text{C}$; $T_c < -20^{\circ}\text{C}$; $\Delta n = 0.114$; $\Delta \varepsilon = 7.3$;
 $\eta = 15.0 \text{ mPa} \cdot \text{s}$.

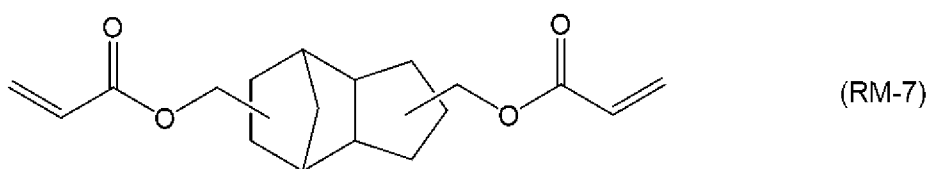
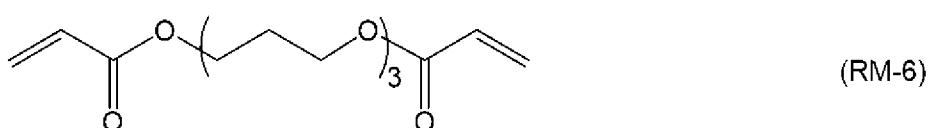
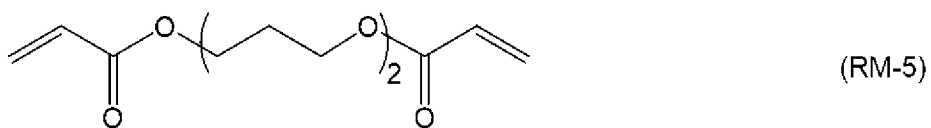
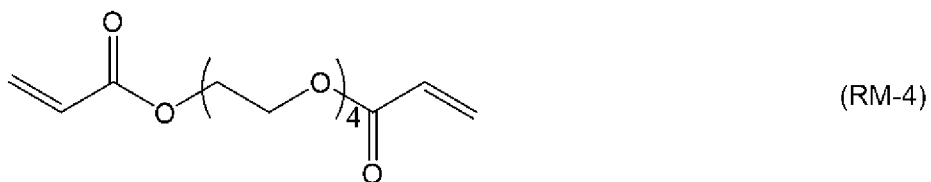
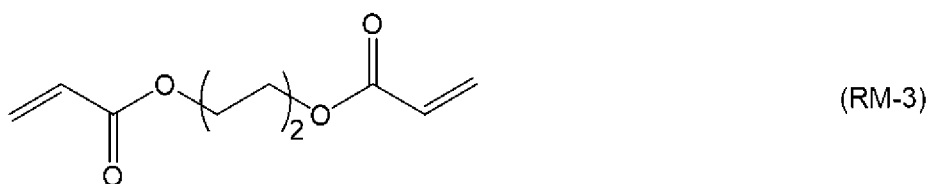
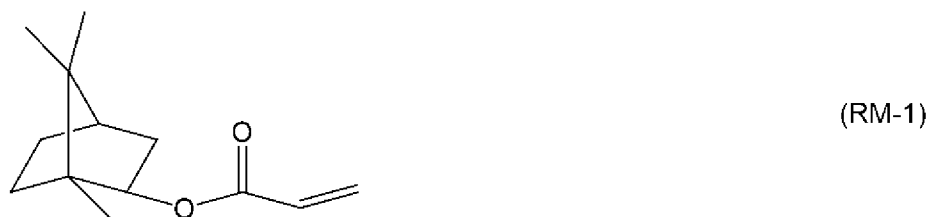
[0230] [組成物 (M32)]

3-GB (F, F) XB (F, F) -F	(1-22) 3%
3-BB (F) B (F, F) -F	(1-24) 9%
3-BB (F) B (F, F) -CF3	(1-24) 4%
3-HBBXB (F, F) -F	(1-33) 5%
4-GB (F) B (F, F) XB (F, F) -F (1-36)	3%
3-BB (F) B (F, F) XB (F, F) -F (1-41)	3%
4-BB (F) B (F, F) XB (F, F) -F (1-41)	6%
3-HH-V	(2-1) 39%
3-HH-V1	(2-1) 5%
V-HHB-1	(2-9) 4%
1-BB (F) B-2V	(2-12) 3%
2-BB (F) B-2V	(2-12) 3%
3-HHB (2F, 3F) -O2	(3-8) 6%
3-HBB (2F, 3F) -O2	(3-14) 3%
V-HBB (2F, 3F) -O2	(3-14) 4%

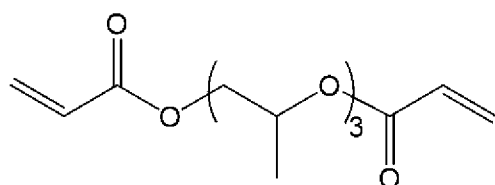
$Nl = 83.2^{\circ}\text{C}$; $T_c < -20^{\circ}\text{C}$; $\Delta n = 0.120$; $\Delta \varepsilon = 6.2$;

$\eta = 13.6 \text{ mPa} \cdot \text{s}$.

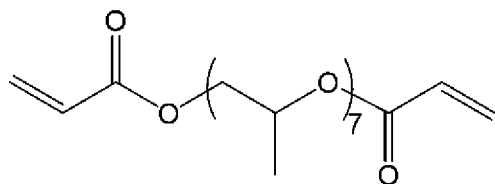
[0231] 実施例において使用する重合性化合物 (RM-1) から (RM-14) を以下に示す。



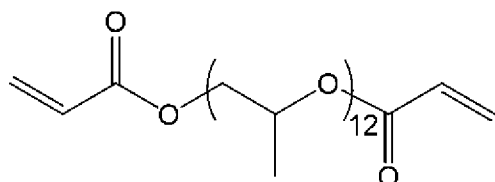
[0232]



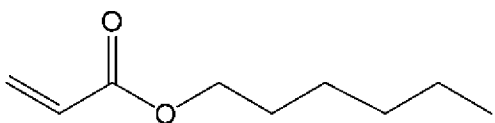
(RM-8)



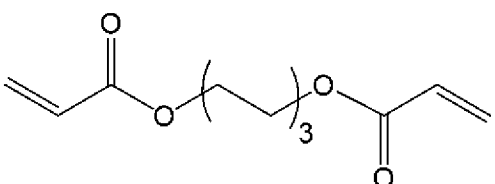
(RM-9)



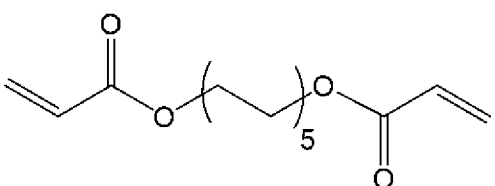
(RM-10)



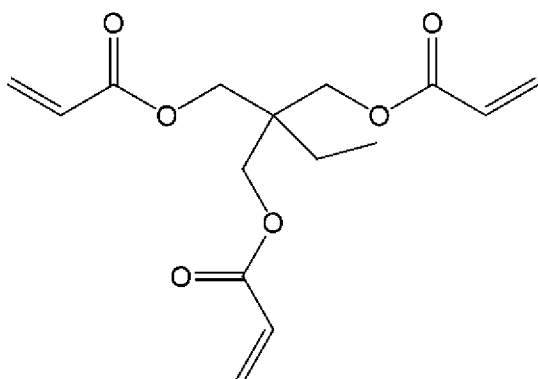
(RM-11)



(RM-12)



(RM-13)



(RM-14)

[0233] (1) 液晶調光素子の作製

[実施例 1]

組成物 (M1) は正の誘電率異方性を有した。60質量%の組成物 (M1) と32質量%の重合性化合物 (RM-1) と8質量%の重合性化合物 (R

M-5) とを混合し、重合性組成物を調製した。Irgacure 651 (光重合開始剤; 登録商標; BASF) を重合性化合物の混合物に基づいて 0.3 質量% の割合で添加した。この重合性組成物を、2 枚のガラス基板の間隔 (セルギャップ) が $5 \mu\text{m}$ である素子へ入れた。この素子へ、高圧水銀灯で $18 \text{ mW}/\text{cm}^2$ の紫外線を 56 秒間照射し、液晶複合体を有する素子を作製した。この素子は不透明であった。この素子に 30 V の電圧を印加し、光を照射した時には透明になった。この結果から、この素子はノーマルモードであることが分かった。

[0234] [実施例 2 から実施例 3 2]

実施例 2 から実施例 2 2 では、実施例 1 と同様の手順で素子を作製した。これらの実施例では、Irgacure 651 を重合性化合物の混合物に基づいて 0.3 質量% の割合で添加した。一方、実施例 2 3 から実施例 3 2 では、Irgacure 651 の割合を 0.3 質量% から 1.2 質量% に変更した。結果を表 4 にまとめた。これらの素子は、電圧無印加のときは不透明であり、電圧を印加したときは透明であった。この結果から、いずれもノーマルモードであることが分かった。

[0235] (2) ヘイズ変化率

実施例 1 から 3 2 で作製した素子を、入射光に対して素子が垂直になるようにヘイズメーター内へ設置した。この素子に 0 V から 60 V の範囲の電圧を印加し、ヘイズ率を測定した。次に、測定 (2 2) に記載の条件下で行った耐候性試験後のヘイズ率を測定し、ヘイズ変化率を求めた。結果を表 4 にまとめた。

[0236]

表4. 液晶調光素子の作製

実施例	組成物 (60質量%)	重合性化合物(40質量%)		液晶調光素子		
		32質量%	8質量%	電圧無印加	電圧印加	ヘイズ変化率(%)
1	M1	RM-1	RM-5	不透明	透明	3.8
2	M2	RM-1	RM-6	不透明	透明	7.5
3	M3	RM-1	RM-7	不透明	透明	3.2
4	M4	RM-1	RM-8	不透明	透明	6.9
5	M5	RM-1	RM-9	不透明	透明	3.6
6	M6	RM-1	RM-10	不透明	透明	3.3
7	M7	RM-1	RM-5	不透明	透明	3.2
8	M8	RM-1	RM-6	不透明	透明	3.3
9	M9	RM-1	RM-7	不透明	透明	3.6
10	M10	RM-1	RM-8	不透明	透明	7.7
11	M11	RM-1	RM-9	不透明	透明	3.4
12	M12	RM-1	RM-10	不透明	透明	7.7
13	M13	RM-1	RM-4	不透明	透明	7.8
14	M14	RM-1	RM-5	不透明	透明	3.4
15	M15	RM-1	RM-6	不透明	透明	3.3
16	M16	RM-2	RM-7	不透明	透明	6.8
17	M17	RM-2	RM-8	不透明	透明	8.7
18	M18	RM-2	RM-9	不透明	透明	7.0
19	M19	RM-2	RM-10	不透明	透明	7.5
20	M20	RM-2	RM-4	不透明	透明	3.4
21	M21	RM-2	RM-5	不透明	透明	6.8
22	M22	RM-2	RM-6	不透明	透明	8.2
23	M23	RM-1	RM-7	不透明	透明	8.3
24	M24	RM-1	RM-8	不透明	透明	8.6
25	M25	RM-1	RM-9	不透明	透明	7.7
26	M26	RM-1	RM-10	不透明	透明	7.1
27	M27	RM-1	RM-5	不透明	透明	7.1
28	M28	RM-1	RM-6	不透明	透明	6.9
29	M29	RM-1	RM-7	不透明	透明	6.7
30	M30	RM-1	RM-8	不透明	透明	7.8
31	M31	RM-1	RM-9	不透明	透明	7.8
32	M32	RM-2	RM-9	不透明	透明	7.6

注)実施例1から22では、0.3質量%の Irgacure 651を添加した。実施例23から32では、1.2質量%の Irgacure 651を添加した。

[0237] 表4の結果から、実施例1から実施例32の液晶調光素子はノーマルモードに適した特性を有することが分かった。これらの素子について、JISに記載された耐候性試験を行った。試験の前後におけるヘイズ変化率は、3.

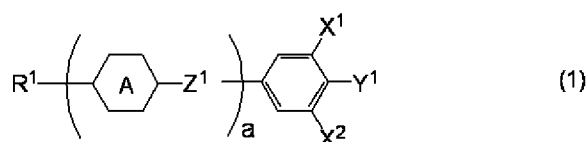
2%から8.7%の範囲であった。いずれも20%以下であった。この結果から、液晶調光素子の経時変化が小さいことが分かった。

産業上の利用可能性

[0238] 本発明の液晶複合体を有する液晶調光素子は、調光窓、スマートウィンドウなどに用いることができる。

請求の範囲

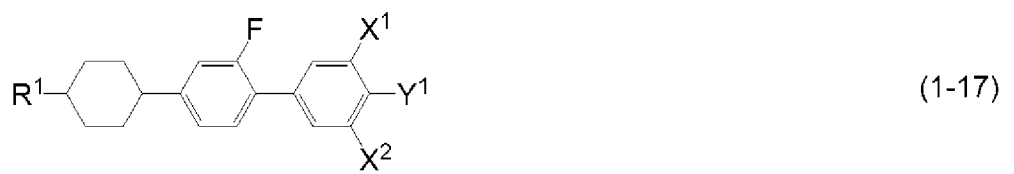
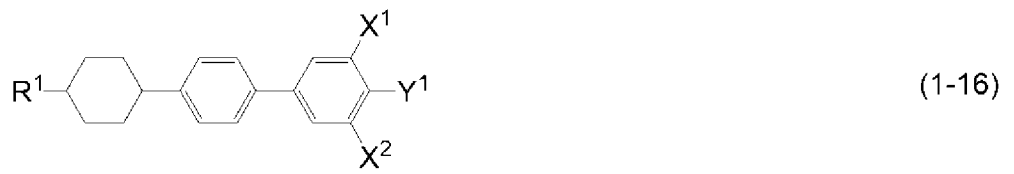
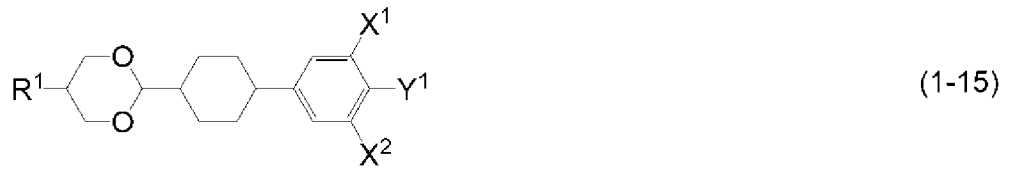
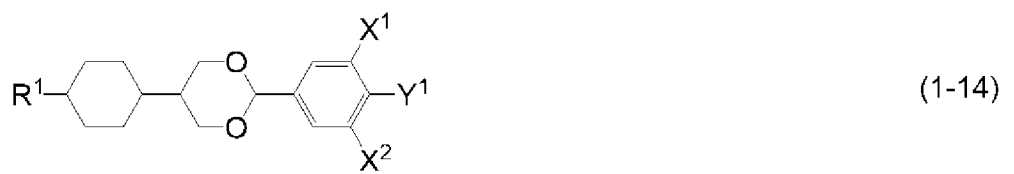
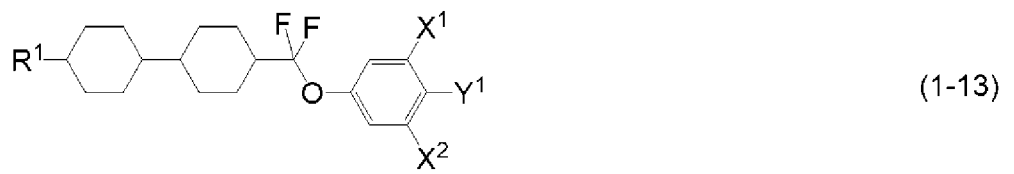
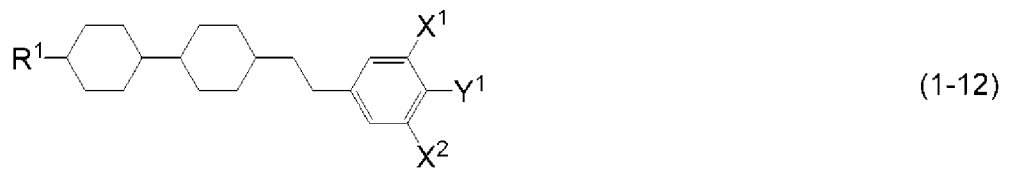
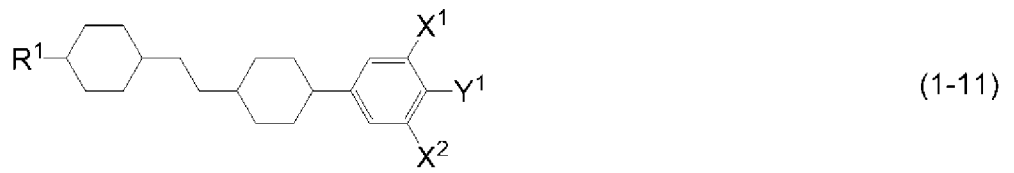
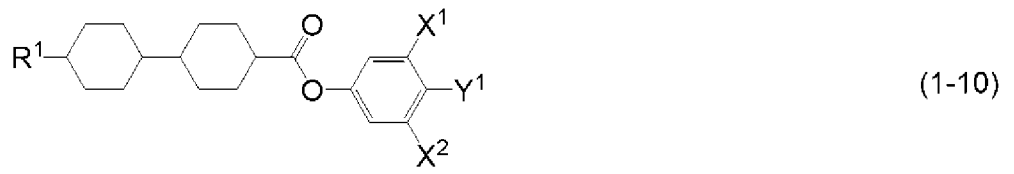
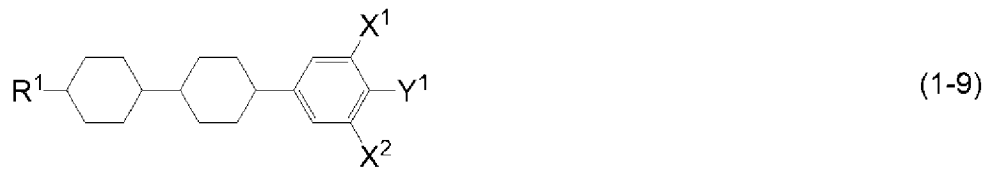
[請求項1] 第一成分として式(1)で表される化合物から選択された少なくとも1つの化合物を含有する液晶組成物と重合体とを含有する液晶複合体を有し、照度(180W/m²)、照射時間(100時間)、槽内温度(35℃)の条件下で行った耐候性試験の前後におけるヘイズ変化率が20%以下である液晶調光素子。

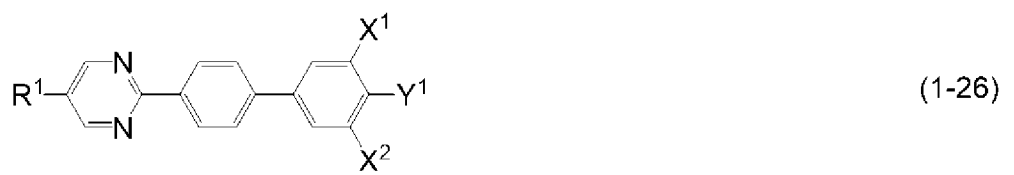
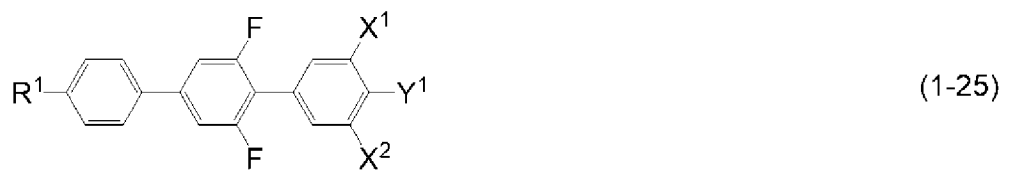
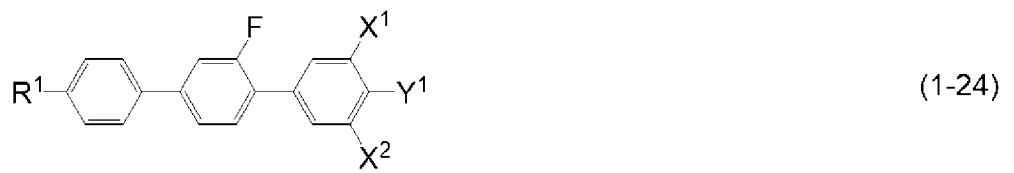
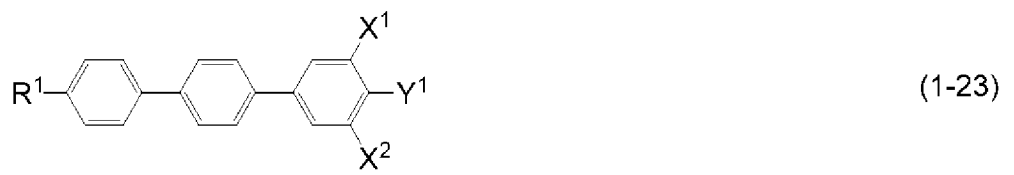
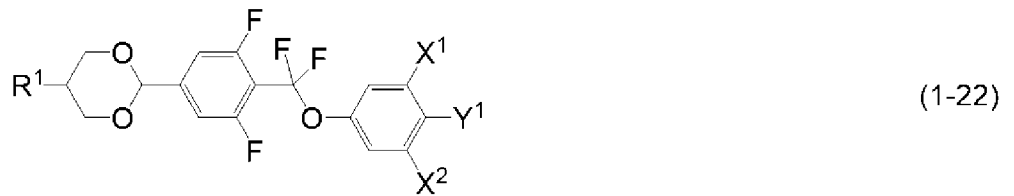
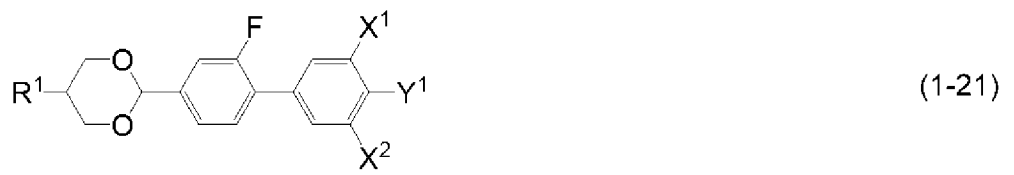
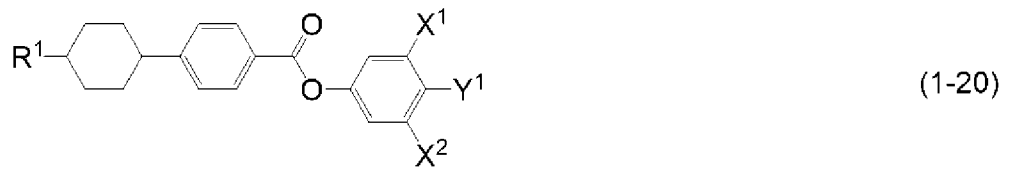
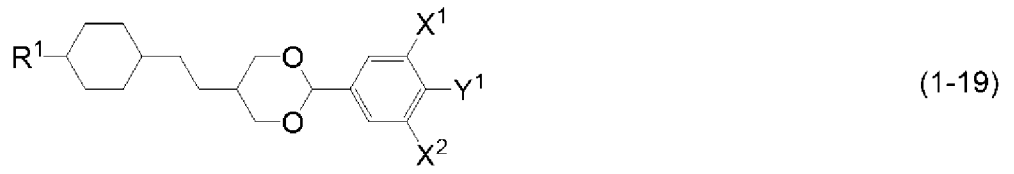
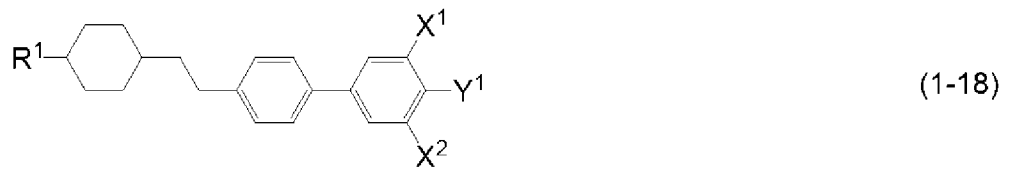


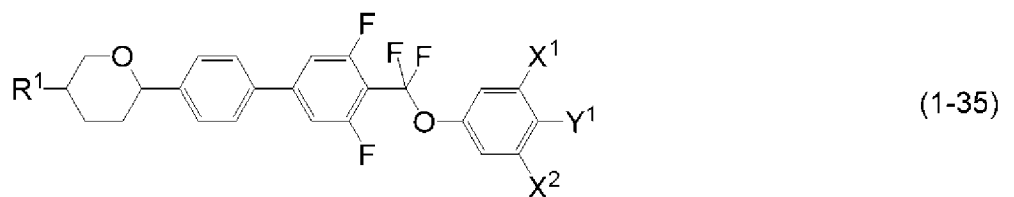
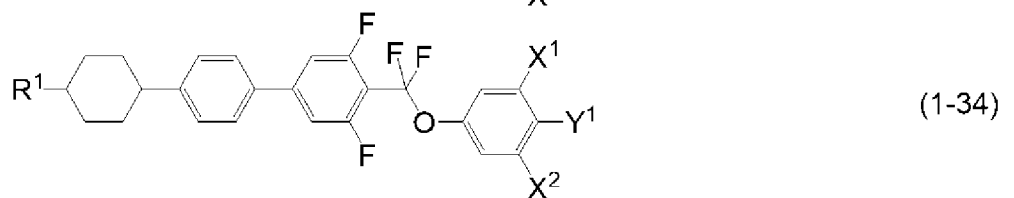
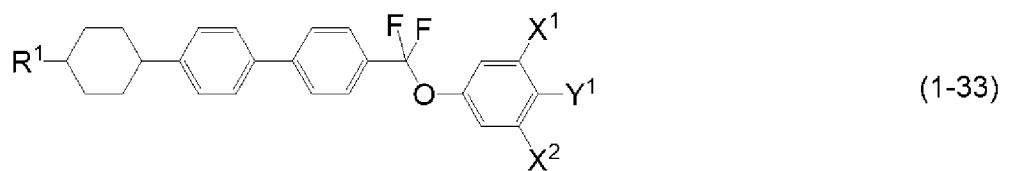
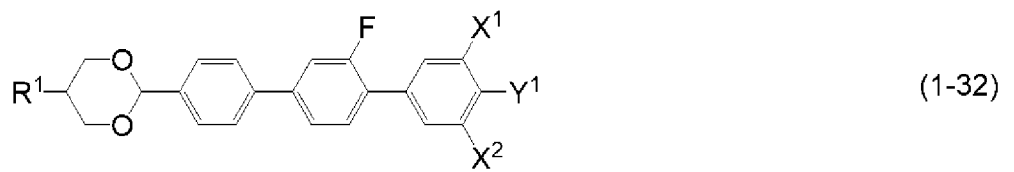
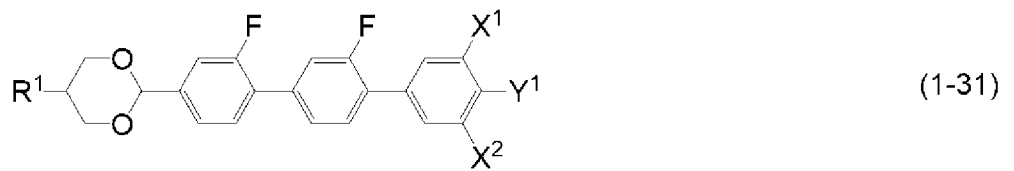
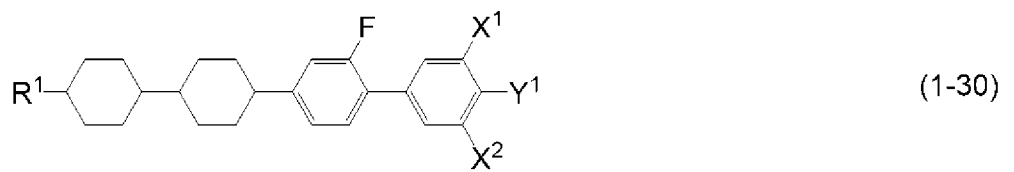
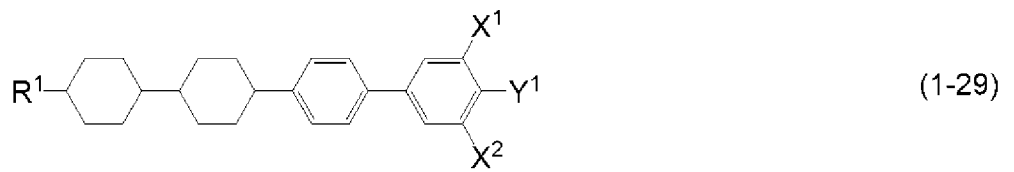
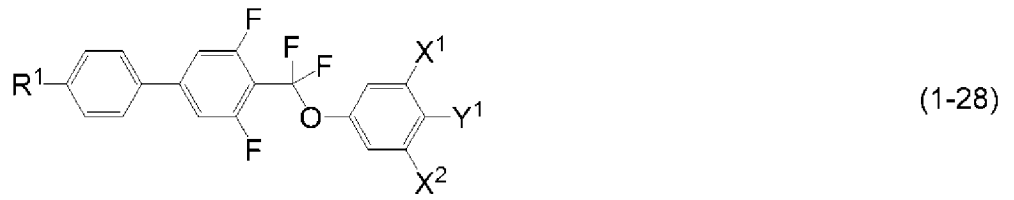
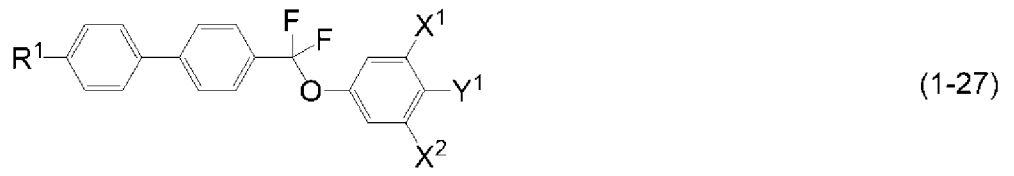
式(1)において、R¹は、炭素数1から12のアルキル、炭素数1から12のアルコキシ、または炭素数2から12のアルケニルであり；環Aは、1,4-シクロヘキシレン、1,4-フェニレン、2-フルオロ-1,4-フェニレン、2,3-ジフルオロ-1,4-フェニレン、2,6-ジフルオロ-1,4-フェニレン、ピリミジン-2,5-ジイル、1,3-ジオキサソ-2,5-ジイル、またはテトラヒドロピラン-2,5-ジイルであり；Z¹は、単結合、エチレン、ビニレン、エチニレン、メチレンオキシ、カルボニルオキシ、またはジフルオロメチレンオキシであり；X¹およびX²は、水素またはフッ素であり；Y¹は、フッ素、塩素、シアノ、少なくとも1つの水素がフッ素または塩素で置き換えられた炭素数1から12のアルキル、少なくとも1つの水素がフッ素または塩素で置き換えられた炭素数1から12のアルコキシ、または少なくとも1つの水素がフッ素または塩素で置き換えられた炭素数2から12のアルケニルオキシであり；aは、1、2、3、または4である。

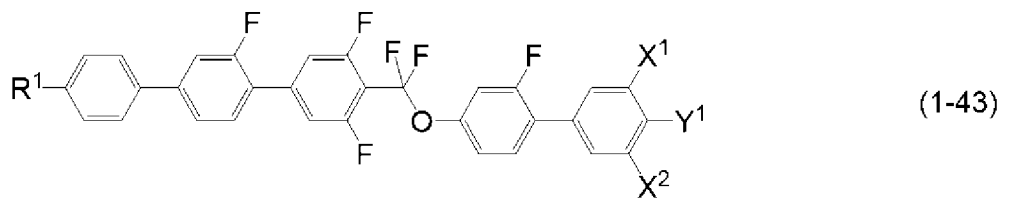
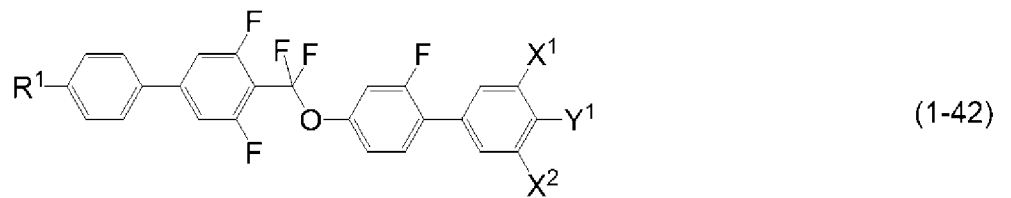
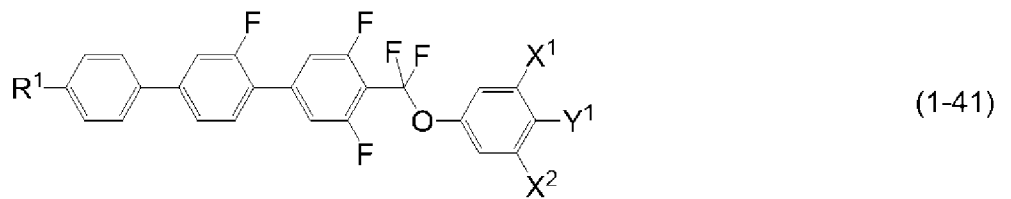
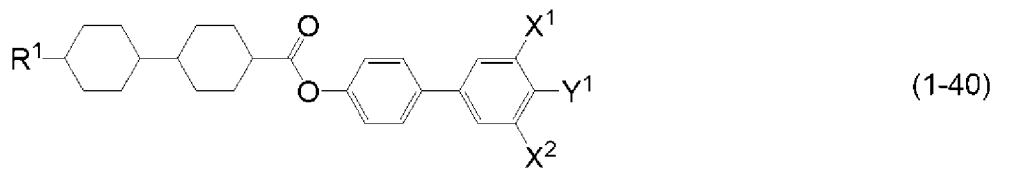
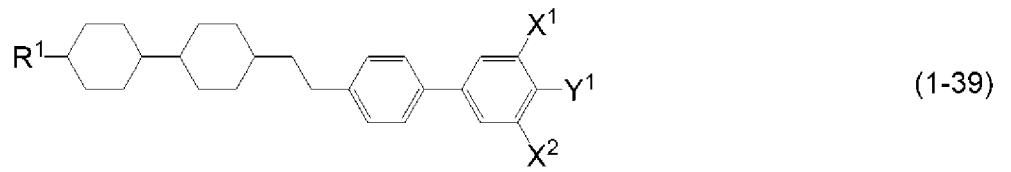
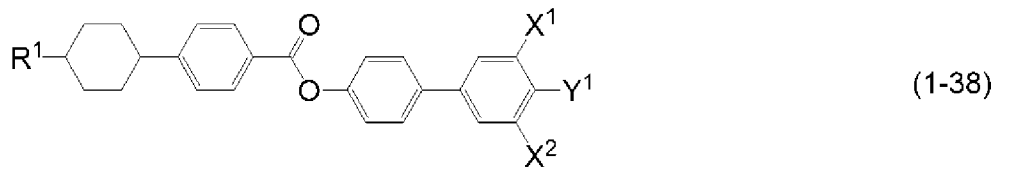
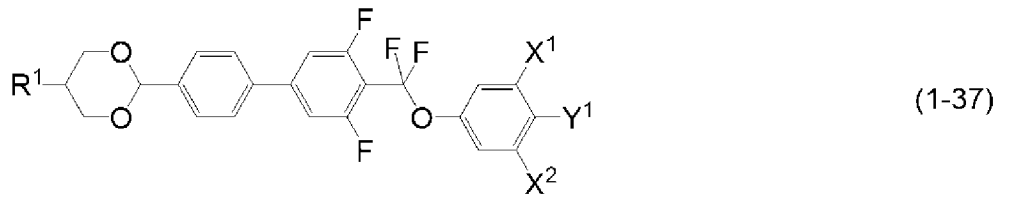
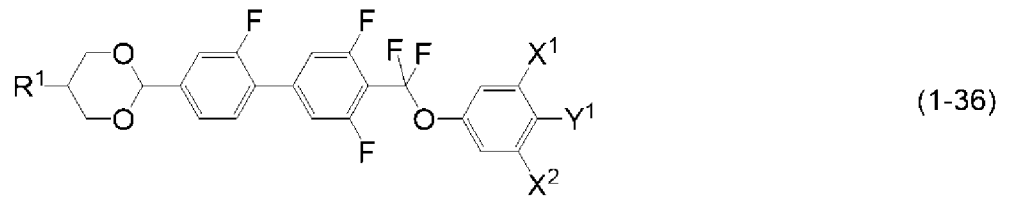
[請求項2] 第一成分として式(1-1)から式(1-47)で表される化合物から選択された少なくとも1つの化合物を含有する液晶組成物と重合体とを含有する液晶複合体を有する、請求項1に記載の液晶調光素子。

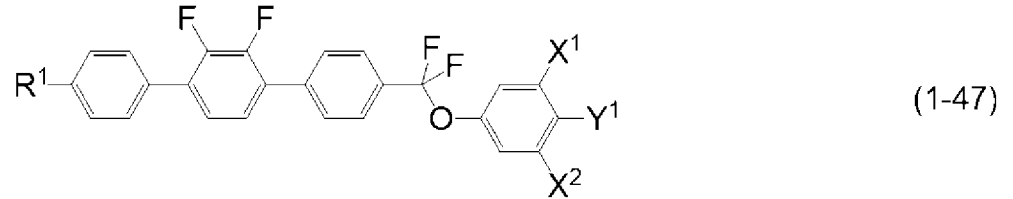
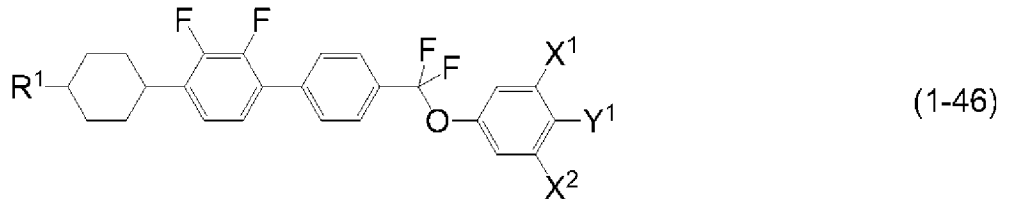
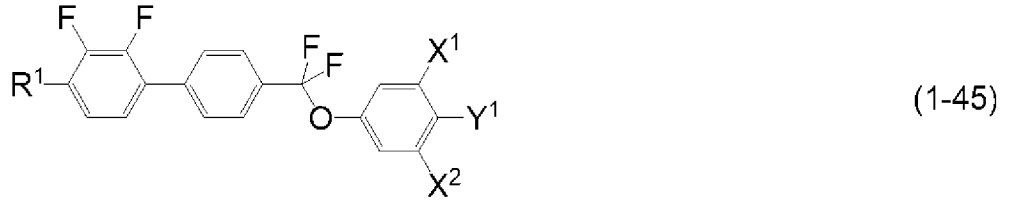
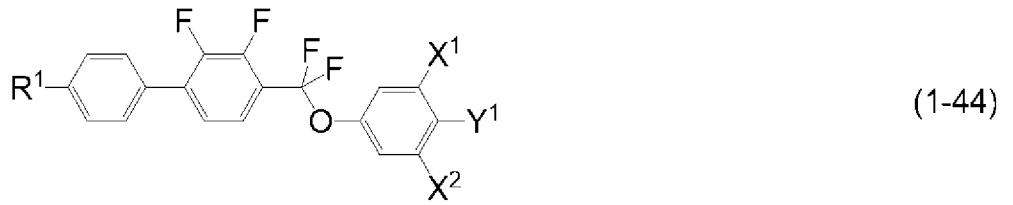








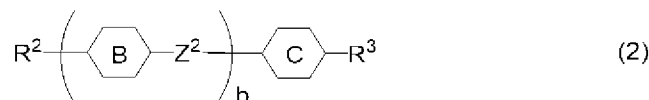




式(1-1)から式(1-47)において、R¹は、炭素数1から12のアルキル、炭素数1から12のアルコキシ、または炭素数2から12のアルケニルであり；X¹およびX²は、水素またはフッ素であり；Y¹は、フッ素、塩素、シアノ、少なくとも1つの水素がフッ素または塩素で置き換えられた炭素数1から12のアルキル、少なくとも1つの水素がフッ素または塩素で置き換えられた炭素数1から12のアルコキシ、または少なくとも1つの水素がフッ素または塩素で置き換えられた炭素数2から12のアルケニルオキシである。

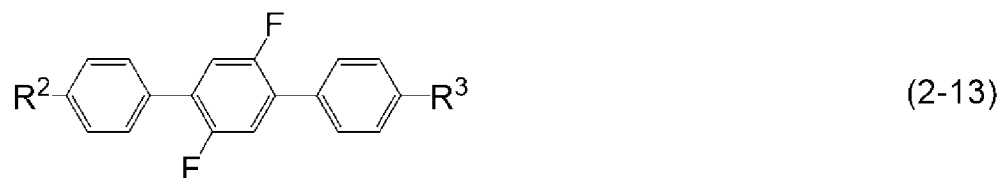
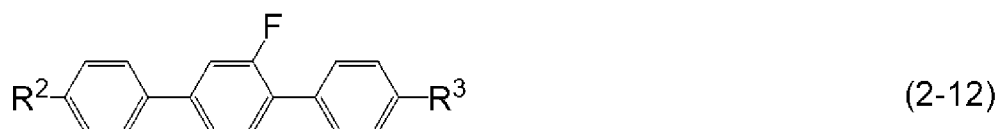
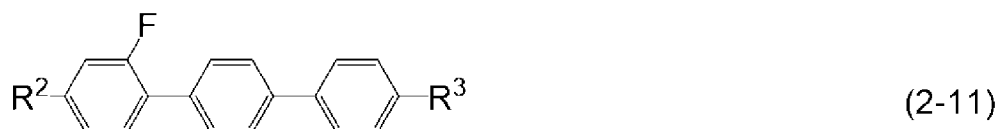
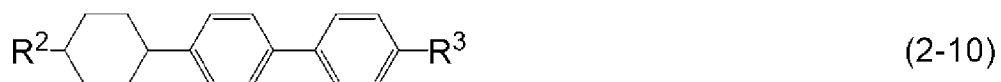
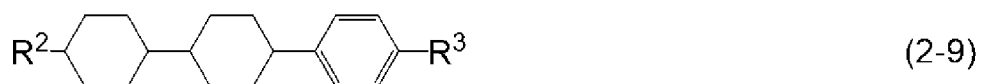
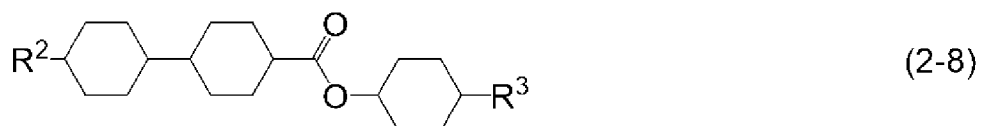
[請求項3] 液晶組成物の質量に基づいて、第一成分の割合が5質量%から90質量%の範囲である、請求項1または2に記載の液晶調光素子。

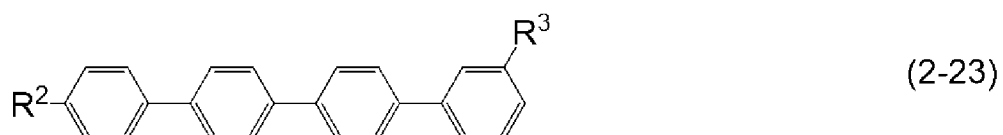
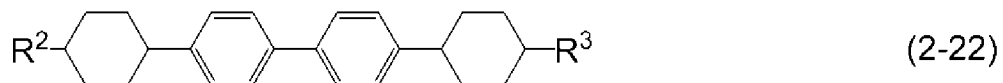
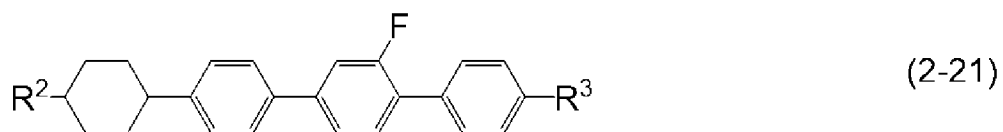
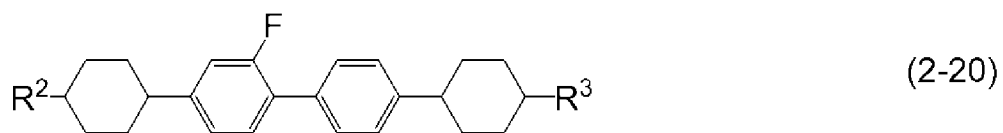
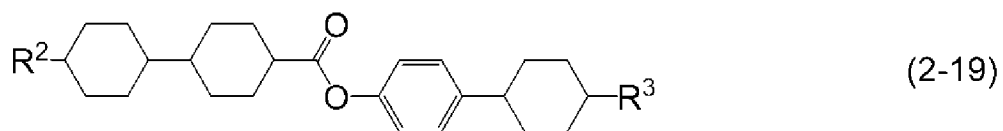
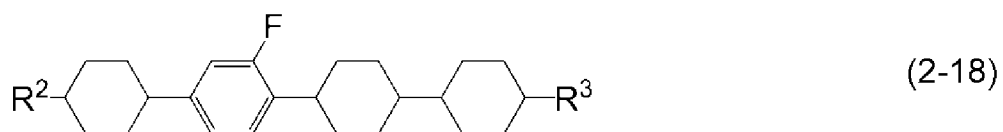
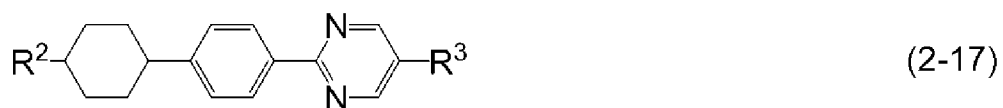
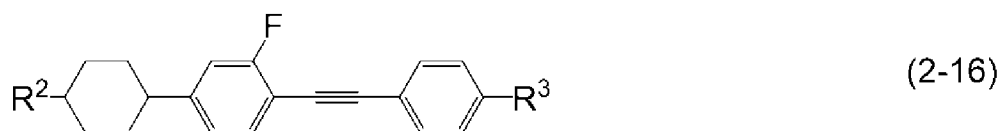
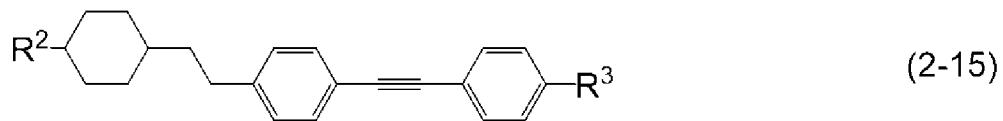
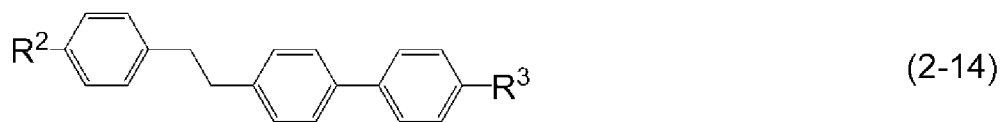
[請求項4] 第二成分として式(2)で表される化合物から選択された少なくとも1つの化合物を含有する液晶組成物と重合体とを含有する液晶複合体を有する、請求項1から3のいずれか1項に記載の液晶調光素子。



式(2)において、 R^2 および R^3 は、炭素数1から12のアルキル、炭素数1から12のアルコキシ、炭素数2から12のアルケニル、または少なくとも1つの水素がフッ素または塩素で置き換えられた炭素数2から12のアルケニルであり；環Bおよび環Cは、1,4-シクロヘキシレン、1,3-フェニレン、1,4-フェニレン、2-フルオロ-1,4-フェニレン、2,5-ジフルオロ-1,4-フェニレン、またはピリミジン-2,5-ジイルであり； Z^2 は、単結合、エチレン、ビニレン、エチニレン、メチレンオキシ、またはカルボニルオキシであり； b は、1、2、または3である。

[請求項5] 第二成分として式(2-1)から式(2-23)で表される化合物から選択された少なくとも1つの化合物を含有する液晶組成物と重合体とを含有する液晶複合体を有する、請求項1から4のいずれか1項に記載の液晶調光素子。

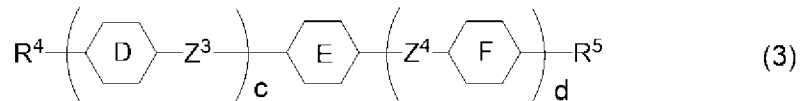




式(2-1)から式(2-23)において、 R^2 および R^3 は、炭素数1から12のアルキル、炭素数1から12のアルコキシ、炭素数2から12のアルケニル、または少なくとも1つの水素がフッ素または塩素で置き換えられた炭素数2から12のアルケニルである。

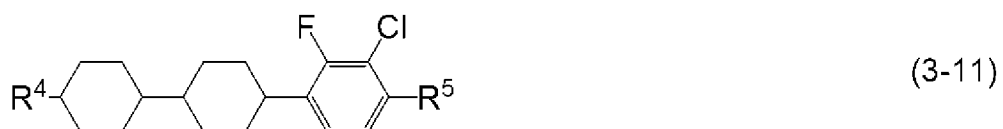
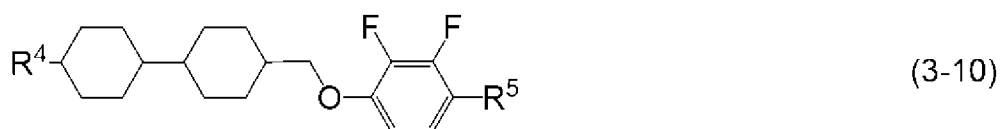
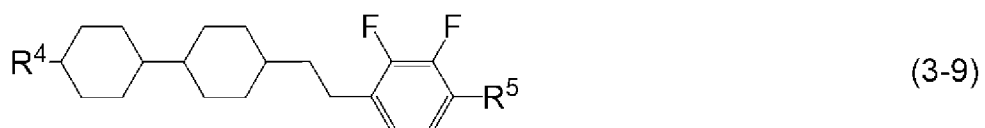
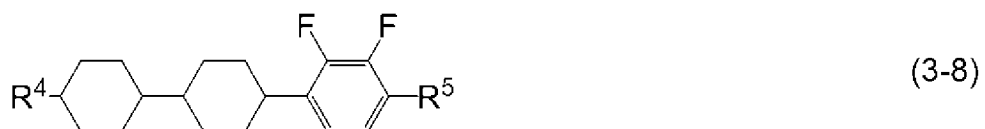
[請求項6] 液晶組成物の質量に基づいて、第二成分の割合が5質量%から90質量%の範囲である、請求項4または5に記載の液晶調光素子。

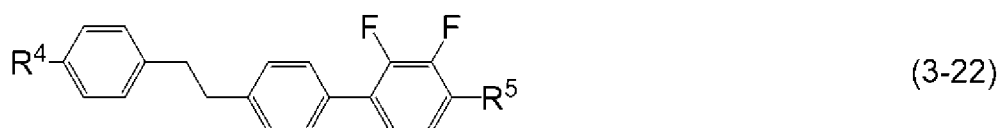
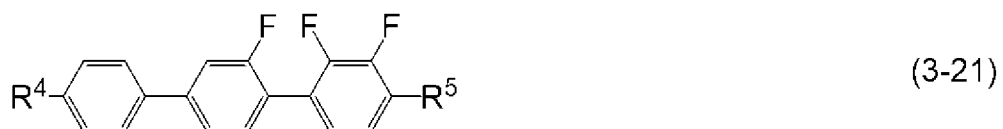
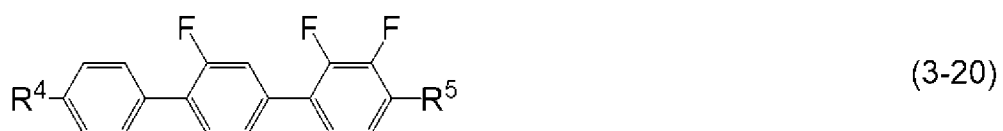
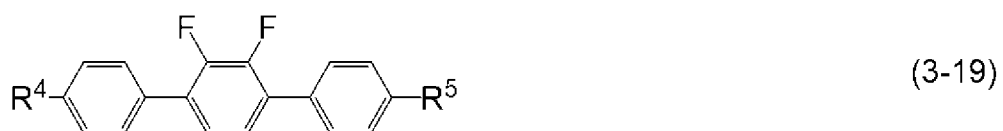
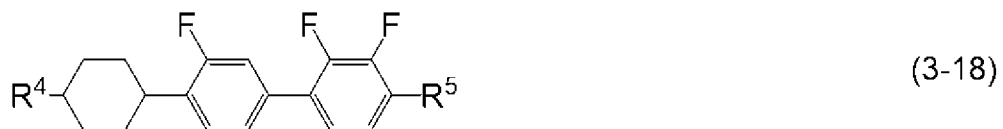
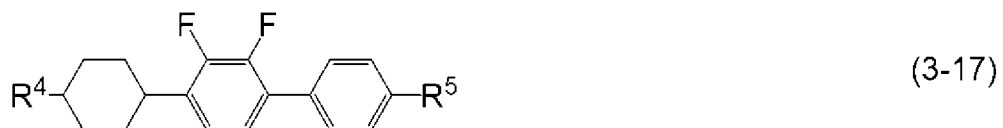
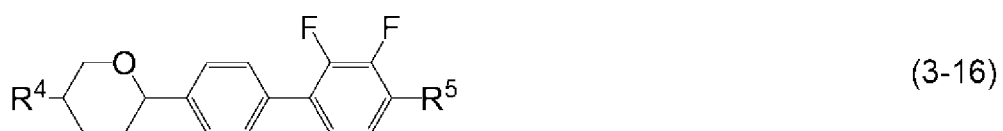
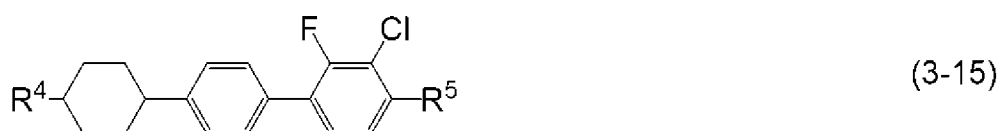
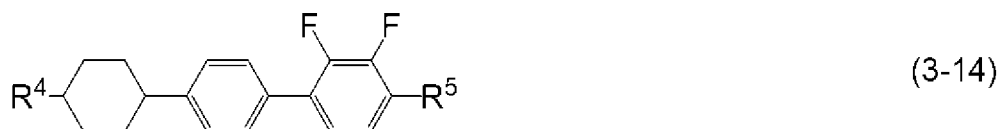
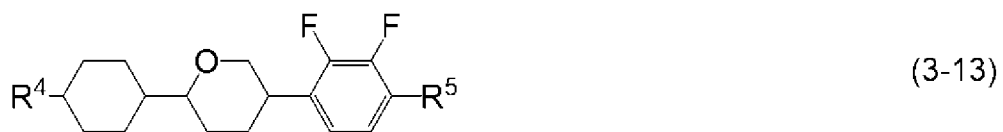
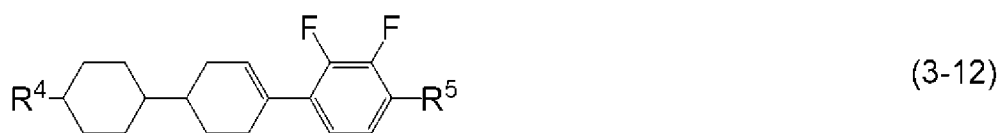
[請求項7] 第三成分として式(3)で表される化合物から選択された少なくとも1つの化合物を含有する液晶組成物と重合体とを含有する液晶複合体を有する、請求項1から6のいずれか1項に記載の液晶調光素子。

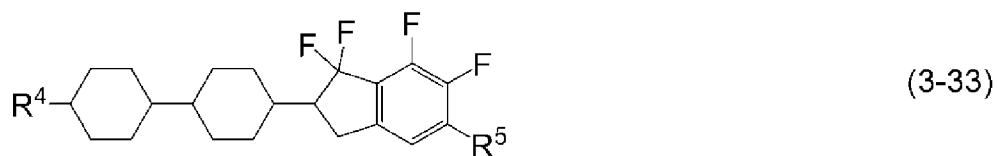
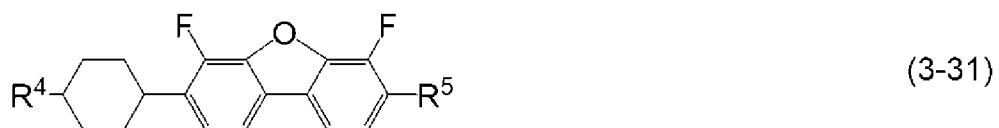
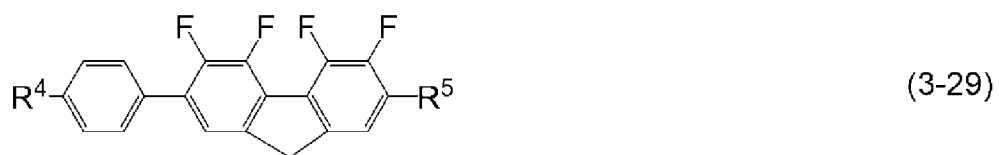
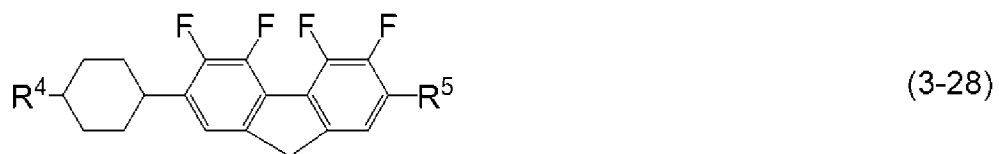
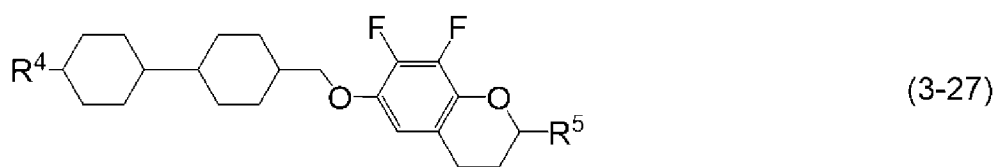
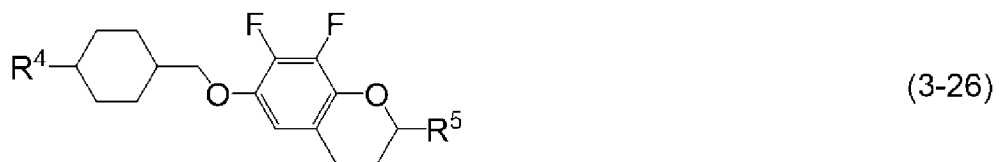
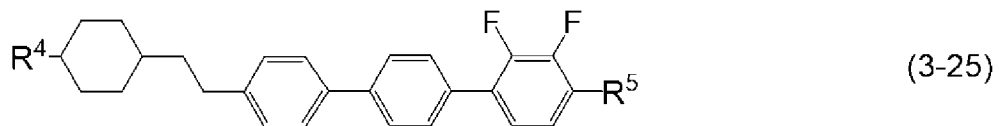
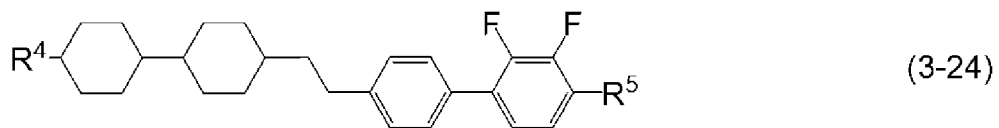
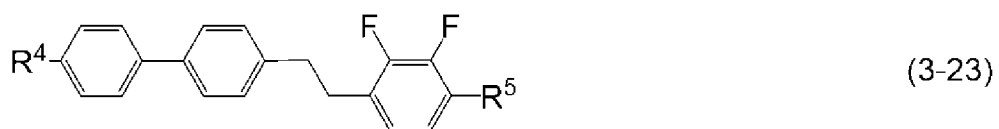


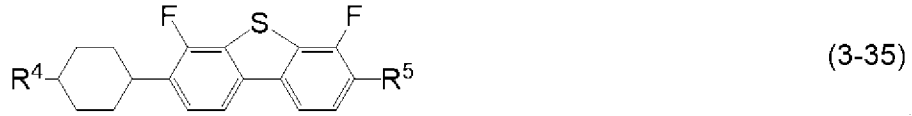
式(3)において、 R^4 および R^5 は、水素、炭素数1から12のアルキル、炭素数1から12のアルコキシ、炭素数2から12のアルケニル、または炭素数2から12のアルケニルオキシであり；環Dおよび環Fは、1,4-シクロヘキシレン、1,4-シクロヘキセニレン、テトラヒドロピラン-2,5-ジイル、1,4-フェニレン、少なくとも1つの水素がフッ素または塩素で置き換えられた1,4-フェニレン、ナフタレン-2,6-ジイル、少なくとも1つの水素がフッ素または塩素で置き換えられたナフタレン-2,6-ジイル、クロマン-2,6-ジイル、または少なくとも1つの水素がフッ素または塩素で置き換えられたクロマン-2,6-ジイルであり；環Eは、2,3-ジフルオロ-1,4-フェニレン、2-クロロ-3-フルオロ-1,4-フェニレン、2,3-ジフルオロ-5-メチル-1,4-フェニレン、3,4,5-トリフルオロナフタレン-2,6-ジイル、7,8-ジフルオロクロマン-2,6-ジイル、3,4,5,6-テトラフルオロフルオレン-2,7-ジイル、4,6-ジフルオロジベンゾフラン-3,7-ジイル、4,6-ジフルオロジベンゾチオフェン-3,7-ジイル、または1,1,6,7-テトラフルオロインダン-2,5-ジイルであり； Z^3 および Z^4 は、単結合、エチレン、ビニレン、メチレンオキシ、またはカルボニルオキシであり； c は、0、1、2、または3であり、 d は0または1であり、 c と d との和は3以下である。

[請求項8] 第三成分として式(3-1)から式(3-35)で表される化合物から選択された少なくとも1つの化合物を含有する液晶組成物と重合体とを含有する液晶複合体を有する、請求項1から7のいずれか1項に記載の液晶調光素子。





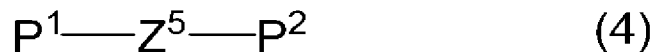




式(3-1)から式(3-35)において、 R^4 および R^5 は、水素、炭素数1から12のアルキル、炭素数1から12のアルコキシ、炭素数2から12のアルケニル、または炭素数2から12のアルケニルオキシである。

[請求項9] 液晶組成物の質量に基づいて、第三成分の割合が3質量%から25質量%の範囲である、請求項7または8に記載の液晶調光素子。

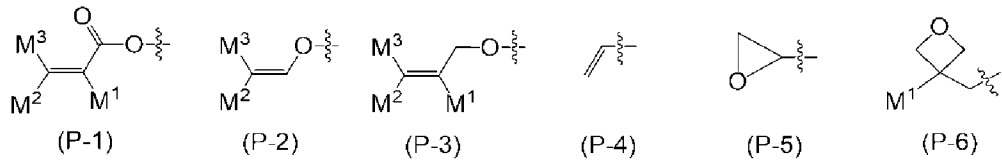
[請求項10] 重合体が式(4)で表される化合物を主成分として含有する、重合性化合物の混合物から誘導された重合体である、請求項1から9のいずれか1項に記載の液晶調光素子。



式(4)において、 P^1 および P^2 は重合性基であり； Z^5 は炭素数1から20のアルキレンであり、このアルキレンにおいて、少なくとも1つの水素は、炭素数1から5のアルキル、フッ素、塩素、または P^3 で置き換えられてもよく、少なくとも1つの $—CH_2—$ は、 $—O—$ 、 $—CO—$ 、 $—COO—$ 、 $—OCO—$ 、 $—NH—$ 、または $—N(R^6)—$ で置き換えられてもよく、少なくとも1つの $—CH_2—CH_2—$ は、 $—CH=CH—$ または $—C\equiv C—$ で置き換えられてもよく、少なくとも1つの $—CH_2—$ は、炭素環式の飽和脂肪族化合物、複素環式の飽和脂肪族化合物、炭素環式の不飽和脂肪族化合物、複素環式の不飽和脂肪族化合物、炭素環式の芳香族化合物、または複素環式の芳香族化合物から2つの水素を除くことによって生成した二価基で置き換えられてもよく、これらの二価基において、炭素数は5から35であり、少なくとも1つの水素は、 R^6 または P^3 で置き換えられてもよ

く、ここで、 R^6 は炭素数1から12のアルキルであり、このアルキルにおいて、少なくとも1つの $-CH_2-$ は、 $-O-$ 、 $-CO-$ 、 $-COO-$ 、または $-OCO-$ で置き換えられてもよく； P^3 は重合性基である。

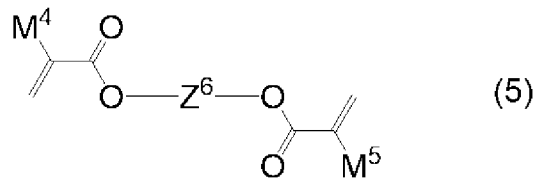
[請求項11] P^1 、 P^2 、および P^3 が、式(P-1)から式(P-6)で表される重合性基から選択された基である、請求項10に記載の液晶調光素子。



式(P-1)から式(P-6)において、 M^1 、 M^2 、および M^3 は、水素、フッ素、炭素数1から5のアルキル、または少なくとも1つの水素がフッ素または塩素で置き換えられた炭素数1から5のアルキルである。

[請求項12] P^1 、 P^2 、および P^3 の少なくとも1つが、アクリロイルオキシまたはメタクリロイルオキシである、請求項10に記載の液晶調光素子。

[請求項13] 重合体が式(5)で表される化合物を主成分として含有する、重合性化合物の混合物から誘導された重合体である、請求項1から9のいずれか1項に記載の液晶調光素子。

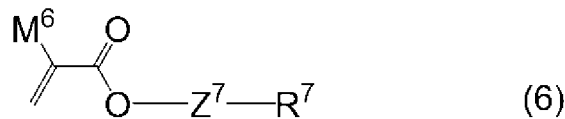


式(5)において、 M^4 および M^5 は、水素またはメチルであり； Z^6 は炭素数21から80のアルキレンであり、このアルキレンにおいて、少なくとも1つの水素は、炭素数1から20のアルキル、フッ素、または塩素で置き換えられてもよく、少なくとも1つの $-CH_2-$ は、 $-O-$ 、 $-CO-$ 、 $-COO-$ 、 $-OCO-$ 、 $-NH-$ 、または-

N (R⁶) -で置き換えられてもよく、少なくとも1つの-CH₂-CH₂-は、-CH=CH-または-C≡C-で置き換えられてもよく、ここで、R⁶は炭素数1から12のアルキルであり、このアルキルにおいて、少なくとも1つの-CH₂-は、-O-、-CO-、-COO-、または-OCO-で置き換えられてもよい。

[請求項14]

重合体が式(6)で表される化合物を主成分として含有する、重合性化合物の混合物から誘導された重合体である、請求項1から9のいずれか1項に記載の液晶調光素子。



式(6)において、M⁶は水素またはメチルであり；Z⁷は単結合または炭素数1から5のアルキレンであり、このアルキレンにおいて、少なくとも1つの水素は、フッ素または塩素で置き換えられてもよく、少なくとも1つの-CH₂-は、-O-、-CO-、-COO-、または-OCO-で置き換えられてもよく；R⁷は炭素数1から40のアルキルであり、このアルキルにおいて、少なくとも1つの水素は、フッ素または塩素で置き換えられてもよく、少なくとも1つの-CH₂-は、-O-、-CO-、-COO-、または-OCO-で置き換えられてもよく、少なくとも1つの-CH₂-は、炭素環式の飽和脂肪族化合物、複素環式の飽和脂肪族化合物、炭素環式の不飽和脂肪族化合物、複素環式の不飽和脂肪族化合物、炭素環式の芳香族化合物、または複素環式の芳香族化合物から2つの水素を除くことによって生成した二価基で置き換えられてもよく、これらの二価基において、炭素数は5から35であり、少なくとも1つの水素は、炭素数1から12のアルキルで置き換えられてもよく、このアルキルにおいて、少なくとも1つの-CH₂-は、-O-、-CO-、-COO-、または-OCO-で置き換えられてもよい。

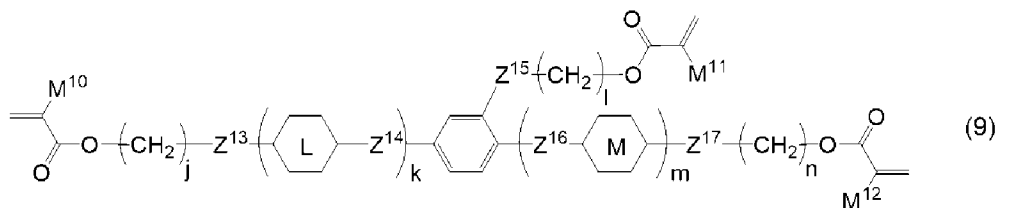
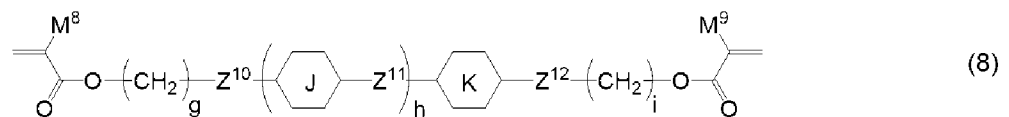
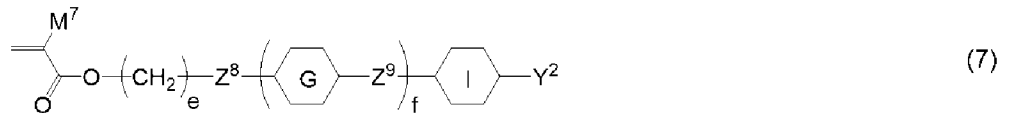
[請求項15]

式(6)において、M⁶が水素またはメチルであり；Z⁷が単結合

または炭素数 1 から 5 のアルキレンであり、このアルキレンにおいて、少なくとも 1 つの水素は、フッ素または塩素で置き換えられてもよく、少なくとも 1 つの $-\text{CH}_2-$ は、 $-\text{O}-$ 、 $-\text{CO}-$ 、 $-\text{COO}-$ 、または $-\text{OCO}-$ で置き換えられてもよく； R^7 が炭素数 1 から 4 のアルキルであり、このアルキルにおいて、少なくとも 1 つの水素は、フッ素または塩素で置き換えられてもよく、少なくとも 1 つの $-\text{CH}_2-$ は、 $-\text{O}-$ 、 $-\text{CO}-$ 、 $-\text{COO}-$ 、または $-\text{OCO}-$ で置き換えられてもよい、請求項 14 に記載の液晶調光素子。

[請求項 16]

重合体が、式 (7)、式 (8)、および式 (9) で表される化合物から選択された化合物を主成分として含有する、重合性化合物の混合物から誘導された重合体である、請求項 1 から 9 のいずれか 1 項に記載の液晶調光素子。



式 (7)、式 (8)、および式 (9) において、環 G、環 I、環 J、環 K、環 L、および環 M は、1, 4-シクロヘキシレン、1, 4-フェニレン、1, 4-シクロヘキセニレン、ピリジン-2, 5-ジイル、1, 3-ジオキササン-2, 5-ジイル、ナフタレン-2, 6-ジイル、またはフルオレン-2, 7-ジイルであり、ここで、少なくとも 1 つの水素はフッ素、塩素、シアノ、ヒドロキシ、ホルミル、トリフルオロアセチル、ジフルオロメチル、トリフルオロメチル、炭素数 1

から5のアルキル、炭素数1から5のアルコキシ、炭素数2から5のアルコキシカルボニル、または炭素数1から5のアルカノイルで置き換えられてもよく； Z^8 、 Z^{10} 、 Z^{12} 、 Z^{13} 、および Z^{17} は、単結合、 $-O-$ 、 $-COO-$ 、 $-OCO-$ 、または $-OCOO-$ であり； Z^9 、 Z^{11} 、 Z^{14} 、および Z^{16} は、単結合、 $-OCH_2-$ 、 $-CH_2O-$ 、 $-COO-$ 、 $-OCO-$ 、 $-COS-$ 、 $-SCO-$ 、 $-OCOO-$ 、 $-CONH-$ 、 $-NHCO-$ 、 $-CF_2O-$ 、 $-OCF_2-$ 、 $-CH_2CH_2-$ 、 $-CF_2CF_2-$ 、 $-CH=CHCOO-$ 、 $-OCCOCH=CH-$ 、 $-CH_2CH_2COO-$ 、 $-OCCOCH_2CH_2-$ 、 $-CH=CH-$ 、 $-N=CH-$ 、 $-CH=N-$ 、 $-N=C(CH_3)-$ 、 $-C(CH_3)=N-$ 、 $-N=N-$ 、または $-C\equiv C-$ であり； Z^{15} は、単結合、 $-O-$ または $-COO-$ であり； Y^2 は、水素、フッ素、塩素、トリフルオロメチル、トリフルオロメトキシ、シアノ、炭素数1から20のアルキル、炭素数2から20のアルケニル、炭素数1から20のアルコキシ、または炭素数2から20のアルコキシカルボニルであり； f および h は、1から4の整数であり； k および m は、0から3の整数であり、 k および m の和は、1から4であり； e 、 g 、 i 、 j 、 l 、および n は、0から20の整数であり； M^7 から M^{12} は、水素またはメチルである。

[請求項17] 液晶複合体の質量に基づいて、液晶組成物の割合が50質量%から95質量%の範囲であり、重合体の割合が、5質量%から50質量%の範囲である、請求項1から16のいずれか1項に記載の液晶調光素子。

[請求項18] 液晶複合体が、液晶組成物と重合性化合物とを含有する重合性組成物を前駆体として得られ、この重合性組成物が添加物として光重合開始剤を含有する、請求項1から17のいずれか1項に記載の液晶調光素子。

[請求項19] 調光層が請求項1から18のいずれか1項に記載の液晶複合体であ

り、調光層が一对の透明基板により挟持され、透明基板が透明電極を有する、請求項 1 から 18 のいずれか 1 項に記載の液晶調光素子。

- [請求項20] 透明基板がガラス板またはアクリル板である、請求項 19 に記載の液晶調光素子。
- [請求項21] 透明基板がプラスチックフィルムである、請求項 19 に記載の液晶調光素子。
- [請求項22] 請求項 1 から 21 のいずれか 1 項に記載の液晶調光素子を使用する調光窓。
- [請求項23] 請求項 1 から 21 のいずれか 1 項に記載の液晶調光素子を使用するスマートウィンドウ。
- [請求項24] 請求項 1 から 21 のいずれか 1 項に記載の液晶調光素子の、調光窓への使用。
- [請求項25] 請求項 1 から 21 のいずれか 1 項に記載の液晶調光素子の、スマートウィンドウへの使用。

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2019/033046

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

Int. Cl. G02F1/1334(2006.01)i, C09K19/12(2006.01)i, C09K19/14(2006.01)i, C09K19/16(2006.01)i, C09K19/18(2006.01)i, C09K19/20(2006.01)i, C09K19/30(2006.01)i, C09K19/32(2006.01)i, C09K19/34(2006.01)i, C09K19/38(2006.01)i, C09K19/54(2006.01)i, G02F1/13(2006.01)i

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

Int. Cl. G02F1/1334, C09K19/12, C09K19/14, C09K19/16, C09K19/18, C09K19/20, C09K19/30, C09K19/32, C09K19/34, C09K19/38, C09K19/54, G02F1/13

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Published examined utility model applications of Japan 1922-1996
Published unexamined utility model applications of Japan 1971-2019
Registered utility model specifications of Japan 1996-2019
Published registered utility model applications of Japan 1994-2019

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X	JP 2011-74304 A (DIC CORP.) 14 April 2011, claims, paragraphs [0014]-[0091] (Family: none)	1-6, 10-14, 16-25
Y		7-9, 15
X	JP 2011-105908 A (DIC CORP.) 02 June 2011, claims, paragraphs [0017]-[0130] & CN 101987960 A	1-6, 10-14, 16-25
Y		7-9, 15
Y	WO 2018/078968 A1 (JNC CORP.) 03 May 2018, claims, paragraphs [0014]-[0155] & CN 109906263 A & KR 10-2019-0075901 A & TW 201833306 A	7-9
Y	JP 9-329781 A (DAINIPPON INK AND CHEMICALS, INC.) 22 December 1997, paragraphs [0010]-[0118] (Family: none)	15

Further documents are listed in the continuation of Box C.

See patent family annex.

* Special categories of cited documents:	"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention
"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance	"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone
"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date	"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art
"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)	"&" document member of the same patent family
"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means	
"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed	

Date of the actual completion of the international search
02.10.2019

Date of mailing of the international search report
15.10.2019

Name and mailing address of the ISA/
Japan Patent Office
3-4-3, Kasumigaseki, Chiyoda-ku,
Tokyo 100-8915, Japan

Authorized officer

Telephone No.

A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))

Int.Cl. G02F1/1334(2006.01)i, C09K19/12(2006.01)i, C09K19/14(2006.01)i, C09K19/16(2006.01)i, C09K19/18(2006.01)i, C09K19/20(2006.01)i, C09K19/30(2006.01)i, C09K19/32(2006.01)i, C09K19/34(2006.01)i, C09K19/38(2006.01)i, C09K19/54(2006.01)i, G02F1/13(2006.01)i

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))

Int.Cl. G02F1/1334, C09K19/12, C09K19/14, C09K19/16, C09K19/18, C09K19/20, C09K19/30, C09K19/32, C09K19/34, C09K19/38, C09K19/54, G02F1/13

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1922-1996年
日本国公開実用新案公報	1971-2019年
日本国実用新案登録公報	1996-2019年
日本国登録実用新案公報	1994-2019年

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
X	JP 2011-74304 A (D I C株式会社) 2011.04.14, 特許請求の範囲、段落 [0014] - [0091]	1-6, 10-14, 16-25
Y	(ファミリーなし)	7-9, 15
X	JP 2011-105908 A (D I C株式会社) 2011.06.02, 特許請求の範囲、段落 [0017] - [0130]	1-6, 10-14, 16-25
Y	& CN 101987960 A	7-9, 15

☑ C欄の続きにも文献が列挙されている。

☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
 「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
 「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)
 「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
 「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
 「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
 「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
 「&」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

02.10.2019

国際調査報告の発送日

15.10.2019

国際調査機関の名称及びあて先
 日本国特許庁 (ISA/J P)
 郵便番号 100-8915
 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)

磯崎 忠昭

2L

5709

電話番号 03-3581-1101 内線 3295

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
Y	WO 2018/078968 A1 (JNC株式会社) 2018.05.03, 請求の範囲、段落 [0014] - [0155] & CN 109906263 A & KR 10-2019-0075901 A & TW 201833306 A	7-9
Y	JP 9-329781 A (大日本インキ化学工業株式会社) 1997.12.22, 段落 [0010] - [0118] (ファミリーなし)	15